



モルモン書の教えと教義

教師用手引き

宗教 275

コーナーストーンコース

モルモン書の教えと教義 教師 用手引き

宗教275

本書に関するご意見，ご提案をお寄せください。誤りのご指摘も含め，以下までお送りください。

Seminaries and Institutes of Religion Curriculum Services

50 E. North Temple St., Floor 8

Salt Lake City, Utah 84150-0008

USA

電子メール：ces-manuals@ldschurch.org

あなたのお名前，住所，ワード名とステーク名をご記入ください。

手引きの題名を必ず明記してください。その後，ご意見・ご提案をお書きください。

© 2015, 2016 Intellectual Reserve, Inc.

All rights reserved.

印刷：アメリカ合衆国

バージョン1，2015，2016年9月

英語版承認：2014年8月

翻訳承認：2014年8月

原題：**Teachings and Doctrine of the Book of Mormon Teacher Manual**

Japanese

12557 300

目次

モルモン書の教えと教義 教師用手引き	v
1 モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証である	1
2 預言者の言葉に従う	6
3 従順は祝福をもたらす	11
4 アダムの墮落と選択の自由の賜物	16
5 イエス・キリストの無限の贖罪	21
6 わたしたちの時代のために書かれたモルモン書	26
7 モルモン書と聖書	31
8 救いはイエス・キリストによってもたらされる	36
9 「神の王国を求めなさい」	41
10 祈りと啓示	46
11 末日の偽りの教義から自分自身を守る	52
12 霊的に再び生まれる必要性	58
13 バプテスマの聖約, 安息日, および聖餐	63
14 神の解放する力	68
15 神の御手に使われる者となる	73
16 悔い改めと赦し	78
17 御言葉の力	83
18 最後の裁きの日に備える	88
19 宗教の自由を守る	93
20 信仰と証を強める	99
21 イエス・キリストの再臨	104
22 「わたしのようでなければならない」	107
23 イスラエルの散乱と集合	111
24 全ての人々が神にとって等しい存在	116
25 悪事の時代に義にかなった生活をする	121
26 信仰の試しの後	126
27 信仰, 希望, そして慈愛	131
28 キリストのもとに来なさい	136

『モルモン書の教えと 教義 教師用手引 き』（宗教275）につい て

宗教教師に求められること

教える準備をするときは、宗教教育セミナー・インスティテュートの目的を理解することが重要です。

「わたしたちの目的は、以下のことができるよう、青少年とヤングアダルトを助けることです。イエス・キリストの教えと贖いについて理解しそれに頼る。神殿の祝福を受ける資格を得る。天の御父とともに永遠の命にあずかるため、自分自身と自分の家族と周りの人々を備える。」（『福音を教え学ぶ—宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』x）

この目的は、イエス・キリストの福音に従って真摯に生活し、生徒に福音を効果的に教え、クラスまたはプログラムを適切に管理運営することによって達成できます。これらの方法によって備え、福音を教えるとき、聖霊の影響を受けるにふさわしい状態となります（教義と聖約42：14参照）。

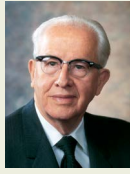
これは、信仰を強め、改心を深めることができるように、生徒が御霊によって学ぶことを助ける機会です。イエス・キリストの福音の真理と重要性を明確にし、理解して感じ取るとともに、その偉大な教義と原則を生かすように生徒を導くとき、生徒がこれらを達成する援助をすることができます。

『福音を教え学ぶ』手引きは、教育過程を理解し、教室で効果的に教える方法を学ぶための必要不可欠な資料です。

このコースの目的

インスティテュートの年齢に達した生徒たちの多くは、以前にセミナー、家庭、または伝道で、モルモン書を最初から終わりまで順序だてて学んだことがあると思われます。本コース、モルモン書の教えと教義（宗教275）は、生徒たちがモルモン書を研究するために異なるアプローチを使用することが意図されています。コース内のレッスンは、モルモン書の靈感を受けた著者たちによって強調された代表的な教義テーマに焦点を当てます。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899—1994年）は、モルモン書に含まれる教義に注目するようモルモン書の読者に勧めました。



「モルモン書はわたしたちの時代のために書かれました。……わたしたちは、それにどのような歴史と信仰を高める物語が記録されているのかを知るだけでなく、その教えを理解しなくてはなりません。わたしたちが十分に準備を整えて、モルモン書の教義的な面に取り組むならば、誤りを露呈し、真理を見いだして、今日の偽りの理論と人生哲学の多くに立ち向かうことができるのです。」（“Jesus Christ—Gifts and Expectations,” Ensign, 1988年12月号, 4）

本コースの全体を通して、生徒はモルモン書にある預言的な記述と教えを、天の御父の計画と御父の独り子であるイエス・キリストの中心的な役割に焦点を当てながら研究していきます。生徒は、イエス・キリストについてのもう一つの証としてモルモン書をよりよく理解し、キリストへの愛と証を深めるでしょう。彼らは福音の教義をそれぞれの聖文の文脈において研究する能力を高めることから、より深い理解と個人的に主の弟子となることにつながります。また、モルモン書とそれに記載された教義の重要さと神聖な起源について説明し、証するための準備も整えます。

生徒に求められること

インスティテュート卒業のための単位を取得するには、生徒は各レッスンの生徒用資料セクションにリストアップされている聖文、総大会の話、およびその他資料を読む必要があります。生徒は出席規定を満たし、課題を提出することによってコース内容についての高い理解度を示さなければなりません。

この手引きのレッスン構成

本コースは、2学期制コース向けに考案されたもので、28のレッスン（1クラス50分）で構成されています。1週間に2回クラスがある場合は、1回のクラスで一つのレッスンを教えます。1週間に90–100分のクラスが1回のみ開講される場合は、1クラスで2回分のレッスンを行います。各レッスンは大まかに4つの項から成っています

- 導入
- 背景となる読み物
- 教えるための提案
- 生徒用資料

はじめに

このセクションには、レッスンのトピックと目的についての簡単な紹介が記載されています。

背景となる読み物

このセクションでは、末日の預言者、およびその他の教会指導者からのメッセージなど、レッスンの対象となる教義、原則、および福音の真理をよりよく理解するために役立つリソースが提案されています。

教えるための提案

教えるための提案セクションには、何を、どのように教えるかを知るために役立つ資料が含まれています（『福音を教え学ぶ』手引きのセクション4.3.3および4.3.4も参照）。提案されている学習活動は、生徒が神聖な真理を見いだして理解し、その真実性と重要性を感じ取って、応用することを助けるために考案されています。これらの提案は、各自の教え方、および生徒たちの必要や状況に応じて適応させていくため、提案の全てを使用、または一部のみの使用にとどめてもよいでしょう。レッスン資料をどのように適応させるかを検討するときは、十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老の次の勧告に従うようにします。



「パッカー会長は度々、まず最初に身につけてから適応させるようにと教えてくれました。生徒に教える規定のレッスンをしっかりと学んでおけば、それを御霊に従って適応させていくことができるようになります。しかし、この柔軟性について話すとき、身につけるよりも先に適応することから始めてしまうという危険が存在します。バランスが必要です。これは頻繁に起きるチャレンジです。しかし、まず最初にしっかりと身につけてから、状況に合わせて適応させるというアプローチは、正しい見解を維持するよい方法です。」（「ダリン・H・オクス長老とのパネルディスカッション」〔宗教教育セミナー・インスティテュート衛星放送、2012年8月7日〕 si.lds.org [英語]）

本コースには、複数の言語で読むことができると思われる教会指導者による声明が含まれています。教える準備を行うときは、トピックに沿った教会指導者によるその他の利用可能な声明を使用することによってレッスンを適応させてもよいでしょう。

教えるための提案セクションには、教義または原則についての記述が少なくとも一つ太字で記載されています。生徒がこれらの教義や原則を見だし、学んだ事柄を分かち合うときに生徒が使う言葉は、手引きに書かれているものとは異なる場合があります。使う言葉が異なる場合でも、答えが間違っていると思わせないように気をつけましょう。しかし、生徒の発言をより正確にできる場合は、生徒が理解したことを明確にできるように注意深く助けましょう。

このカリキュラムは、福音を教え学ぶことの基本をテーマ別コースに組み入れる方法を実証するものです（『福音を教え学ぶ』10、23–31、38–41参照）。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、福音をテーマ別に学ぶことによってもたらされる幾つかの恩恵について次のように説明しています。



「全体を通読する方法は基本的な知識を得るのに、そして、トピック別に研究する方法は知識を深めるのに役立ちます〔。〕霊的な知識をさらに加えてくれるのが、関連性、パターン、テーマを探しながら聖文を注意深く調べる〔ことです。これによって〕、救いの計画の理解と捉え方が広がります。

わたしの見解では、聖文の中から関連性、パターン、テーマを熱心に探すことは、キリストの言葉を『よく味わう』ことでもあります。この方法を実践

するなら、霊の貯水池の水門が開き、主の御霊が理解に光を注ぎ、聖文への感謝の念が増し、他の方法では到達できない高いレベルの霊的な決意が心に生じてきます。この方法で聖文を注意深く調べていくと、贖い主という岩の上に築き、この末日の悪の嵐に堪える力が得られるのです。」（「生ける水の源」〔ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日〕、2-3、<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>）

生徒用資料

このセクションには、レッスンで強調されているトピックに対する生徒の理解を深める聖句、教会指導者の話、およびその他資料がリストアップされています。クラスに来る前にこれらの資料を読んでおくことを課題とし、読むように励まします。これらの靈感を受けた資料を研究するとき、生徒はクラスの話し合いに参加する準備が整うだけでなく、コースのトピックについてさらに幅広く、深く理解できるようになります。学期の最初、生徒に『生徒用資料』の全リストを配ります。

教える準備をする

主は、教える準備をするための助けを与えてくださいます。準備をするときは、自分に対して次の質問を尋ねると役に立つ場合があります。

- 準備し教えるに当たって御霊に敏感になることができるように、福音にふさわしい生活をする努力をしているだろうか。
- 聖霊の導きを受けるために祈ったか。（教義と聖約42：14参照）
- 割り当てられた聖文と背景となる読み物を研究したか。
- カリキュラムを読み、生徒たちの必要を満たすように適応させたり調整する箇所があるかどうか判断したか。
- 生徒が課題の生徒用資料を最大限に生かしていることを確実にするために、どのようにフォローアップできるか。
- レッスンに十分に参加できるよう各生徒を助けるには何ができるか。

以下の推奨案も役に立つ場合があります。

- クラスの前に課題の聖句や記事を読むように生徒を励ます。
- 生徒が学習者としての役割を果たすことを期待する。
- 教義と原則を自分の言葉で説明し、それに関する経験を分かち合い、知っていることや感じたことを証する機会を生徒たちに頻繁に与える。
- 各クラス、および日々使用する学習活動やアプローチに変化を持たせる。
- 生徒が互いに教え、学び合う特権と責任を持つ、御霊を招く学習環境を作る（教義と聖約88：78、122参照）。
- 本コースの全体を通して、聖文研究スキルに対する参照が記載されています。生徒が聖文研究についてより自立し、聖典を生涯にわたってさらに熱心に学習するようになるために、これらの機会を活用してください。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えています。



「生徒による選択の自由は聖霊による導きを受け入れるため、御霊が十分に関与してくださることをお約束します。……生徒が真理を言葉にすると、彼らの魂の中でその真理が立証され、個人の証が強められるのです。」（“To Understand and Live Truth” [リチャード・G・スコット長老との夕べ, 2005年2月4日], 3, si.lds.org [英語]）

障がいを持つ生徒のためにレッスンを適応させる

教える準備をするときは、特定の必要性がある生徒に配慮します。活動や想定を調整して、彼らが成功できるようにします。彼らが、愛され、受け入れられ、仲間であると感じられるように助ける方法を見つけてください。信頼関係を育ててください。

さらにアイデアやリソースを入手するには、<https://www.lds.org/topics/disability?lang=jpn>の障がいに関するリソースページ、および宗教教育セミナー・インスティテュートのポリシーマニュアルにある「障がいを持つ生徒のための適応クラス」というタイトルのセクションを参照します。

第1課

モルモン書はイエス・キリストについてのもう一つの証である

はじめに

モルモン書の教えと教義を研究する人は、イエスがキリストであることを知るようになります。このレッスンでは、生徒たちはモルモン書のおもな著者が

神の独り子を目にした証人であること、および彼らの言葉がイエス・キリストと主の福音に対する理解と証を深める助けとなることを学びます。

背景となる読み物

- ゴードン・B・シンクレー「力強い、真実の証」『リアホナ』2005年8月号, 2-6
- 「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第9章, 117-126

教えるための提案

1ニーファイ13：40；2ニーファイ25：17-18；アルマ33：22-23

モルモン書はイエス・キリストについての証である

預言者ジョセフ・スミス（1805-1844年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「わたしは兄弟たちに言った。『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」（モルモン書の序文）

- どの預言者のモルモン書についての声明に対して証を持っていますか。それはなぜですか。
- 預言者の言葉は、モルモン書を研究しようという意欲をどのように高めますか。

モルモン書の序文の6段落目にあるこの文に線を引いてもらい、その横に参照聖句として1ニーファイ13：40および2ニーファイ25：17-18を書き込むように勧めます。（注—聖句の相互参照は聖文研究スキルであり、このコース全体を通じてそれを強調してもよいでしょう。聖文研究スキルを高めることにより、生徒たちは霊的により自立することができるようになります。）

数人の生徒に1ニーファイ13：40および2ニーファイ25：17-18を声に出して順番に読んでもらい、他の生徒にはモルモン書のおもな目的を探してもらいます。

- これらの節によると、モルモン書のおもな目的の一つは何ですか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。**神は、イエスがキリストであることを全ての人々に確信させるため、末日にモルモン書をもたらされた。**〔モルモン書のタイトルページも参照してください。〕）
- モルモン書は、どのようにイエスがキリストであることを人々に確信させますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899-1994年）の次の言葉を生徒に見せて、それを黙読してもらいます。



「今日キリスト教界の多くは救い主の神性を否定しています。彼らは、主の奇跡的な生誕や、完璧な生涯、栄光ある復活の真実性に疑いを抱いているのです。モルモン書はそれらが全て真実であることを分かりやすく、誤解の余地のない言葉で教えています。また、贖罪の教義をこれほど完全に説明している書物は他にありません。確かに、神から与えられたこの靈感あふれる書物は、イエスが救い主であられるという、世の人々への証のかなめ石となるものなのです。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』121参照）

- モルモン書によって立証されたイエス・キリストの生涯と教導の業の現実性にはどのようなものがありますか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「わたしはモルモン書を何度も読みました。またそれについて書かれた本もたくさん読みました。著者たちは、物語や人々、歴史的背景など、さまざまなものに焦点を当てています。他にも、言語の構造、記録されている武器や地形、動物、建築技術、度量法に興味を示したものがあります。

それらの問題も興味深いことかもしれませんが、モルモン書の研究が最も実を結ぶのは、イエス・キリストについて証するというその**第一の目的**に焦点を当てたときです。それに比べれば、その他のことは付随的なものにすぎません。

モルモン書を読むときは、その最初から最後まで中心となる御方、生ける神の子、主イエス・キリストに注意を集中してください。」（「モルモン書の証」『リアホナ』2000年1月号、82）

- モルモン書のあらゆるメッセージの中でも、イエス・キリストについてのメッセージに焦点を当てることが大切であるのはなぜだと思いますか。

生徒たちに、預言者アルマが救い主の教導の業についてゾーラム人に教えた後（アルマ33：22参照）、神の言葉が育つように心の中に植えるよう聴衆に勧め

たことを説明します。生徒にアルマ33：22-23を黙読してもらい、アルマが心の中に「植え〔る〕」よう読み手を励ましたという真理を見つけてもらいます。

- アルマが聴衆に心に植えてほしいと願ったメッセージは何でしたか。
- イエス・キリストについての信仰を心の中に植え、養い育てる結果としてアルマは何を約束しましたか。（彼らの証が「永遠の命」に生長し、重荷が軽くされる。）
- モルモン書を研究することは、どのようにアルマが説明した祝福を受けるための助けとなりましたか。

1ニーファイ6：4；2ニーファイ11：2-3；モルモン書ヤコブ1：7-8；モルモン1：15；3：20-22；エテル12：38-39, 41

モルモン書の著者はイエス・キリストを目にした証人である

モルモン書の大部分が4人の主要著者であるニーファイ、ヤコブ、モルモン、およびモロナイによって書かれたことを説明します。（エノス書、ジェロム書、およびオムナイ書は例外です。）

ホワイトボードに次の表を貼ります。これら4人の主要著者について生徒が学ぶことを助けるため、次の節の一つを選び、それを黙読してもらいます。これらの著者がイエス・キリストの力強い証人となることに適していた理由を見つけてもらいます。

著者	経験
1. ニーファイ	2ニーファイ11：2
2. ヤコブ	2ニーファイ11：3
3. モルモン	モルモン1：15
4. モロナイ	エテル12：38-39

4つの節それぞれから学んだ事柄を生徒に発表してもらいます。その後、次の質問をします。

- モルモン書の主要著者がイエス・キリストを目にした証人であったと理解することが大切であるのはなぜですか。（この質問について話し合うとき、生徒が次の真理を見いだすように助けます。モルモン書を研究することによって、わたしたちはイエス・キリストを見て、知っていた人からイエスとイエスの使命について学ぶ。モルモン書の翻訳者であるジョセフ・スミスも、イエス・キリストを目にした証人であったことを指摘してもよいでしょう。）

ホワイトボードの表に、記載されているとおりに3列目を追加します。

著者	経験	目的
1. ニーファイ	2ニーファイ11：2	1ニーファイ6：4
2. ヤコブ	2ニーファイ11：3	モルモン書ヤコブ1：7-8
3. モルモン	モルモン1：15	モルモン3：20-22
4. モロナイ	エテル12：38-39	エテル12：41

それぞれの生徒に3列目にある節の一つを黙読してもらい、各著者が各々のメッセージを記録した理由を探してもらいます。

- これらのモルモン書の著者がそれぞれのメッセージを記録したのはなぜですか。
- これらの著者が他の人々をキリストのみもとに導くことに非常に熱心であったのはなぜだと思いますか。
- これらの著者によるキリストのみもとへに来るための招きは、あなた自身にどのように当てはまりますか。これらの招きを深く考えるとき、どのような思いと気持ちを感じますか。

2ニーファイ33：1-2, 4-5, 10-11

モルモン書はイエス・キリストを信じる助けとなる

数え切れないほど多くの人々の人生がモルモン書の証によって変わりましたが、モルモン書の真実性と信憑性に対する疑問に悩む人もいることを説明します。

- モルモン書の証を強める、または証を得るよう誰かを助けるために、どのようなアドバイスをしますか。

一人の生徒に2ニーファイ33：1-2を声に出して読んでもらい、他の生徒にはモルモン書のメッセージが誰かの心に伝わることを可能にする力を見つけてもらいます。

- ニーファイは、彼のメッセージが誰かの心に伝わることを可能にする力は何の力だと言いましたか。（聖霊の力。）
- ニーファイは、人が聖霊を受ける妨げとなるものは何だと言っていますか。

生徒たちに、これらの節で教えられている原則を挙げ、話し合ってもらいます。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。聖霊に対してわたしたちの心をかたくなにしない限り、聖霊はモルモン書のメッセージをわたしたちの心に伝えてくださる。この原則をホワイトボードに書くとよいでしょう。）

生徒たちが2ニーファイ33：4-5を研究する時間を少し取って、モルモン書を研究することによってわたしたちが受けることができるさらなる祝福を探してもらいます。見つけた事柄を分かち合ってもらいます。

七十人のL・ホイトニー・クレートン長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に声を出して読んでもらいます。



「わたしたちも救い主……が実際に神からのものであることを信じるよう心を開くことを選ばなければなりません。……神はわたしたちに信じるよう強制されることはなさいません。その代わりに、わたしたちを教えるために生ける預言者や使徒を遣わし、聖文を与え、主の御霊を通して呼び寄せ、わたしたちを信じるように招いてくださるのです。……信じることを決断することは、わたしたちが行う決断で最も重要な決断です。その決断はわたしたちのその他の決断を形作ります。」（「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号、37-38）

- モルモン書の著者たちからのイエス・キリストを信じる招きを受け入れることは、どのようにわたしたちの他の決断を形作るのでしょうか。

一人の生徒に2ニーファイ33：10-11を声を出して読んでもらい、他の生徒にはニーファイが彼の言葉を信じることと、イエス・キリストを信じることを関係をどのように説明しているかを探してもらって、レッスンを続けます。

- ニーファイによると、彼の言葉を信じることと、イエス・キリストを信じることとの関係とは何ですか。
- ニーファイは、「終わりの日」に彼の言葉を拒む者に対して何が起こると言っていますか。

モルモン書がどのようにイエス・キリストに近づく助けとなったかについての証を生徒たちに分かち合ってもらいます。

生徒用資料

- 1ニーファイ6：4；13：40；2ニーファイ11：2-3；25：17-18；33：1-2，4-5，10-11；モルモン書ヤコブ1：7-8；アルマ33：22-23；モルモン1：15；3：20-22；エテル12：38-39，41
- 「モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第9章，117-126

第2課

預言者の言葉に従う

はじめに

神は、イエス・キリストを証し、悔い改めを宣言して、全ての人を救い主のもとに招くよう預言者を召されます。モルモン書は、これらの預言者に従う人

は祝福されるが、預言者に反する者は後悔と悲しみを経験すると教えています。

背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号, 74–77
- クラウディオ・R・M・コスタ「預言者に従う」『リアホナ』2010年11月号, 11–13
- キャロル・F・マッコンキー「預言者の言葉に従って生活する」『リアホナ』2014年11月号, 77–79
- “Our Need for Living Prophets,” **Teachings of the Living Prophets Student Manual**, 第1章（教会教育システム手引き, 2010年）, 4–13

教えるための提案

1ニーファイ1：4–15, 18；モーサヤ11：20–25；13：33–35

預言者の役割

生徒に次の質問をします。

- 生ける預言者についてのわたしたちの信仰は、末日聖徒イエス・キリスト教会と他の信仰とをどのように区別しますか。
- 地球上の歴史における他の時代と同様に、現代も生ける預言者が必要であるのはなぜですか。

何人かの生徒に1ニーファイ1：4–15, 18を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には主がどのようにリーハイを預言者として召し、備えたかを探してもらいます。

- 預言者となるためにリーハイを備えた経験は何でしたか。（リーハイはイエス・キリストの証を受け、悪人の破滅、および神のもとに来た人に与えられた憐れみを予見した。）
- エルサレムの人々にリーハイのような預言者が必要であったのはなぜですか。（生徒たちが答えるとき、生徒たちが次の真理を見いだすようにしてください。神は預言者を召し、預言者を通して神の御心を明らかにされる。）

一人の生徒に、ジョン・テラー大管長（1808–1887年）の次の言葉を読んでもらいます。



「わたしたちは天にあってその力を発揮している神権より発する生ける木、生ける泉、生ける知恵を地上の生ける神権を通じて与えられることを求めています。……アダムが初めて神との交わりを持ったときから……ジョセフ・スミスに天が開かれたときに至るまで、常に新しい啓示が必要とされました。教会や個人の置かれたその特殊な状態に合った啓示です。

アダムへの啓示はノアに箱船を作ることを教えませんでしたし、ノアへの啓示はロトにソドムを離れるようには告げませんでした。またそのいずれの啓示もイスラエルの子らがエジプトから脱出することを語りませんでした。これらの預言者は全て自分自身のための啓示を受けたのであり、それはイザヤもエレミヤも、エゼキエル、イエス、ペテロ、パウロ、ヨハネ、ジョセフも同じでした。わたしたちもそのはずです。」（『歴代大管長の教え—ジョン・テラー』158参照）

- 主が今日も引き続き生ける預言者を通じて主の御心を明らかにされると知ることは、なぜ大切なのでしょうか。
- モルモン書の預言者たちの役割を研究することは、今の時代においてわたしたちをどのように助けますか。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。

モーサヤ11：20–25

モーサヤ13：33–35

預言者はそれぞれの時代に特有の多くのメッセージを伝えましたが、全ての預言者が伝えるメッセージもあることを説明します。生徒たちに、ホワイトボード上の節を黙読しながら、そのようなメッセージを二つ見つけてもらいます。各自の聖典に、預言者アビナダイが各節で伝えたおもなメッセージに印をつけてもらいます。（注—聖句に印をつけることは聖文研究スキルであり、このコース全体を通じてそれを教えてもよいでしょう。）

生徒たちが見つけたことを発表してもらい、次の教義を強調することによって生徒が見つけた事柄を要約します。**神の全ての預言者は悔い改めを告げ、イエス・キリストを証します。**

生徒たちにモルモン書の預言者が悔い改めを告げ、イエス・キリストを証している例を見つけてもらうために数分取ってもよいでしょう。（悔い改めを告げた例には、2ニーファイ16：9–11のイザヤ；モルモン書ヤコブ2–3のヤコブ；モーサヤ11–12のアビナダイ；ヒラマン13–16のサムエル；およびモルモン3のモルモンがあります。イエス・キリストについての教えの例には、1ニーファイ19および2ニーファイ25のニーファイ；アルマ7のアルマ；モルモン7のモルモンがあります。）生徒たちに、それぞれの例をクラスで分かち合ってもらいます。

- 預言者たちが絶えず悔い改めを告げ、イエス・キリストについて証するのはなぜだと思いますか。

- これらのメッセージに従うことは、どのようにわたしたちが救いを得る助けとなりますか。

ヒラマン13：24-33；3ニーファイ8：24-25；9：10-11

神の預言者を拒むことは後悔につながる

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899-1994年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「預言者が世の中の罪悪を指摘すると、世の人々は自分の罪を悔い改めるよりも、預言者の口を塞ぐか、あるいは預言者など存在しないかのように振る舞おうとします。人気は決して真理の目安にはならないのです。……主の再臨が近づくにつれて世の人々はますます邪悪になり、預言者は彼らから受け入れられなくなるでしょう。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』142）

- 預言者の言葉に従わない人がいるのはなぜだと思いますか。

生徒たちにヒラマン13：24-29にある預言者サムエルの言葉を静かに調べ、人が預言者の警告を拒む理由を探してもらいます。見つけた事柄に印をつけるように再度勧めてもよいでしょう。

- サムエルによると、ニーファイ人が神の預言者を拒んだのはなぜですか。
- わたしたちには預言者を虐待したり殺害した罪はありませんが、これらの節は、どのように現代のわたしたちに対する警告となり得ますか。

一人の生徒にヒラマン13：30-33を声に出して読んでもらい、他の生徒には、レーマン人のサムエルが預言者の言葉を拒んだ人にもたらされると預言した結果を探してもらいます。その後、クラスに3ニーファイ8：24-25；9：10-11でこの預言の成就を読んでもらいます。

- これらの節から要約できる真理は何ですか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。主の預言者の言葉を拒むならば、わたしたちは後悔と悲しみを経験することになる〔3ニーファイ28：34も参照〕。）

一人の生徒に、エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読んでもらいます。



「自分が主をどれくらい支持しているか知りたければ、次のように自問してみましょう。この世における主の指揮者を、どれくらい支持しているだろうか。主が油注がれた生ける預言者、教会の大管長の言葉や、大管長会の言葉とどの程度調和した生活をしているだろうか。」（『歴代預言者の教え—エズラ・タフト・ベンソン』139-140）

「現代の預言者の言葉が、わたしたちにとって知る必要はあるが進んで聞きたいとは思えない場合、その言葉に対してどのように反応するかによって、わたした

ちの忠実さが試されます。」（『歴代預言者の教え—エズラ・タフト・ベンソン』141）

- ベンソン大管長の言葉は、どのように生ける預言者の勧告により忠実に従う意欲を高めるための助けとなりますか。
- どの預言者のメッセージが、今日の末日聖徒にとって最も大切なものに数えられると思いますか。

モーサヤ15：10–13；3ニーファイ10：12；12：1–2；エテル7：23–27

神の預言者に従うことは祝福をもたらす

預言者アビナダイが、ノア王と彼の邪悪な祭司たちに預言者の言葉に従うことの重要性を教えたことを生徒に伝えます。一人の生徒にモーサヤ15：10–13を読んでもらい、他の生徒にはこれらの節を原則の声明としてどのように要約するかを考えてもらいます。

- アビナダイの言葉を原則の声明としてどのように表現しますか。（生徒たちは、これらの節を次のように要約することができます。**預言者の言葉に従い、イエス・キリストの贖いの力を信じ、罪を悔い改める人は、神の王国を受け継ぐ者である。**）

生徒たちに、預言者の言葉に従うことによって祝福された忠実な個人やグループのモルモン書からの例を考え、発表してもらいます。次のような例が含まれます。リーハイの家族は、エルサレムから避難する勧告に従うことによって破滅から逃れた（2ニーファイ1：4）；アルマ（父）は、アビナダイの言葉に従い、多くの人を教えることができた（モーサヤ17：1–4；18：1–3）；司令官モロナイの軍隊は、アルマの勧告を求めることによって、レーマン人の軍隊から自らを守るためにどこに行けばよいかを学んだ（アルマ43：23–24）。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます（太字の原則は書かない）。

3ニーファイ10：12（神の預言者に従うことによって安全がもたらされる。）

3ニーファイ12：1–2（預言者は罪の赦しを受ける方法をわたしたちに教えられる。）

エテル7：23–27（預言者の勧告に従い、主を覚えておくことによって、主はわたしたちの必要に応じて祝福してくださる。）

ホワイトボードの節の一つを読んで、読んだ箇所を原則の声明として要約するように生徒に割り当てます。生徒たちがそれぞれの声明を発表するとき、各参照聖句の横に提案された原則の声明を書くよう提案してもよいでしょう。

預言者に従うことによってさらなる祝福がもたらされることを生徒たちが理解する助けとするため、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「兄弟姉妹、神の預言者がわたしたちに与えられているのは、決してささいなことではありません。預言者を通して与えられる主の御言葉に耳を傾けるならば、わたしたちには偉大ですばらしい祝福が与えられます。……すなわち、教会の大管長の言葉を通して示される主の勧告を聞いたなら、わたしたちは前向きに、即座に従う必要があるのです。……預言者の勧告に従うとき、安全と平安、繁栄と幸福がもたらされることは、歴史から明らかです。」（「『彼の言葉を受け入れなければならない』」『リアホナ』2001年7月号, 80）

- 預言者の勧告に積極的かつ速やかに従うことによって祝福されたことがありますか。
- 将来を待ち望むとき、地球上に預言者が存在することが重要となるのはなぜだと思いますか。

生徒たちに、主の預言者に忠実に従おうという望みが自分自身の行動に反映されているかどうかを深く考えてもらいます。忠実な者に約束された祝福をより完全に享受するには、各自の生活の中で何を変える必要があるかを考えてもらいます。

生徒用資料

- 1ニーファイ1：4-15, 18；モーサヤ11：20-25；13：33-35；15：10-13；ヒラマン13：24-33；3ニーファイ8：24-25；9：10-11；10：12；12：1-2；エテル7：23-27
- ラッセル・M・ネルソン「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号, 74-77

第3課

従順は祝福をもたらす

はじめに

神の戒めに対する従順は、神の驚くべき祝福に感謝の意を示す一つの方法です。救い主は従順の完全な模範です。わたしたちの従順であろうとする望みは、わたしたちの神への愛が増すに従って成長しま

す。戒めに対する従順さは、わたしたちが難しい課題を達成しようとするときに必要となる助けを神から与えていただくことを可能にします。

背景となる読み物

- トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号, 89-92
- ロバート・D・ヘイルズ「『もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである』」『リアホナ』2014年5月号, 35-38

教えるための提案

1ニーフアイ2：2-4, 9-13, 16, 19-20；モーサヤ2：20-24, 41

わたしたちは従順を通じて神に感謝の意を表し、神の最もすばらしい祝福にあずかる

十二使徒定員会のジョセフ・B・ワースリン長老（1917-2008年）が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「救い主に対する負債はどのようにして返済することができるでしょうか。救い主は、決して支払うことのできない負債からわたしたちを解放するために、御自分に関係ない負債を支払ってくださいました。救い主のおかげでわたしたちは永遠に生きるのです。主の無限の贖罪のおかげでわたしたちの罪は拭い去られ、神の全ての賜物のうち最も大いなる永遠の命にあずかることができます。

そのような賜物に代価はあるのでしょうか。そのような賜物に対して代価を支払うことができるのでしょうか。」（ジョセフ・B・ワースリン「この世の負債と天の負債」『リアホナ』2004年5月号, 43）

生徒たちがワースリン長老の最後の質問に対して考えられる回答を話し合うための時間を数分取ります。レッスンの間、この質問に答えるために役立つ原則と教義を探すように生徒を励まします。

生徒たちにモーサヤ2：20-24を黙読してもらいます。神との関係において自分自身をどのように見なすべきかについてベニヤミン王が教えた事柄を探してもらいます。

- わたしたちが何をしようとも、なお神の「ふつつかな僕」であることをベニヤミン王が教えたのはなぜだと思いますか。

- わたしたちが神への負債を支払うことは決してできませんが、これらの節は神がわたしたちにしてくださったこと全てに対する感謝を示すために何ができると提案していますか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。神に対する永遠の負債を認識するとき、わたしたちは神のために働き、神の戒めを守ることを望む。）

神への従順についてのすばらしい聖文記述の一つがモルモン書の始めの部分に書かれていることを生徒に伝えます。これには、預言者リーハイと彼の家族が神から非常に困難なことを行うように求められたときに、彼らがどのように応えたかが記録されています。一人の生徒に1ニーファイ2：2-4を声に出して読んでもらいます。

- リーハイの家族がエルサレムを去るという神の戒めに従うことが難しかったのはなぜですか。

生徒たちに1ニーファイ2：9-13, 16を研究し、この戒めに対するレーマンとレムエル、そしてニーファイの態度と行動の違いを探してもらいます。（注—この活動では、比較対照するという重要な聖文研究スキルを練習するよう生徒を促します。）

- レーマンとレムエルの反応を表す言葉や語句にはどんなものがありますか。（彼らは強情であった、つぶやいた、神の計らいを知らなかった。）
- ニーファイは、エルサレムを去るという戒めに対してどのように反応しましたか。（心を和らげた、神の奥義を知りたいと望んだ、預言者であった父の言葉を信じていた、祈った。）
- 父の言葉に対するニーファイの反応が彼のきょうだいと異なっていたのはなぜですか。

主、または主の教会の指導者たちから難しい事柄を行うように求められたとき、自分がレーマンレムエルのようなものであるか、またはニーファイのようなかを生徒たちが深く考えるための時間を少し取ります。

一人の生徒に1ニーファイ2：19-20を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、それを聞きながらニーファイに対する主の約束を見つけてもらいます。

- これらの節の中で、ニーファイに対する主の約束を要約している箇所はどこですか。（生徒たちが次の原則を理解するようにしてください。わたしたちが戒めを守るならば、地で栄える。これが、モルモン書の中で最も頻繁に繰り返されるテーマの一つであることを指摘してもよいでしょう。モルモン書を研究するときに、このテーマが繰り返されるさまざまな形に注意するよう勧めてもよいでしょう。）
- 主が賞賛されたニーファイの資質は何でしたか。わたしたちの主との関係の中で、わたしたち各自がこれらの資質を持つことが大切であるのはなぜだと思いますか。
- 従順が常に物理的な繁栄をもたらすとは限りませんが、主への従順の結果としてわたしたちが期待できる祝福には何がありますか。（この質問に答える助けとするため、モーサヤ2：41を読むことも検討してください。）

2ニーフアイ31：6-10, 15-16；モーサヤ15：7；3ニーフアイ11：11；12：19-20, 48

救い主の従順の模範に従うことは、救い主と天の御父のもとに来る助けとなる

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を見せます。



「わたしたちが救い主の生涯から学ぶ全ての教訓の中で、従順の教訓以上に明確で力強いものはありません。」（「『もしあなたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである』」『リアホナ』2014年5月号, 35）

- 救い主の生涯の模範で、主の従順を描写しているものには何がありますか。

この質問について生徒がさらに話し合うことができるように、モーサヤ15：7 および3ニーフアイ11：11を読み、天の御父に従うためにイエスが進んで行われたことを探してもらいます。

数人の生徒に2ニーフアイ31：6-10, 15-16を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒たちには、従順の重要性と、従順によってもたらされる祝福について救い主の模範から学ぶことができる事柄を探してもらいます。

- 救い主の模範から、従順の重要性について何を学ぶことができますか。救い主の模範から、従順によってもたらされる祝福について何を学ぶことができますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。天の御父に対する従順さにおける救い主の模範に従うとき、わたしたちは救いに続く狭い道にとどまることができる。）

ロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「霊的に成熟した従順は、『救い主が示された従順』です。それは、天の御父と御子に対する真の愛に動機づけられています。」（「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」36）

- 天の御父とイエス・キリストへの愛が戒めに従うための「鍵」であるのはなぜですか。

復活されたイエス・キリストが、戒めに従うこと目的についてニーフアイ人にお教えになったことを指摘します。生徒たちに3ニーフアイ12：19-20, 48を読んで、それらの目的を見つけてもらいます。

- これらの節によると、救い主は戒めが与えられた理由について何とおっしゃっていますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。）

キリストのもとに来て戒めを守るとき、わたしたちはさらに主と天の御父のようになり、救われる。)

- 従順になることは、あなたが救い主のみもとに来るためにどのように役立ちましたか。

生徒たちが、さらに神と神の御子のようになるために天の御父の戒めにより従順になるには何ができるかを深く考える時間を少し取ります。

1ニーファイ3：4-7, 15-16；4：1-2；7：12；17：1-31；18：1-4

主は従順な者を助けてくださる

生徒たちに、神の特定の戒めを守ることが難しく感じたとき、または教会での召しや役割が困難だと感じたときについて考えてもらいます。エルサレムに戻って真鍮の版を取り戻すように神から命じられたとき、ニーファイと彼のきょうだいが危険と死の可能性に直面したことを生徒に思い出してもらいます。生徒たちに1ニーファイ3：4-7を読んでもらい、ニーファイの模範から学ぶ、従順になるためのそれぞれの能力を高めることができる原則を見つけてもらいます。

- 神からの困難な戒めに対するニーファイの反応からどのような原則を学ぶことができますか。(生徒たちが次の原則を見つけたら、それをホワイトボードに書きます。主の戒めを行おうと努力すれば、主はそれを達成するための道を備えてくださる。)

生徒がこの原則を理解することを助けるため、次の参照聖句をホワイトボードに書き、生徒がそれらを探す時間を取って、命じられた困難な事柄を達成しようとして努力したときのニーファイの反応を探してもらいます。1ニーファイ3：15-16；4：1-2；7：12生徒たちが見つけた事柄を発表したら、ニーファイがその後、主の戒めを守る者を主がどのように助けてくださるかをいくつか説明したことを伝えます。生徒たちに1ニーファイ17：1-4を読み、主がどのようにわたしたちを助けてくださるかを見つけてもらいます。また、「このように……ことが分かる」というニーファイの言葉に線を引いてもらいます。この言葉は、次に続く言葉に特別な注意を払うよう、モルモン書の全体を通して使用されています。

生徒が発表するとき、次の言葉をホワイトボードに書きます。

養う
強める
手段を与える

生徒たちに1ニーファイ17：5-31；18：1-4の記述を数分でざっと読んでもらい、主がリーハイの家族を養い、強め、彼らに手段を与えてくださった例を探してもらいます。

- 主はどのような方法でリーハイの家族を養い、強められましたか。主は彼らを助けるための手段をどのようにお与えになりましたか。
- 主によってリーハイの家族に与えられた祝福で、今日わたしたちが必要とする祝福に似ているものは何ですか。
- 主に従おうと努力したときに、これらの方法のいずれかによる主の助けを経験したことはありますか。

主がわたしたちに従順を求められるのは、わたしたちが主のようになろうと努力するときに豊かな祝福を授けることを可能にするためであることを生徒に覚えておいてもらいます。ハロルド・B・リー大管長（1899–1973年）の次の言葉を分かち合います。



「神のあらゆる戒めの中で最も大切なものは、それを守るのが非常に難しいと感じている戒めです。……それが済んだら、2番目に難しいと感じている問題に取り組んでください。これが、神の戒めに従って、自分自身を聖めるための方法なのです。」（『歴代大管長の教え—ハロルド・B・リー』 30–31）

生徒たちに、従うことが難しいと感じる戒めについて考えてもらいます。主の助けを受けるためにより完全にふさわしくなれるよう、さらに従順になるための計画を立てるように生徒たちを励まします。

生徒用資料

- 1ニーファイ2：1–20；3：4–7， 15–16；4：1–2；7：12；17：1–31；18：1–4；2ニーファイ31：6–10， 15–16；モーサヤ2：20–24， 41；15：7；3ニーファイ11：11；12：19–20， 48
- トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号， 89–92

第4課

アダムの墮落と選択の自由の賜物

はじめに

アダムの墮落は、神の計画に不可欠な部分です。これにより、わたしたちがこの地に来て、試されることが可能な状況がもたらされたのです。神の計画には、神の子供たちに選択の自由を与えることも含まれていました（2ニーファイ2：27参照）。この課

で、生徒たちは、選択の自由を正しく行使するために重要なことは、神の御心を行うことを求める、つまりイエス・キリストの模範に従うことであることを学びます。

背景となる読み物

- ロバート・D・ヘイルズ「選択の自由—命の計画になくなくてはならないもの」『リアホナ』2010年11月号，24–27
- ジェフリー・R・ホランド「憐れみと愛の神の恵み」『リアホナ』2015年5月号，104–106

教えるための提案

2ニーファイ2：19–26，28；アルマ42：6–10，14；モーセ5：5–9
アダムの墮落

七十人のブルース・C・ヘーフェン長老の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「5世紀以来、キリスト教会はアダムとエバの墮落を悲劇的な過ちだと教え……てきました。……そのような考えは間違っています。墮落は災いではありません。過ちでも、不慮の出来事でもなく、救いの計画の一部として初めから意図されていたのです。」「贖い—全てを受けるために全てをささげる」『リアホナ』2004年5月号，97)

- 墮落が過ちでも不慮の出来事でもなく、救いの計画の意図的な部分であると理解することが大切であるのはなぜだと思いますか。

生徒たちに2ニーファイ2：19–25を研究し、墮落の影響（禁断の実を食べた後でアダムとエバに起こったこと）のリストを作ってもらいます。その後、そのリスト内の事柄をホワイトボードに書いてもらいます。（注—聖文の節から物事のリストを探し出すことは聖文研究スキルであり、これらの節とともに教えるとよいでしょう。『福音を教え学ぶ』の23ページを参照してください。）リストには次の項目が含まれているようにしてください。アダムとエバはエデンの園から追い出された；子供をもうけた；試しの状態となった；道に迷った状態になり、悔い改めなければならなくなった；相反する事柄を経験したこと

より、善いことと悪いことを経験し、それぞれの選択の自由を賢明に使うことができるようになった。

- ホワイトボードに書かれたリストは、アダムの墮落が天の御父の計画に必要な部分であった理由を説明するためにどのように役立ちますか。（生徒たちは、次の原則に要約できるさまざまな答えを挙げるでしょう。アダムの墮落は、わたしたちが現世に来て、永遠の命を目指して成長することを可能にした。）
- 墮落のために、「全ての人〔が〕……道に迷った状態にある」とはどのような意味ですか。（2ニーファイ2：21）

この質問に答える助けとするため、数人の生徒にアルマ42：6－10、14を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には追加の墮落の影響を見つけてもらいます。生徒が見つけた事柄を発表するときに、それらをホワイトボードのリストに加えてもよいでしょう。

- 「主の御前から断たれ〔る〕」とはどのような意味ですか。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の話を見せて、生徒の一人に声に出して読んでもらいます。



「〔アダムとエバ〕は一連の選択によって神の戒めに背いたことで園を去ることになりますが、そのおかげで肉体の死を迎える前に子供をもうけることが許されたということです。二人のこの状況をさらに悲しく、複雑にしたのは、彼らが背いたことで、神の御前から永遠に断ち切られるという、霊的な結果を招いたことでした。それ以来、わたしたちはその墮落した世界に生まれたために、そして同じように神の律法に背いてしまったために、アダムとエバと同じ罰を宣告されたのでした。……

こうして、アダムとエバの決断を予想しておられたわたしたち全ての父である神は、最初の両親がエデンの園から足を踏み出した瞬間から、天の御使いたちを送られ、二人に対して宣言させました。その宣言は時代を下ってわたしたちにも伝えられています。それは、この一連の出来事全体が、わたしたちの永遠の幸福のために計画されたものであるという宣言です。そして、一人の救い主、すなわち神御自身の御子であり、使徒パウロが呼んだもう一人の『アダム』が備えられ〔1コリント15：45参照〕、その御方が、最初のアダムの背きを贖うために、時の中間に降臨されるということも、この神聖な計画の一部でした。この贖罪は、肉体の死に完全な勝利をもたらすもの……です。また、慈悲深くも、悔い改めて神の戒めに従順であることを条件として、アダムからこの世の終わりに至るまで、あらゆる人の個人的な罪にも赦しがもたらされることになったのです。」（「憐れみと愛の神の恵み」『リアホナ』2015年5月号、105－106）

- わたしたちが「アダムとエバと同じ罰を宣告された」のはなぜですか。（墮落した世界に生まれ、神の律法に背いてしまうため。）

数人の生徒に2ニーファイ2：26、28およびモーセ5：5－9を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはわたしたちの人生において、どのように墮落の影響を克服することができるかを見つけてもらいます。

- これらの節によると、わたしたちは墮落による霊的な影響からどのように贖われることができますか。（答えには次の原則が含まれるようにしてください。わたしたちが悔い改め、赦しのために神を呼び求めるならば、イエス・キリストの贖罪を通じて罪から贖われることができます。）

生徒たちに、救いの計画における墮落の役割と、それがどのように「永遠の幸福のために計画された」のかを深く考えてもらいます。一人か二人の生徒に考えを発表してもらいましょう。

2ニーファイ2：14, 16, 26–29；ヒラマン14：30–31；3ニーファイ27：13

選択の自由の賜物

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長による次の声明を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「こうしてアダムとエバは〔墮落によって〕死すべき存在となりました。しかし、わたしたちにとって喜ばしいことに、二人りは子供をもうけ、この世の創造の目的を果たすことができたのです。……わたしたちは墮落を通して他にも祝福を授けられています。生命自体と同様に大切な、**選択の自由と責任**という密接なつながりのある二つの神の賜物の働きを促したのです。」（「不変の原則」『**聖徒の道**』1994年1月号, 40, 強調付加）

- 選択の自由と責任は、どのような点で「生命自体と同様に大切」なのでしょう。

生徒たちに2ニーファイ2：14, 16, および26を研究してもらい、神の子供が神の創造された他の事物とどのように異なるかについて、これらの節が何を教えているかを探してもらいます。

- これらの節は、神の子供と神の創造されたその他の事物との違いについて、何を強調していますか。（生徒たちが次の教義を見いだすようにしてください。**神の子供たちは、行動させられるのではなく、思いのままに行動するように創造された。**）
- 神が、行動させられるのではなく、行動するようにわたしたちを創造されたとはどういう意味ですか。
- 神の子供たちが、行動させられるのではなく、思いのまま行動するように創造されたことを知ることが大切なのはなぜですか。

この質問に答える助けとするため、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924–2015年）による次の言葉について話し合ってもよいでしょう。



「『主はわたしに賛成の票を投じておられ、ルシフェルは反対の票を投じている。だが大切なのは、わたしがどちらに票を投じるかなのだ』という古いことわざがあります。この言葉は、わたしたちの選択の自由には、サタンがどのような意向を持ってしようと、それをしのぐ力があるという教義上明らかな点をよく言い表しています。選択の自由は貴いものです。わたしたちは愚かにも、また何も考えずに選択の自由を捨ててしまうことができますが、無理やり取り上げられることはありません。

『悪魔がわたしにそうさせたのだ』という有史以来の古い言い訳もあります。それは間違っています。悪魔は人を欺き、道を誤らせることはできますが、罪を犯したり、罪にとどまったりするようあなたや誰かに強制する力はありません。」（「器の内側を清める」『リアホナ』2010年11月号, 74）

何人かの生徒に2ニーファイ2：26－29を読んでもらい、他の生徒にはヒラマン14：30－31を読んでもらいます。わたしたちが今選択する事柄によって生じる将来の結果を表す言葉や語句に線を引くよう生徒たちに勧めます。線を引いた言葉と語句を発表してもらいます。

- これらの節から、選択の影響についてどのような真理を学ぶことができますか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。わたしたちが**選択の自由**をどう行使するかで、わたしたちの**霊的な成長と永遠の祝福**が決まる。）

生徒がこの真理を理解する助けとするために、一人の生徒に十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を読んでもらいます。



「天の御父の御心を行うならば選択の自由が守られ、機会が広がり、成長でき〔ます〕。……この世の旅路では、この逆もまた真理であることを知っておくとよいでしょう。つまり、戒めを守らず、聖霊のささやきに従わないでいると、機会が狭められ、活動して成長する力がそがれるのです。……戒めに従うことによって、結局は**選択の自由**が守られること〔になります〕。」（「**選択の自由—命の計画**」になくてはならないもの」『リアホナ』2010年11月号, 25－26）

- 選択の自由を誤って行使することから生じる結果には何がありますか。
- 神の戒めに従順でいることは、どのようにわたしたちの**選択の自由**を守るのでしょうか。
- 「天の御父の御心を行う」ために**選択の自由**を行使することが**霊的な成長**の鍵となるのはなぜですか。

生徒たちに3ニーファイ27：13を黙読してもらい、**選択の自由**の賜物を義にかかった方法で使うことにおけるイエス・キリストの模範について考えてもらいます。

- 「わたしは父の御心を行うために世に来た」という救い主の言葉は、**選択の自由**の賜物を賢明に行使するためのどのような助けになりますか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老による次の言葉を分かち合っ
て、義にかなった方法で選択の自由を行使することによってもたらされるすば
らしい祝福を生徒たちが理解することを助けます。



「主は皆さんの個人的な進歩成長を望んでいらっしゃいます。この進
歩は、皆さんが成長のための経験を前にする度に、最初から好き嫌
いを言わず、進んで主の導きを求めていくなら一層速められるでしょ
う。主を信頼し、主の御心に心と思いを進んで向け、御心を行える
よう御霊の導きを求めるなら、皆さんは道を進みながら最大の幸福
を得、現世の生涯で最もすばらしい達成感を味わえるでしょう。逆
に、求められていること全てに疑念を抱き、難しいチャレンジを全て拒んでい
くなら、主の祝福を自ら遠ざけることになります。〔1ニーファイ3：7参照〕

選択の自由、つまり選び取る権利は、欲しいものを手に入れるために与えられて
いるものではありません。この神聖な賜物は、天父が皆さんに望まれる事柄を選べ
るようにするために与えられています。それによって、皆さんは主に導かれ、主の
御心にかなった人物となれます〔教義と聖約58：26－32参照〕。」（「人生に喜
びを見いだす」『リアホナ』1996年7月号, 30）

生徒たちに、義にかなった方法で行動することに決めたときのことを考えても
らいます。これらの判断の結果がどのように祝福をもたらしたかについて、数
人の生徒に分かち合ってもらいます。

天の御父の御心を行うことにおいてイエス・キリストの模範によりよく従うに
はどうすればよいかを深く考えるよう生徒たちに勧めます。わたしたちの選択
の自由の正しい行使が永遠の命につながることにについての証を述べます。

生徒用資料

- 2ニーファイ2：14, 16, 19－29；アルマ42：6－10, 14；ヒラマン14：
30－31；3ニーファイ27：13；モーセ5：5－9
- ジェフリー・R・ホランド「憐れみと愛の神の恵み」『リアホナ』2015年5
月号, 104－106

第5課

イエス・キリストの無限の贖罪

はじめに

歴史上最も偉大な出来事であるイエス・キリストの贖罪は、全ての人々が罪からの赦しを受け、永遠に天の御父とイエス・キリストのもとに住まうことを可能にするものです。この贖罪を通じて、全ての人々が

復活し、裁きのために神の前に戻ります。贖罪にはイエス・キリストが限りないさまざまな形で苦しめられることが必要であったため、イエスはわたしたちそれぞれを完全に理解し、哀れみをお持ちです。

背景となる読み物

- ボイド・K・パッカー「贖罪」『リアホナ』2012年11月号, 75-78
- D・トッド・クリストファーソン「贖い」『リアホナ』2013年5月号, 109-112

教えるための提案

モーサヤ3：5-11；アルマ34：8-12

無限の贖罪をなし得るのはイエス・キリストのみである

大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長（1920-2007年）の次の言葉を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「今朝わたしは歴史上最も偉大な出来事についてお話〔し〕ます。そのすばらしい出来事は、わたしたちの主であり救い主であるキリスト・イエスのたぐいまれな贖罪の業です。これは過去に行われた中で最も卓越した業……です。」（「贖い—最も大いなる希望」『リアホナ』2002年1月号, 19）

2, 3人の生徒にアルマ34：8-12を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には贖罪が歴史上最も偉大な出来事であった理由を表すキーワードや語句に印をつけてもらいます。

- イエス・キリストの贖罪が他に類を見ない最も偉大な出来事であるのはなぜですか。（次の真理を強調してください。イエス・キリストの贖いは無限かつ永遠であり、全ての人類に対して贖罪を可能にする。）

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を分かち合うことを検討してください。



「アダムとエバとその全ての子孫を贖うには、無限の贖いが必要だったのです。……永遠の律法によると、贖いには死に負けることのない一人の人の犠牲が必要でした。しかし、その人は死を味わった後、再びよみがえらなければなりません。それができるのは救い主だけでした。救い主は母親を通して死ぬ力を受け、御父を通して死に打ち勝つ力を受けておられました。」（「不変の原則」『聖徒の道』1994年1月号, 40）

- イエス・キリストが全ての人々を贖うことができる唯一の御方であったのはなぜですか。（イエスは死の影響を受けない不死不滅の御方であった。）
- イエス・キリストの贖いの犠牲は、どのような点で無限かつ永遠なのでしょうか。

この質問に答える助けとなるように、ラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「〔イエス・キリストの〕の贖いは無限で、終わりがありません。贖いは全人類が永久の死から救われることにおいても無限です。主の計り知れない苦難に関しても無限です。……贖いは範囲においても無限で、ただ一度だけ行われました。贖いの効力は無数の人々だけでなく、主によって造られた無数の世界にも及んでいます。人間のいかなる尺度も理解を超えた無限の贖いなのです。」（「贖い」『リアホナ』1997年1月号, 40）

ベニヤミン王の統治の終わりに、人々が「喜びに満たされる」「胸躍る大いなる喜びのおとずれ」のメッセージを天使がベニヤミン王に告げ知らせたと民に教えたことを説明します（モーサヤ3：2-4）。何人かの生徒にモーサヤ3：5-11を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒たちには、ベニヤミン王が説明した「喜びのおとずれ」を探してもらいます。

- ベニヤミン王の民が喜びに満たされる理由となったのは、これらの節のどのメッセージですか。（生徒たちが答えるときに、イエス・キリストが救いを可能にすることを強調します。）
- イエス・キリストが私たちの救いのために支払われた代価を説明する言葉または語句はどれですか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老（1862-1933年）の次の声明を声に出して読んでもらいます。



「ゲツセマネの園におけるキリストの苦悩は、その大きさにしても原因にしても、人間の心では計り知れないものである。……イエスは、これまでこの世に生を受けた人が、考えつくこともないような重荷の下に苦悶し、うめかれた。イエスに、あらゆる毛穴から血が吹き出るほどの苦痛を与えたのは、肉体の痛みでもなければ、心

の苦しみでもなく、それは神だけが経験することのできる、身と霊の両方にかかわる霊的な苦悶であった。肉体的に精神的にどれほど耐えられる人であっても、イエスの他にはそのような苦しみに耐えられなかったであろう。」（Jesus the Christ, 第3版, [1916年], 613）

- わたしたちのためのイエス・キリストの苦しみの大きさを深く考えるとき、どのような思いや気持ちを感じますか。

2ニーファイ9：6-12, 20-22

イエス・キリストは肉体的および霊的な死の両方を克服された

生徒たちに、贖いがなければ何が起こっていたかを想像してもらいます。贖いがなかった場合における人類の状態を思い描く助けとするため、一人の生徒に2ニーファイ9：6-9を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、一緒に黙読しながら贖罪がなかった場合の結末を表す語句を見つけてもらいます。

- 預言者ヤコブによると、贖罪がなければわたしたちの体に何が起こりますか。わたしたちの霊はどうなりますか。

生徒たちに、イエス・キリストの贖罪のおかげでこの恐ろしい結末を体験する必要がないことが福音の中心となるメッセージであることを思い出してもらいます。

二人の生徒に2ニーファイ9：10-12, 20-22を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはわたしたちが霊的および肉体的な死から救われる手段を見つけてもらいます。

- わたしたちが霊的および肉体的な死から逃れるために与えられた手段とは何ですか。（生徒たちが次の教義を要約できるように助けます。イエス・キリストは、贖罪によって肉体的および霊的な死の影響を克服された。）
- これらの節は、復活の祝福について何を教えていますか。（わたしたちの肉体的な体と霊は、永遠のために再び結び合わされる。裁きのために神のもとに連れ戻される。）

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に声に出して読んでもらいます。



「イエス・キリストは贖罪と復活により、墮落のあらゆる面を克服されました。肉体の死は一時的なものであり、霊の死でさえも終わりがあります。わたしたちは皆裁きを受けるために、少なくとも一時的には神の御前に戻るのです。」（「イエス・キリストの復活」『リアホナ』2014年5月号, 112）

- イエス・キリストが肉体的および霊的な死を克服されたことに対して感謝の気持ちを感じたのはどのようなときですか。

モーサヤ3：11, 16；15：7-9；アルマ7：11-13；モロナイ8：8-12；教義と聖約137：7-9

イエス・キリストは、贖罪を通して全ての人に贖罪を与えてくださる

イエス・キリストは、墮落によって生じた肉体の死と霊の死から全人類を解放して下さるだけでなく、個人の罪が原因で起きる霊の死からも、わたしたちを解放して下さるということを生徒に思い起こしてもらいます。一人の生徒にモーサヤ15：7-9を声に出して読んでもらい、他の生徒たちには、わたしたちが罪から贖われることをキリストがどのように可能にされるかを見つけてもらいます。

- これらの節は、わたしたちが罪から贖われることをキリストがどのように可能にされると教えていますか。（次の教義を強調してください。贖罪を通して、イエス・キリストは死の縄目を絶たれ、わたしたちの悪行を引き受けてくださり、正義の要求を満たして、わたしたちを執り成す力を得られた。）
- 執り成しとはどういう意味ですか。（執り成しとは、当事者間に立って仲裁し、両者が和解することを助ける行為です。この場合、イエスは罪のために破綻した関係を修復するために、わたしたちと神の間で執り成してくださいました。）

モルモン書が、イエス・キリストの贖罪によって、どのように小さな子供たち、および福音を受けずに、またはバプテスマを受けることなく亡くなった人々が救われるかを理解するために役立つことを説明します。

クラスの半分の生徒にモーサヤ3：16を黙読し、この節とモロナイ8：8-12を相互参照してもらいます。クラスのもう半分の生徒にモーサヤ3：11を黙読し、この節と教義と聖約137：7-9を相互参照してもらいます。

- これらの節は、バプテスマを受ける前に亡くなった子供たちの救いについて何を教えていますか。
- これらの節は、「神の御心を知らずに死んだ」人たちの救いについて何を教えていますか。（モーサヤ3：11）

贖罪を通して、救い主はわたしたちを理解するための完全な共感を得られたこと、現世での困難を乗り越えるためにわたしたちを助けてくださることを生徒に伝えます。生徒たちにアルマ7：11-13を調べ、贖罪の一環としてイエス・キリストが体験された現世での困難を表す言葉を探してもらいます。生徒たちに見つけた事柄を報告してもらいながら、次の言葉をホワイトボードに書き出します。苦痛、苦難、誘惑、病気、死、弱点（弱さまたは無力さ）、および罪。アルマ7：11にある「あらゆる」という言葉に注目してもらい、ホワイトボードにリストされているさまざまな状態の例を生徒たちに挙げてもらいます。

「受けられる」という言葉が11-13節で幾度か繰り返されていることを指摘します。（注—繰り返される事柄を認識することは聖文研究スキルであり、ここでそれを強調してもよいでしょう。聖文の繰り返しは、学習者が主要な強調点を認識するために役立つことを指摘します。）

- 11-12節によると、イエス・キリストが苦痛、病気、弱点、およびホワイトボードにリストされているその他の状態を「受けられ」たのはなぜです

か。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。救い主は、わたしたちが現世の困難に直面するときにわたしたちを救うことができるように、苦痛、病氣、および弱点を御自身に受けられた。）

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「救い主の贖罪はわたしたちから罪の重荷だけではなく、落胆と悲しみの重荷、心痛と絶望をも取り去ってくれることを証します〔アルマ7：11–12参照〕。創世の始めから、神の助けに頼ることは、わたしたちに、より善い人になる理由と、そうなるための方法、そして、罪の重荷を降ろして救いを達成しようとする動機を与えてきました。」（「壊れたものを元どおりに」『リアホナ』2006年5月号、

70)

- 救い主の贖罪を信頼することは、あなたの行動と永遠に対する展望にどのような影響を与えますか。
- アルマ7：11–13にある真理を理解することは、わたしたちが困難に直面するときにどのような助けになりますか。

生徒たちに、生活の中でイエス・キリストの贖罪の力を感じた経験を分かち合ってもらいます（神聖すぎる、または個人的すぎることは分かち合わないよう生徒に注意してください）。

生徒たちに、救い主の贖罪の癒やしと力をそれぞれの生活によりよく適用していくためには何ができるかを書き留めてもらいます。受けた印象に従って行動するように生徒たちを励ましてください。

生徒用資料

- 2ニーファイ9：6–12, 20–22；モーサヤ3：5–11, 16；15：7–9；アルマ7：11–13；34：8–12；モロナイ8：8–12；教義と聖約137：7–9
- D・トッド・クリストファーソン「贖い」『リアホナ』2013年5月号, 109–112

第6課

わたしたちの時代のために書かれたモルモン書

導入

モルモン書と回復されたイエス・キリストの福音は、末日に神によって行われた「驚くべき業と不思議」の一部です（2ニーファイ25：17）。モルモン書には完全な福音が記録されているため、背教を克

服し、人々をキリストのもとに導くための重要な役割を果たします。このレッスンは、この聖なる記録がわたしたちの時代を見越した、靈感を受けた著者によって書かれたことを強調します。

背景となる読み物

- ジェフリー・R・ホランド「魂の安寧」『リアホナ』2009年11月号、88–90
- 「モルモン書で地と自分自身の生活を洪水のごとく満たす」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第10章、127–135

教えるための提案

2ニーファイ27：6, 29–30, 35；3ニーファイ29：1–2；モーセ7：62；ジョセフ・スミス—歴史1：34

末日におけるモルモン書の役割

生徒たちに、モルモン書には末日に邪悪と背教がこの地に起こるといふ預言が記録されていることを説明します（2ニーファイ27：1, 4–5参照）。モルモン書には、これらの問題に対する主の解決法も記録されています。一人の生徒に2ニーファイ27：6, 29–30, 35を声に出して読んでもらい、他の生徒には主の解決法を見つけてもらいます。

- これらの節によると、主は、邪悪と背教に対抗するために末日に何をなさいますか。
- モルモン書は、末日の邪悪に対する解決法をどのように提供しますか。

モルモンが、末日においてモルモン書が果たす追加の役割についての預言を記録したことを生徒に伝えます。生徒たちに、数分間3ニーファイ29：1–2を調べ、その預言を見つけてもらいます。「これらの御言葉」という句がモルモン書を指していることを指摘してもよいでしょう。

- モルモン書の出現とともに始まる重要な業とは何ですか。（イスラエルの集合。）

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）が、末日における福音の回復と主の業の始まりにおけるモルモン書の主要な役割について説明していることを伝えます。一人の生徒に、次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「〔モルモン書〕の出版は、教会が組織される数日前のことでした。3つの光栄、日の栄えの結婚、死者のための儀式など大切な教義に関する啓示が与えられる前に、聖徒たちはモルモン書を渡されました。神権定員会や教会が設立される前にこの世にもたらされたのです。このことは、主がこのモルモン書をどのように御覧になっているかを物語っているのではないのでしょうか。」（「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 4）

- モルモン書の出現が、福音の回復におけるその他多くの重要な出来事の前に起こり、イスラエルを集合させ、末日の邪悪を克服するという主の御業の中核となっているのはなぜだと思いますか。

この質問に答える助けとするため、一人の生徒にジョセフ・スミス—歴史1：34を声に出して読んでもらいます。クラスの生徒たちにモルモン書に記録されている内容を見つけてもらいます。

- モルモン書には何が記録されていますか。（生徒たちが次の真理を見いだすように助けてください。モルモン書には、イエス・キリストの完全な福音が記録されている。）
- モルモン書には「完全な永遠の福音」が含まれているというモロナイの宣言の意味は何ですか。

この質問に答える助けとなるように、エズラ・タフト・ベンソン大管長による次の言葉を見せて、一人の生徒に読んでもらいます。



「モルモン書に『イエス・キリストの完全な福音』（教義と聖約 20：9）が載っているとされたのは主御自身でした。それは全ての教え、これまでに啓示された全ての教義が載っているということではありません。むしろ、モルモン書には救いに必要な教義が完全な形で収められているということなのです。そして、それは分かりやすく簡単に教えられて〔います〕。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』123）

- モルモン書に記録されている「わたしたちの救いに必要な教義」には何がありますか。（これらの教義には、贖罪、イエス・キリストへの信仰、悔い改め、バプテスマ、および聖霊の賜物が含まれる。）

主が、末日におけるモルモン書の重要性についてエノクにお教えになったことを説明します。一人の生徒にモーセ7：62を声に出して読んでもらいます。（ホワイトボードに、「天から〔下された〕義」が回復を可能にした啓示を指し、「地から〔出された〕真理」がモルモン書を指すことを書いてもよいでしょう。これらの定義を聖典の余白に書き込むこと、または電子聖典にメモを作成することを生徒に勧めます。）

- この節によると、モルモン書は末日にどのように使われますか。（地の四方から神の選民を教会に集めるために役立つ。）

- 誰かが改宗し、主の教会に加わるためにモルモン書が役立ったのを見たことはありますか。
- わたしたちが義とモルモン書のメッセージで「洪水のごとく」に「地……を満たす」ことができる方法を挙げてください。

生徒たちに、心、家庭、そしてこの地をモルモン書のメッセージで「洪水のごとく」満たすために何かを行うように決心してもらいます。

3ニーファイ21：9－11

モルモン書の真理は敵対に耐える

生徒たちに、モルモン書、または福音の回復についての反対からそれらを擁護したときのことを考えてもらいます。

一人の生徒に3ニーファイ21：9－11を声に出して読んでもらいます。生徒が読み始める前に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が、これらの節にある「僕」を預言者ジョセフ・スミスであるとしたことを説明します

（**Christ and the New Covenant** [1997年] 287－288参照）。

- 預言者ジョセフ・スミスは、これらの節にある説明にどのように当てはまりますか。
- これらの節によると、救い主は末日にジョセフ・スミスとモルモン書に敵対する人々に何をお見せになりますか。（生徒たちが次の教義を見いだすように助けてください。**神の知恵は悪魔の悪知恵よりも深い。**）
- モルモン書は、どのように神の「知恵が悪魔の悪知恵よりも深い」ことを示す助けとなりますか。

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を見せて、それを読みます。



「この書物は、〔180年以上〕にわたって調査されて攻撃を受け、否定され、細部まで調べ上げられ、標的にされ、非難を浴びてきました。これほどの書物は近代の宗教史にはおそらくなく、どの宗教史においてもきつとないでしょう。この書物は今なお立っています。〔モルモン書の起源については〕成功することのない理論が生まれ、おうむ返しに繰り返されては消えていきました。モルモン書について、このような、率直に言えば哀れと言う他ない結論の中で、検証に耐えたものは一つとしてありません。なぜなら、無学な若い翻訳者ジョセフが示した答え以外に答えはないからです。この点について、わたしは曾祖父が短くまとめた言葉に共鳴しています。『悪人にこのような本は書けない。この本が真実であって、神から命じられるのでなければ、善良な人も書くことはできないのだ。』」（『魂の安寧』『リアホナ』2009年11月号、89）

- モルモン書に対してこのように多くの敵対があるのはなぜだと思いますか。
- モルモン書が、それに向けられた敵対に耐えることができると学んだ経験はありますか。

- 他の人にモルモン書について教え、その真実性を擁護したときに、あなたは何を感じ、何を学びましたか。

モルモン8：1-5, 26-35

わたしたちの時代のために書かれたモルモン書

生徒たちに、モロナイが彼の文明の破滅を目撃したことを思い起こしてもらいます。生徒たちにモルモン8：1-5を黙読してもらい、モロナイには、金版を守るために何を行うことが必要とされたかを考えてもらいます。

- あなたがモロナイであると想像してください。あなたが自分の記録を他の人に読んでほしいと思う理由を幾つか挙げてください。

生徒たちにモルモン8：26-35を読み、モルモン書が出現するときの状態についてモロナイが預言した事柄を探してもらいます。見つけた箇所に印をつけるよう生徒に提案するとよいでしょう。

- モロナイは、モルモン書が出現する時代をどのように表現しましたか。
(背教と邪悪の時代となる。)
- 35節に基づいて、どのような結論を出すことができますか。(モロナイに加え、ニーファイ、ヤコブ、およびモルモンを含む他の預言者も将来の世代に対して書いていると言ったことを指摘してもよいでしょう。生徒に、35節と、2ニーファイ25：21-22およびモルモン7：1とを相互参照してもらうことを検討してください。)
- 今日わたしたちが直面する問題をモロナイとその他のモルモン書の著者が認識していたことを知ることが大切なのはなぜですか。(この質問について話し合うときは、次の真理を強調してください。モルモン書の教えは、その著者たちがわたしたちが直面する問題を認識していたことから、今日のわたしたちに大いなる価値がある。)

生徒たちがこの真理を理解する助けとするため、エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を読みます。



「モルモン書はわたしたちの時代のために書かれたもの……です。ニーファイ人たちにも、古代のレーマン人たちにもモルモン書はありませんでした。まさにわたしたちのためのものでした。モルモンはニーファイ人の文明の末期にこれを書き記しました。全てを初めから見ておられる神の靈感の下に、モルモンはわたしたちのためになる物語、話、出来事を選んで、何世紀にもわたる記録を短くまとめたのでした。

たのでした。

モルモン書のおもな執筆者たちは口をそろえて、それが後世の人々のために記したことを証しています。……彼らがわたしたちの時代を見、わたしたちのためになることを選んでくれたのなら、なおさらモルモン書を研究する必要があるのではないのでしょうか。『これを記録するように主がモルモン（モロナイあるいはアルマ）に靈感をお与えになったのはなぜだろうか、現代の生活への教訓として何が学べるだろうか』と絶えず自問する必要があります。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』130-131

- モルモン書がわたしたちの時代のために書かれたことを覚えておくことは、わたしたちのモルモン書の読み方をどのように変えますか。

生徒たちに、モルモン書によって指示、力、質問への答え、または問題の解決方法がどのように与えられたかについての例を挙げてもらいます。

生徒用資料

- 2ニーファイ25：17–18；3ニーファイ21：9–11；29：1–4；モルモン8：1–5，26–35；エテル12：22–26；モーセ7：62；ジョセフ・スミス—歴史1：34
- 「モルモン書で地と自分自身の生活を洪水のごとく満たす」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第10章，127–135

第7課

モルモン書と聖書

はじめに

聖書に肩を並べるモルモン書は、イエス・キリストの神性と世界の救い主としてのイエスの役割の証です。モルモン書は、聖書から失われた分かりやすく

貴い真理を回復します。モルモン書を研究することにより、わたしたちは聖書の教義をより明確に理解することができます。

背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「聖文の証」『リアホナ』2007年11月号，43–46
- タッド・R・カリスター「モルモン書—神からの書物」『リアホナ』2011年11月号，74–76

教えるための提案

エゼキエル37：15–19；2ニーファイ3：11–12；29：3–10

聖書とモルモン書は一体となったイエス・キリストの証である

神が既に聖書をお与えになっているためにモルモン書に対する疑問を持つ人に対して何を言うかを生徒たちに尋ねます。

生徒たちに2ニーファイ29：3–10を黙読して、聖書の他にもう一つの聖典をお与えになった主の理由を示す箇所を印をつけてもらいます。

- 主は、聖書以外の聖文に疑問を抱く者について何とっておられますか。
- 8節によると、主は、聖書の他に聖典を明らかにされる主の目的は何であると言われましたか。（生徒はさまざまな答えを挙げられると思いますが、次の真理を見いだすようにしてください。聖書とモルモン書は、一体となってイエス・キリストを証する。）
- この聖句から、追加の聖文による証を持つことの重要性を理解するために役立つどのような事柄を学びますか。

聖書とモルモン書がイエス・キリストの証としてどのように一体となって作用するかについての生徒たちの理解を深めるため、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の声明を見せ、一人の生徒にそれを声に出して読んでもらいます。



「聖文の証は互いの真実性を立証し合っています。この考え方ははるか昔に、モルモン書について書いた預言者の次のような言葉に説明されています。『この記録を書き記しているのは、〔聖書〕をあなたがたに信じさせるためである。また、あなたがたは〔聖書〕を信じるならば、〔モルモン書〕も信じるであろう。』〔モルモン7：9〕それぞれの書が互いについて言及し合っています。そしてそれぞれが、神が生きておられ、預言者への啓示を通じて神の子供たちに話しかけておられる証拠としての役割を果たしています。

モルモン書を愛するならば、聖書も愛するようになります。逆もまた然りです。回復の聖文は聖書と対立するものではありません。むしろ聖書を補完するものです。」（「聖文の証」『リアホナ』2007年11月号，43）

- ネルソン会長による2冊の聖文の関係についての説明で、特に印象に残った箇所はどこですか。また、それはなぜですか。

ユダの木とヨセフの木が一つになると旧約聖書の預言者エゼキエルが預言したことを生徒に思い出してもらいます。「木」とは、木版、または木の軸に巻かれた巻物を指すことを説明します（ボイド・K・パッカー「聖典」『聖徒の道』1983年1月号，90参照）。一人の生徒にエゼキエル37：15－19を声に出して読んでもらいます。

- これらの木は何を表わしていますか。（必要に応じて、「ユダの木」が聖書を表し、「エフライムの木」がモルモン書を表していることを説明します。）
- これらの2本の木、つまり2冊の書物が「あなたの手で一つになる」とは何を意味すると思いますか。（17，19節）

この質問に答える助けとするために、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924－2015年）が語った次の言葉を読みます。パッカー会長がこの言葉を述べたすぐ後で、モルモン書と聖書の新版が教会によって出版されたことを説明します。モルモン書と聖書には、それぞれお互いを参照するために役立つ注釈と、その他の聖文ヒントが記載されており、新たな方法で2冊の書物を一体にします。聖書とモルモン書を一緒に研究する人に与えられる祝福を聞き取るように生徒を促します。



「ユダの木、.....それにエフライムの木.....は、このような過程を経て一つに合わせられたのです。一方を読めば他方も読むことになり、一方から得た知識は他方を読むことによってより明確なものになります。2本の木は、本当にわたしたちの手の中で一つになりました。.....エゼキエルの預言が成就したわけです。

年月を経るに従って、この聖典に触れる人々は、次々と主イエス・キリストを知って主の御心に従う忠実なクリスチャンとなっていくことでしょう。

.....

.....〔新しい世代〕は、歴史上かつて誰も目にし得なかった啓示に触れることができます。今や、ヨセフの木とユダの木が彼らの手に置かれました。彼らには、過去の人々には到底なし得なかった研究ができるのです。彼らはイエスがキリストで

あるという証を持ち、そのように宣言し、主を擁護する力を持つようになるでしょう。」（『聖典』『聖徒の道』1983年1月号，92－93）

- モルモン書と聖書の一つとして研究するときどのような祝福を受けることができますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。聖書とモルモン書をともに研究するとき、イエスがキリストであるというより強い証を受ける。）
- モルモン書と聖書をともに研究することは、イエス・キリストに関するあなたの知識と証をどのように深めましたか。

一人の生徒に2ニーファイ3：11－12を読んでももらいます。（これらの節がエジプトのヨセフの預言であることを明確にするとよいかもしれません。これらの節で、ヨセフは2冊の書物について言及しています。ヨセフの子孫によって書かれた本がモルモン書、ユダの子孫によって書かれた本が聖書です。）

- モルモン書と聖書が「一つに合わされ」るとき、これらの書物は世界にどのような影響を与えますか。（生徒たちが次の意図を見いだすようにしてください。これらの書物は偽りの教義を打ち破り、争いを鎮め、平和を確立する。）

天の御父、およびイエス・キリストに対する証を強めるために、モルモン書と聖書をどのように共用していくかを生徒たちに深く考えてもらいます。生徒に、各自の考えと印象を分かち合ってもらいます。また、受けた促しを行動に移すように勧めます。

1ニーファイ13：23－29, 35－36, 38－41

分かりやすく 貴い真理が回復された

預言者ジョセフ・スミスが、欽定訳聖書を靈感のもとに改訂するように主から命じられたことを生徒に思い出してもらいます。これらの改訂はジョセフ・スミス訳として知られています。預言者ジョセフ・スミス（1805－1844年）の次の言葉を見せて、読みます。



「わたしは原著者の筆によって書き記されたままの聖書を信じています。無知な翻訳者や不注意な転写者、あるいは腹黒く腐敗した聖職者たちが多くの間違いを犯してきました。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』207）

- 聖書の靈感訳が必要であったのはなぜですか。

生徒たちに、ニーファイが聖書の出現についての示現を見たことを思い出してもらいます。一人の生徒に1ニーファイ13：23－25を声に出して読んでももらいます。他の生徒たちには、最初に書かれたときの聖書についてのニーファイの説明を探してもらいます。

- 天使は、最初に書かれたときの聖書についてニーファイに何を教えましたか。（「主〔の〕聖約が載って〔いた〕」「大いに価値のあるもの」および「主の完全な福音が載っていた」。）

生徒たちに1ニーファイ13：26–28を読み、聖書にどのような理由で何が起こるかについてニーファイが学んだ事柄を探してもらいます。

- 大きな忌まわしい教会は、聖書に何をしましたか。（大きな忌まわしい教会は、特定の教会や組織ではなく、イエスに反対する者全てを指す総括的な言葉であることを強調します〔1ニーファイ13：4–9；14：10参照〕。）
- 27節によると、これらの分かりやすく貴い箇所が取り去られた理由は何ですか。

一人の生徒に1ニーファイ13：29を声に出して読んでもらい、他の生徒には聖書から分かりやすく貴い箇所が取り去られたことによる結果を探してもらいます。

- 主の分かりやすく貴い教えが聖書から取り去られた結果、何が起きたでしょう。
- 今日の世界で見受けられるもので、分かりやすく貴い真理が欠落していることが原因で「非常に多くの人がつまず〔いて〕」いるという証拠には何がありますか。

数人の生徒に1ニーファイ13：35–36, 38–41を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはこの問題に対する主の解決方法を見つけてもらいます。

- 主は、聖書から分かりやすく貴い真理が取り去られたことによって生じた問題を克服するために何をなさいますか。
- モルモン書に加え、回復の一部として主によってもたらされた「幾つかの書物」とは何ですか。（「幾つかの書物」には、教義と聖約、高価なる真珠、および聖書のジョセフ・スミス訳が含まれることを各自の聖典にメモするように生徒に勧めます。）
- 40節によると、モルモン書と「幾つかの書物」は、聖書から分かりやすく貴い部分が取り去られることによって生じた問題をどのように解決しますか。（生徒が次の真理を理解するようにしてください。モルモン書と末日の聖文は、聖書の真実性を確立し、聖書から取り去られた分かりやすく貴い真理を回復する。）

聖書にある教義と原則に対するわたしたちの理解をモルモン書がどのように確かにするかを説明するため、七十人会長会で奉仕したタッド・R・カリストー長老の次の言葉を読みます。



「聖書はイエス・キリストについての一つの証であり、モルモン書はもう一つの証です。この第2の証がなぜそれほど重要なのでしょうか。次の図が役立つかもしれませんが。紙の上の一つの点を通る直線は何本引くことができますか。その答えは無限です。少しの間、一つの点が聖書を表し、その点を通るように引いた数百の直線が聖書の

異なる解釈を表し、またその解釈のそれぞれが異なる教会を表すと仮定してみましょう。

しかし、紙の上にモルモン書を表す第2の点があれば、どうなるでしょうか。これらの二つの基準点、すなわち聖書とモルモン書の間にかくことができる直線は何本でしょうか。1本だけです。これらの二つの証により、キリストの教義の解釈はただ一つとなります。

さらにまた、モルモン書は、……聖書の中で教えられている教義を確認し、明確にし、統一する証の役割を果たしています。」（「モルモン書—神からの書物」『リアホナ』2011年11月号，75）

- イエス・キリストの福音の証としてモルモン書と聖書の両方を持つことが大切であるのはなぜですか。

生徒たちに、モルモン書がどのように聖書をよりよく理解するため、または救い主に近づくための助けとなったかを証し、その例を分かち合ってもらいます。

生徒用資料

- エゼキエル37：15－19；1ニーファイ13：20－41；2ニーファイ3：11－14；29：1－14
- ラッセル・M・ネルソン「聖文の証」『リアホナ』2007年11月号，43－46

第8課

救いはイエス・キリストによってもたらされる

はじめに

イエス・キリストに従い、戒めを守るためのわたしたちの努力は必要ですが、救いを得るためには十分ではありません。わたしたちの救いは、イエス・キリストの功德、憐れみ、および恵みによってのみ可

能になります。イエス・キリストの教義は、イエスの恵みを通じて、わたしたちが福音を学び、儀式を受け、永遠の命につながる道を進むことができると理解する助けとなります。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「恵みの賜物」『リアホナ』2015年5月号, 107-110
- L・トム・ペリー「イエス・キリストの福音」『リアホナ』2008年5月号, 44-46

教えるための提案

2ニーファイ2：6-9；25：23；モーサヤ4：6-8

救いはイエス・キリストゆえに可能である

生徒に十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老（1922-2015年）による次の言葉を見せます。



「多くの人が『自分はどこから来たのか』『なぜここにいるのか』『これからどこへ行くのか』という疑問を抱いています。永遠の御父はわたしたちを、目的も意味もない地上の旅に送られたわけではありません。従うべき計画を用意してくださいました。その計画は、人が進歩し最高の救いと昇栄を得るために主を立ててくださったものです。」（「救いの計画」『リアホナ』2006年11月, 69）

- 人は、現世での生涯を独りでさまようように神が彼らを離れることはせず、彼らの救いのために計画を与えてくださったと知ったら、どのように感じるとお思いますか。

生徒たちに2ニーファイ2：6-9を読んでもらい、何が救いを可能にすると預言者リーハイが言ったかを探してもらいます。

- リーハイによると、神の計画で救いを可能にするのは何ですか。（生徒たちが次の事柄を見いだすようにしてください。わたしたちは、イエス・キリストの功德、憐れみ、および恵みによってのみ救われることができる。

救われる、または救いを受けるということが何を意味しているかの次の定義を分かち合ってもよいでしょう。「救いの完全かつ真の意味は、昇栄または永遠の命と同義であり、日の栄えの王国にある3つの天国のうち最高の受け継ぎを得ることにあります。幾つかの例外を除き、これが聖文の言う救いなのです。」〔ブルース・R・マッコンキー, **Mormon Doctrine**, 第2版〔1966年〕, 670〕)

- イエス・キリストの**功德**、**憐れみ**、および**恵み**とはどういう意味ですか。
 (イエス・キリストの**功德**とは、イエスの義にかなった行為、特にイエスの贖罪です。**憐れみ**は、わたしたちの罪にかかわらず、イエスがわたしたちに示してくださる思いやりと寛容です。**恵み**とは、憐れみ、愛、優しさ、親切、および救いを可能にする力といった形でイエスが与えてくださる助けを指します。これらは、わたしたちができる限りの努力を費やした後で永遠の命と昇栄を受けることを可能にします。『聖句ガイド』の「恵み」も参照してください。)

この教義に対する生徒たちの理解を深めるため、ディーター・F・ワークトルブ管長の次の言葉を見せ、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「天への道を自分で勝ち取ることはできません。正義の要求が障壁として立ちはだかり、わたしたちは自力では乗り越えられないのです。

しかし何の手だてもないわけではありません。

神の恵みが、わたしたちの大いなる永遠の望みです。

イエス・キリストの犠牲によって、憐れみの計画が正義の要求を満た〔す〕のです〔アルマ42：15参照〕。」(「恵みの賜物」『リアホナ』2015年5月号, 108)

- その人自身の義が「正義の要求」を満たし、永遠の命を得るために十分ではないのはなぜですか。(わたしたちは、いつかは戒めを完全に守ることを学ぶかもしれませんが、完全な生涯を過ごした人は救い主以外におられません〔ローマ3：23参照〕。罪を犯さなくなったとしても、過去の行為による害や責任が消されるわけではありません。これが、贖罪と恵みを必要とする理由です。)

わたしたちはイエス・キリストの功德、憐れみ、および恵みによってのみ救われますが、救い主の贖いの力にあずかるためにわたしたちがしなければならぬ事柄をモルモン書の預言者たちが教えていることを生徒たちに思い出してもらいます。

一人の生徒にモーサヤ4：6-8を声に出して読んでもらい、他の生徒には、イエス・キリストの贖罪を通して救いを受けるためにわたしたちがしなければならぬ事柄についてベニヤミン王が何を教えたかを探してもらいます。

- ベニヤミン王によると、贖罪を通して救いを得るには何をしなければなりませんか。(神の知恵と贖罪について知り、神を信頼し、戒めを熱心に守り、生涯の最後まで忠実であり続ける。)

生徒たちに2ニーファイ25：23を読んでもらいます。

- ニーフアイは、救いについてどのような教義を教えましたか。（生徒たちが次の教義を見いだすようにしてください。イエス・キリストの贖罪のゆえに、わたしたちは行えることを全て行った後で主の恵みによって救われる。イエス・キリストを通じてのみ、わたしたちが聖くなり、天の御父のようになれることを生徒が理解するように助けます。）

生徒たちがこの教義をよりよく理解することを助けるため、一人の生徒にエズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「『最善を尽くす』とは.....自分にできる全てのことを行うこともその一つです。神の戒めに従うことも含まれます。

また、隣人を愛し、自分に敵意を向ける人のために祈るのも、『最善を尽くす』ことの一つです。裸でいる人に衣服を与えること、飢えている人に食物を与えること、病人を見舞うこと、最も小さな者の一人にしたのは、神に対してしたのと同じであるという教を心に留めて、『助けが要る者を.....助け』（モーサヤ4：16）することもそうです。

『最善を尽くす』ことの中には、純潔を守り、汚れのない清い生活をする、良心に恥じない正直な生活をする、自分がしてほしいと思うことを人にしてあげることも含まれます。」（「最善を尽くす」『聖徒の道』1988年12月号、5）

- あなたが救い主のみもとへ行くためにできる限りの努力をしたときに、主の恵みによって自分自身の能力を超える助けが与えられるのを経験したことはありますか。それはどのような経験ですか。

生徒たちが答える前に、エズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉を再度使用して、この質問について深く考えるための助けとします。



「ニーフアイは、人は『自分の行えることをすべて行った後に、神の恵みによって救われる』（2ニーフアイ25：23）と言いましたが、確かにそのとおりです。.....

主は恵みによって、全人類が不死不滅の体を得ることができるようになり、贖いの犠牲を成し遂げられました。

またわたしたちは神の恵みと、キリストの贖いへの信仰、罪の悔い改めによって、自分に必要とされる事柄を行う力を得ることができます。人間の力だけでそれを成し遂げることはできません。

わたしたちは、神の恵みによって数々の祝福と霊的な力を授けられます。それらは、最後まで堪え忍ぶ人々を、永遠の命に導いてくれるものです。

神の恵みによって、神に似たものになるのです。」（「最善を尽くす」5）

- イエス・キリストが可能にしてくださったことに対して、わたしたちはどのように感謝の気持ちを表すことができると思いますか。

わたしたちがアダムとエバの墮落の影響を克服し、罪の赦しを受け、欠点を乗り越えて、完全を目指して進歩できるのは、イエス・キリストの贖罪によって可能となった恵みを通してのみであることを証します。主の恵みの祝福を受け

るために、できる限りの努力をしているかどうかを深く考えるよう生徒たちに勧めます。

2ニーファイ31：2， 10-21；3ニーファイ11：31-40；3ニーファイ27：13-22

キリストの教義

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。

2ニーファイ31：2， 10-21

3ニーファイ11：31-40

3ニーファイ27：13-22

クラスを3つに分けて、グループ1に2ニーファイ31：2， 10-21， グループ2に3ニーファイ11：31-40， グループ3に3ニーファイ27：13-22を研究してもらいます。生徒たちが始める前に、これらの節に「キリストの教義」「わたしの教義」または「わたしの福音」という言葉が含まれていることを指摘します。キリストの教義または福音には、わたしたちが天の御父に近づくためにイエス・キリストがなされたこと、また今も継続して行われていることが含まれていると説明します。また、イエス・キリストの祝福にあずかるためにわたしたちがしなければならない事柄も含まれています。各グループに、キリストの教義、つまりキリストがなされたことと、わたしたちがしなければならないことについて、割り当てられた節が何を教えているかを見つけ、印をつけてもらいます。

生徒たちが割り当てられた節の研究に数分費やした後、ホワイトボードのそれぞれの聖句の横に見つけた事柄をリストしてもらいます。その後、次の質問をします。

- わたしたちが天の御父に近づくため、イエス・キリストは何をしてくださいましたか。
- キリストの贖罪の祝福にあずかるため、わたしたちは何をしなければなりませんか。（信仰を持つ、悔い改める、バプテスマを受ける、聖霊の賜物を受ける、最後まで堪え忍ぶ、個人的な啓示を受けてそれに従う。）
- イエス・キリストの教義または福音に従って生活することの重要さは、どのように要約できますか。（生徒たちが次のような原則を見いだすようにしてください。キリストの教義に従って生活するとき、わたしたちは贖罪の祝福にあずかり、永遠の命を受けることができる。）

生徒たちのニーズに応じて、生徒たちが読んだ聖句をさらに分析できるように、次のような質問をしてもよいでしょう。

- 2ニーファイ31：20の中で、あなたにとって意味深い箇所はどこですか。それはあなたが贖罪の祝福にあずかるためのどのような助けとなりますか。

- 2ニーファイ31：13-14, 17にある教えによると、「火……による」バプテスマとはどういう意味ですか。（聖霊を通じて、人が罪の赦しと清めを受ける。）
- 3ニーファイ11：39-40によると、それぞれの人がキリストの教義を受け入れることが非常に大切であるのはなぜですか。（生徒たちに、この節とヒラマン5：12を相互参照してもらってもよいでしょう。）
- 3ニーファイ27：14-16によると、わたしたちがイエス・キリストの教義と福音に従って生活することによって、わたしたちに何が起きるでしょうか。

『わたしの福音を宣べ伝えなさいー伝道活動のガイド』からの次の箇所を見せてレッスンを終わります。生徒たちにこれを読んでもらい、キリストの教義に沿って生活することが、彼らの生涯を通して彼らをどのように祝福するかを見つけてもらいます。

「個人と家族はキリストを信じる信仰を行使して、自分の罪を悔い改めるときから、キリストに従い始めます。儀式を執行する権能を神から授けられた人により、バプテスマの聖霊と賜物を受けることによって、彼らは罪の赦しを受けます。それから最後まで堪え忍びます。言い換えると、イエス・キリストを信じる信仰を行使して、悔い改め、交わした聖約を新たにすることを生涯続けるのです。これらは生涯で一度経験すれば終わることではなく、繰り返し行って、いっそう大きな報いをもたらす生活のパターンとすべき原則です。事実、これは良心に安らぎを与え、天の御父の子らが御父のもとへ帰って生活するための唯一の方法なのです。」（『わたしの福音を宣べ伝えなさい』6）

- キリストの教義に従って生活することは、あなたにとってどのように「いっそう大きな報いをもたらす生活のパターン」になりましたか。

どれほどよくキリストの教義に従って生活しているかを生徒たちに深く考えてもらいます。生徒たちに、キリストの教義に従って生活することの祝福にあずかるために改善できる事柄を考えてもらいます。

生徒用資料

- 2ニーファイ2：6-9；25：23；31：2-21；モーサヤ4：6-8；3ニーファイ11：31-40；27：13-22
- ディーター・F・ウクトドルフ「恵みの賜物」『リアホナ』2015年5月号, 107-110

第9課

「神の王国を求めなさい」

はじめに

モルモン書の預言者ヤコブが、神の王国を求めるよう人々を励ましたのは（モルモン書ヤコブ2：18参照）、その当時、高慢、富への執着、不道徳が深刻な問題であったからでした。これらの罪は、地上における神の王国の一致と進歩に対する脅威でした。

神の王国を求めるとは、生活の中で福音に従った生活を最優先することです。このレッスンは、生徒たちが罪を捨て、神の王国をより完全に求める助けとなります。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「高慢と神権」『リアホナ』2010年11月号, 55–58
- 「『あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない』」『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』第14章, 145–153)
- 「一番大切な戒め—主を愛する」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第1章, 33–40

教えるための提案

アルマ7：14–16, 19, 21–24

モルモン書は、神の王国に通じる道に従う方法を教えています。

生徒たちに、彼らが「良好な動作状態」を保つために定期的にチェックする必要がある事柄を考えてもらいます（例えば、エンジンオイルや煙探知機の電池のチェック、医者や歯医者への検診を受けるなど）。

- これらを定期的にチェックすることの利点は何ですか。（問題を修正し、将来の問題や危険を避けることができる。）

これと同様に、わたしたちも弱点を見極め、危険を避けるために自らの霊的な生活の状態を常に見直す必要があります。

アルマ（アルマの息子）が大祭司として奉仕していたときに、ギデオンの教会の人々を訪問し、それぞれの霊的な状態を見直すように勧めました。生徒たちにアルマ7：19を黙読し、ギデオンの民の霊的な状態を探してもらいます。

- アルマは、ギデオンの民の霊的状態についてどのように説明していますか。（民が「神の王国に通じる道にいる」。）

「神の王国」には、少なくとも二つの異なる意味があることを説明します。一つはこの世での王国、もう一つは日の栄えの王国です。一人の生徒に、十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老（1915–1985年）による次の言葉を声に出して読んでもらい、アルマ7：19では「神の王国」が日の栄えの王国を指すことを生徒たちが理解するように助けます。



「末日聖徒イエス・キリスト教会は、今日この世の神の王国として構成されています。……永遠の世界では、日の栄えの王国が神の王国です。……福音は、人を日の栄えの王国での受け継ぎに対して備えさせるように設計されています。」（Mormon Doctrine, 第2版〔1966年〕, 415–17）

生徒たちにアルマ7：14–16を読み、アルマが永遠の命を受け継ぐためにしなければならないと人々に教えた事柄を探してもらいます。

- アルマが、人々が既に義の道にいるにもかかわらず悔い改めるよう勧めたのはなぜだとしますか。（ギデオンの民は、義の道にとどまる必要があった。）

数人の生徒に交代でアルマ7：21–24を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、神の王国を受け継ぐ助けとなる行動および特性を見つけてもらいます。

- 神の王国に通じる道に従うには、**何をして、どのようになる必要がありますか。**（次の原則をホワイトボードに書くことによって、生徒の答えを要約します。わたしたちは、福音の原則に従って生活することによって、神の王国に通じる道に従う。）

生徒たちに、各自の行動が、どのようにイエス・キリストのようになり、神の王国に近づくための助けとなっているかを考えてもらいます。生徒たちに、現在の進歩の度合いについてどのように感じているかを考えてもらいます。

1ニーファイ10：21；2ニーファイ9：39；モルモン書ヤコブ2：12–14, 20–28；3：10–12；モーサヤ2：20–25；4：13, 21–26；3ニーファイ12：27–30

富への執着、高慢、不道德はわたしたちが神の王国を求める妨げとなる

モルモン書の全体を通じて、神の預言者が罪について人々に警告していることを説明します。例えば、ヤコブは「神にとっても忌まわしく思われる」罪のために彼の民を叱責するよう主から命じられました（モルモン書ヤコブ2：5）。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。モルモン書ヤコブ2：12–14, モルモン書ヤコブ2：20–21, およびモルモン書ヤコブ2：23–28生徒たちにこれらの節をざっと読んでもらい、ヤコブが言及した特定の罪を見つけてもらいます。これらの罪を説明する言葉または句に印をつけるよう生徒に提案します。十分な時間を取った後、各節でヤコブが採り上げた罪を生徒に発表してもらいます。ホワイトボードの参照聖句の上に、生徒が見つけた罪を次のように書きます。

富への執着	高慢	不道徳
モルモン書ヤコブ2： 12-14	モルモン書ヤコブ2： 20-21	モルモン書ヤコブ2： 23-28

一人の生徒にモルモン書ヤコブ3：10-12を声に出して読んでもらい、他の生徒には、ヤコブが人々の罪の深刻さを表現するために使った言葉や句を探してもらいます。

- どのような言葉または句が人々の罪の深刻さを表現していますか。
- ヤコブは、罪の「恐ろしい結果」という句を使いました（12節）。生徒たちにモルモン書ヤコブ3：12と、2ニーファイ9：39および1ニーファイ10：21とを相互参照してもらいます。一人の生徒に、これらの節それぞれを声に出して読んでもらいます。他の生徒には、その他の罪の結果を探してもらいます。生徒たちに、高慢、不道徳、および富への執着などの罪が神の王国を求める者にどのように影響するかについて、これらの節から真理を見いだしてもらいます。（生徒たちが次のような真理を見いだすようにしてください。罪は霊的な死につながり、神の王国に入る妨げとなる。）

ホワイトボードに次の参照聖句を書き加えます。

富への執着	高慢	不道徳
モルモン書ヤコブ2： 12-14	モルモン書ヤコブ2： 20-21	モルモン書ヤコブ2： 23-28
モーサヤ4：13, 21-26	モーサヤ2：20-25	3ニーファイ12： 27-30

生徒たちに書き加えた節の一つを選んで読んでもらいます。富への執着、高慢、不道徳の罪を避ける方法を探してもらいます。十分な時間を取った後、見つけた事柄を発表してもらいます。

- これらの節にある勧告に従うことは、どのように教会員が神の王国を求め、地上にある主の教会を強めるための助けとなりますか。

マタイ6：33；モルモン書ヤコブ2：17-19

他の関心事の全てに優先して神の王国を求めるべきである

富への執着、高慢、および不道徳についての民に対する警告に加え、ヤコブは彼らの義に反する望みを克服するために役立つ勧告をしました。一人の生徒に

モルモン書ヤコブ2：17-19を声に出して読んでもらい、他の生徒にはヤコブの勧告を探してもらいます。

- ヤコブの勧告から、罪を避けるために役立つどのような事柄を学ぶことができますか。（生徒たちが次の事柄を見いだすようにしてください。**神は、その他全ての関心事に優先して神の王国を求めるように命じられた。**）
- まず最初に神の王国を求めるとは、あなたにとってどのような意味があるでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899-1994年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「神を第一にすると、他の全ての事柄は正しい位置に落ち着くか、またはわたしたちの生活の中から消えていくかのどちらかです。主への愛が、感情の欲求や時代の要求、興味、物事の優先順位を左右するのは、わたしたちの責任です。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』36）

- 神を最優先するときに「正しい位置に落ち着くか、またはわたしたちの生活の中から消えていく」事柄の例を幾つか挙げてください。
- あなたの生活の中で天の御父と神の王国を最優先したことから、物事が正しい位置に落ち着くか、生活の中から消えていった事柄の例を一つ挙げてください。
- 高慢、富への執着、不道徳、またはその他の罪に誘惑されたときに神を第一にすることは、わたしたちにどのように影響しますか。

一人の生徒に、マタイ6：33を声に出して読んでもらいます。ジョセフ・スミス訳には次のように書かれていることを生徒に説明します。「だから、この世のものを求めないで、まず、神の王国を築き、神の義を打ち立てることを求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて添えて与えられるであろう。」（「聖書のジョセフ・スミス訳〔抜粋〕」マタイ6：38『聖句ガイド』307）

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の言葉を見せます。



「『まず、神の王国を築〔く〕ことを求め〔る〕』という言葉の意味するところは、神とその業を優先順位の第一に置く、ということです。神の業とは、神の子供たちの永遠の命、およびそれに伴う全ての事柄をもたらすことです（モーセ1：39参照）。……それ以外のことは全て、優先順位の下位の方に位置します。……誰かが言ったように、もし神の王国を第一に選ばなかったなら、その代わりに何を選んだとしても、最後には大した違いはなくなってしまうでしょう。」（「的を絞ることと優先順位」『聖徒の道』2001年7月号、101参照）

- 教会のヤングアダルトの会員が「神の王国を築く」方法には何があるでしょうか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「神の王国にあることを選ぶことにより、わたしたちは自分を世から区別します。隔離するものではありません。わたしたちは慎み深い服装をし、清い思いを持ち、きれいな言葉遣いをします。わたしたちが見る映画やテレビ、わたしたちが聴く音楽、わたしたちが読む本、雑誌、新聞は、どれも霊を鼓舞してくれるものです。わたしたちは永遠の目的の達成を励ましてくれる友人を選び、優しさをもって人と接します。不道德、賭博、タバコ、酒、および法で禁じられている薬物を遠ざけます。わたしたちが安息日に行う活動は、安息日を覚えて聖とするようにという神の戒めを反映したものです。人と接するときにはイエス・キリストの模範に従います。主の宮に入るにふさわしい生活をします。」（「バプテスマの聖約—王国にあって王国のものとなる」『リアホナ』2001年1月号, 8-9）

- 神の王国を求めることは、どのようにわたしたちの生活における全ての面に大きな影響を与えますか。
- 神の王国を求めることは、あなた、または家族や知り合いの生活にどのように影響しましたか。

これからも神の王国を求めていくため、何をすることができるかを生徒たちに深く考えてもらいます。御霊の促しに耳を傾け、これからの計画を書き留めるよう生徒たちを励まします。わたしたちの生活の中で神を第一とすることによってもたらされる祝福について証します。

生徒用資料

- マタイ6：33；モルモン書ヤコブ2：12-28；3：10-12；モーサヤ2：20-25；4：13, 21-26；アルマ7：14-16, 19, 21-24；3ニーファイ12：27-30
- 「一番大切な戒め—主を愛する」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第1章, 33-40

第10課

祈りと啓示

はじめに

祈りとは、神聖な特権かつ戒めであり、わたしたちが愛にあふれる天の御父とのコミュニケーションを図ることを可能にしてくれます。神はわたしたちの祈りをお聞きになり、こたえてくださいます。主の

導きを熱心に求める人は、個人的な啓示の祝福を受けることができます。このレッスンは、祈りに対する答えを受けるためにわたしたちの心と思いを準備するためにできる事柄に焦点を当てます。

背景となる読み物

- ボイド・K・パッカー「主のともしび」『聖徒の道』1983年10月号、35-47
- リチャード・G・スコット「個人の生活で啓示と靈感を受ける方法」『リアホナ』2012年5月号、45-47
- デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号、87-90

教えるための提案

2ニーファイ32：8-9；3ニーファイ14：7-11

神はわたしたちの祈りを聞いておられる

生徒たちに、テクノロジーを使って他の人とコミュニケーションを取る方法を幾つか挙げてもらいます。ホワイトボードに生徒の答えを書きます。

- テクノロジーはほとんど誰とでもコミュニケーションを取ることを可能にしますが、天の御父と効率的にコミュニケーションを取ることが難しいと感じることがあるのはなぜでしょうか。

一人の生徒に3ニーファイ14：7-11を声に出して読んでもらい、他の生徒たちには、天の御父がわたしたちの祈りにこたえることを望んでおられることについて救い主がお教えになった事柄を見つけてもらいます。

- 天の御父がわたしたちの祈りにこたえることを望んでおられることについて、救い主はどのような原則をお教えになりましたか。（生徒たちの答えには次の原則が含まれているようにしてください。わたしたちが求め、探し、たたくとき、天の御父はそれを聞き、こたえてくださる。）

この原則に対する生徒の理解を深めるため、大管長会のジェームス・E・ファウスト管長（1920-2007年）の次の言葉を分かち合います。



「この世のいかなる権威も、創造主に近づこうとするわたしたちを阻止することはできません。祈りには、機械や電子部品の故障はまったくありません。毎日何回祈っても、いくら長く祈っても制限はありません。また、祈りの中で願いは幾つまでと決められているわけでもありません。恵みの御座に近づくのに秘書を通したり約束を取ったりする必要もありません。いつでもどこでも、神と会話することができるのです。」（「祈りという命綱」『リアホナ』2002年7月号、62）

- 神が祈りをお聞きになったりおこたえになったりなさらないと信じているために頻繁に祈らない人に対して、何を言うことができますか。

一人の生徒に2ニーファイ32：8-9を声に出して読んでもらい、他の生徒にはニーファイが祈りについて教えた事柄を探してもらいます。次のような質問をするとよいでしょう。

- 「常に祈〔る〕」とはどのような意味だと思いますか。
- 常に祈る人のどのような模範を見たことがありますか。その人は、その習慣のためにどのように祝福されましたか。
- あなたが主の助けを求めて祈るとき、それが幸いをもたらすように主があなたの努力を「神聖に〔する〕」とは、あなたにとってどういう意味を持ちますか。（何かを**神聖にする**とは、特別もしくは神聖な目的のために何かを奉獻する、またはそれを聖なるものとするという意味を持つ場合があることを指摘するとよいかもしれません。）

常に祈る努力をするように生徒たちを励まします。天の御父が彼らの祈りをお聞きになること、そして祝福を授けたいと強く望んでおられることを保証します。

1ニーファイ10：17-19；15：1-3，7-11；モルモン書ヤコブ4：6；アルマ26：22

イエス・キリストに従う全ての人は、個人の啓示を受けることができる
生徒たちに、ヤングアダルトが神からの啓示を望むような疑問または状況を幾つか挙げてもらいます。

命の木に関するリーハイの夢を思い出してもらい、ニーファイがこの靈感を受けた夢について聞いた後で、それについてもっと学びたいと願ったことを指摘します。数人の生徒に1ニーファイ10：17-19を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、これらの節が、啓示を受ける資格があるのは誰であるかを含めた啓示に関する事柄について何を教えているかを見つけてもらいます。

- これらの聖句は、個人の啓示についてどのようなことを教えていますか。（次の教義が見いだされるようにしてください。**神は、知りたいと熱心に求める全ての人に対して、聖霊の力を通じて真理を明らかにされる。**）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「啓示の霊は……教会の管理役員に限定されてはいません。これは責任を負える年齢に達し、神聖な聖約を交わした全ての男女や子供の生活の中で働くはずのものです。心からの望みとふさわしさは生活に啓示の霊を招きます。」（「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号，87）

- ベドナー長老のこの洞察が励みとなるのはなぜですか。

ニーファイの望み、ふさわしさ、および信仰により、彼もまた命の木の示現を見たことを説明します（1ニーファイ11-14参照）。また、レーマンとレムエルの彼らの父の示現に対する反応が、ニーファイのものとは大きく異なっていたことも指摘します。二人の生徒に1ニーファイ15：1-3、7-9を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読しながら、これらの節から学ぶ事柄について考えてもらいます。

- これらの節の中で、あなたにとって最も大切な箇所はどこですか。

別の生徒に1ニーファイ15：10-11を声に出して読んでもらいます。11節が聖文の「...ならば...となる」声明の例であることを指摘することを検討してください。ホワイトボードに次の言葉を書き、10-11節で読んだ事柄に基づいてどのようにこれらの空欄を埋めればよいかを生徒にたずねます。

ならば、 _____ となる _____。

生徒に、11節とアルマ26：22を相互参照してもらい、次の質問をします。

- 誰かに祈りの答えを求める方法を教えるには、1ニーファイ15：10-11とアルマ26：22で教えられている事柄をどのように活用することができますか。

一人の生徒にモルモン書ヤコブ4：6を声に出して読んでもらい、他の生徒には、ヤコブの民が啓示を招くために、信仰を持って祈ることに加えて行った事柄を見つけてもらいます。「預言者の書を調べ〔る〕」とは、聖文にある預言者の言葉を読むことを指すと説明してもよいでしょう。

- なぜ古代、および末日の預言者両方の言葉を研究することが主から啓示を受けることにつながるとお思いますか。

十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を見せて、読みます。



「神に話しかけたいときには、祈り、神から話しかけてもらいたいときには、聖文を読むことができます。なぜなら、神の御言葉は神の預言者を通して語られるからです。そして、聖霊の促しに耳を傾けるとき、教えを授けていただけるのです。」

最近、神の声を聞いていない人は、聖文を新鮮な気持ちで読み、その言葉に耳を傾けてください。聖文はわたしたちの霊的な命綱です。」（「聖文—救いを得させる神の力」『リアホナ』2006年11月号、26）

生徒たちに、直面している難題や決断について考えてもらいます。祈りをもって主に尋ね、答えを得るために聖文を探したかどうかを考えてもらいます。

主がどのように個人の啓示を与えてくださるかの例を生徒が見つける助けとするため、ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。

1ニーファイ4：6

1ニーファイ8：2

モルモン書ヤコブ7：5

エノス1：10

ヒラマン13：5

3ニーファイ11：3

数人の生徒ごとに各節を割り当てます。生徒たちに割り当てられた節を読んでもらい、神が神の子供たちに個人的な啓示をお与えになる一つの方法を探してもらいます。見つけた事柄を発表してもらいます。生徒たちのニーズを考慮して、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924–2015年）とリチャード・G・スコット長老の次の言葉を分かち合ってもよいでしょう。



「御霊は、叫んだり、大きな手で揺すったりはしません。ささやきかけてくるのです。そのささやき方は、非常に静かで、他のことに気を取られていると、まったく気がつきません。……

時には強い訴え方をして、気づかせることもあります。しかし、ほとんどの場合、その静かなささやきに心を傾けていないと、御霊は離れ去り、わたしたちが自ら熱心に求め、聞く耳を持ち、自分自身の言葉で、古代のサムエルのように、『しもべは聞きます。〔主よ〕お話しください』（サムエル上3：10）と言うまで訪れなくなります。」（「主のともしび」『聖徒の道』1983年10月号，38，40）



「ひざまずいて祈っている間に答えを受けることはめったにありません。たとえ今すぐに答えが欲しいと懇願していてもです。むしろ御父は、御霊が皆さんの思いと心に最も効果的に影響を及ぼせる静かな時間に導きを与えてくださいます。そのため、指示を受け、力を得ていることを認識できる静かな時間を意識して作る必要があります。」（「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007年5月号，9）

生徒たちに、神がどのように真理を明らかにしてくださるかをわたしたちが選ぶのではなく、信仰を持って行動に移すときに、啓示を受けるためにわたしたちの心と精神をよりよく準備することができることを覚えておいてもらいます。数人の生徒に、どのように個人の啓示を受けたかを話してもらいます（それが個人的すぎたり、神聖すぎない場合）。

1ニーファイ18：1–3；2ニーファイ28：30；アルマ12：9–11

啓示を受け、それに基づいて行動する

生徒たちに2ニーファイ28：30とアルマ12：9–11を静かに比較してもらい、より多くの個人の啓示を受けるために役立つ原則を見つけてもらいます。

- これらの節は、より多くの個人の啓示を受けるために役立つ、どのような事柄を教えてくださいか。（使う言葉は異なるかも知れませんが、生徒が次の原則を見いだすようにしてください。主は、わたしたちがどれだけ熱心に主の言葉に従うかに応じて真理を明らかにしてください。啓示はしばしば少しずつ明らかにされる。）
- 主が追加の知識を明らかにしてくださいの前に、主によって既に明らかにされた事柄に忠実であることをわたしたちに求められるのはなぜだと思いますか。
- 啓示が「ここにも少し、そこにも少し」という形でわたしたちに明らかにされるとはどういう意味ですか。

時間があれば、クラスで1ニーファイ18：1-3について話し合い、ニーファイがどのように船を造る方法を学ぶための啓示を段階的に受け取ったかを説明するとよいでしょう。

デビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を見せて、一人の生徒に読んでもらいます。



「ほとんどの場合、啓示は時間をかけて少しずつもたらされ、わたしたちの望み、ふさわしさ、準備の度合いに応じて与えられます。天の御父からのそのようなメッセージは少しずつ、優しく『天からの露のように〔わたしたち〕の心に滴る』ものです（教義と聖約121：45）。このパターンの啓示は珍しいことではなく、むしろ一般的です。」（「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号、88）

- これまでの人生を振り返って、決断するとき、または主からの理解を求めるときに、主は段階的な方法でどのようにあなたを導いてくださいましたか。

トーマス・S・モンソン大管長の次の言葉を見せ、それを一人の生徒に読んでもらってレッスンを終わります。



「もしもわたしたちの中に、常に祈りなさいという勧告に熱心に従ってこなかった人がいるならば、今こそ従う時です。ウィリアム・クーパーはこう言明しました。『最も弱い聖徒がひざまずいて祈るとき、サタンは、震えおののく。』〔‘Exhortation to Prayer’Olney Hymns〕」（「王国の神権者」『リアホナ』2007年11月号、61）

生徒たちに、それぞれの毎日の生活の中で祈りに費やしている努力について考えてもらいます。このレッスンで話し合った原則に従って、祈りと聖文の研究を通じてさらに多くの個人的な啓示を招くように励まします。生徒たちに、天の御父が祈りにこたえてくださることをどのように知っているかを分かち合ってもらいます。わたしたちが受け入れる備えをするとき、愛あふれる天の御父が理解と導きで靈感を与えてくださることを証します。

生徒用資料

- 1ニーファイ10：17-19；15：1-3, 7-11；18：1-3；2ニーファイ28：30；32：8-9；モルモン書ヤコブ4：6；アルマ12：9-11；26：22；3ニーファイ14：7-11
- デビッド・A・ベドナー「啓示の霊」『リアホナ』2011年5月号, 87-90

第11課

末日の偽りの教義から 自分自身を守る

はじめに

「イエス・キリストの完全な福音」を教えること（教義と聖約20：9）に加え、モルモン書は末日に蔓延する偽りの教えや見解に対してキリストに従う者を強めます。これをなすための一つの方法には、キリストの敵を露呈し、彼らが広める偽りの教義を

認識することがあります。モルモン書にある偽りの教えについての記述を研究するとき、生徒たちは福音の真理と、この世の偽りの概念とを見分けることを学びます。

背景となる読み物

- ダリン・H・オークス「欺かれてはならない」『リアホナ』2004年11月号、43–46
- ダリン・H・オークス，“As He Thinketh in His Heart”（ダリン・H・オークス長老との夕べ、2013年2月8日）lds.org/broadcasts（英語）
- ニール・L・アンダーセン「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号、18–21

教えるための提案

2ニーファイ28：3–9, 12–15；モルモン書ヤコブ7：1–12；アルマ1：2–6；30：12–18, 39–44；ジョセフ・スミス—マタイ1：22

偽りの教義を認識し、自らを守る

生徒たちに、次のような問題に関して世界中に存在する多様な意見について考えてもらいます。神から与えられた真理と道徳的相対主義（世界全ての人に共通する善と悪の概念はないという考え方）、宗教の自由と特別利益団体の権利、および墮胎する権利と生命の権利。これらの問題を話し合いながら、それらをホワイトボードに書いてもよいでしょう。生徒たちに、正しい見解を受け入れることに慎重にならなくてはならない理由を数分間話し合ってもらいます。

イエス・キリストの生涯の終わりに、イエスが末日に生じる危険な霊的状态について預言されたことを説明します。一人の生徒にジョセフ・スミス—マタイ1：22を読んでもらいます。「聖約による選民」がイエス・キリスト教会の会員を指すことを指摘してもよいでしょう。

- 「偽キリストたち」や「偽預言者たち」は、今日どのような脅威となっていますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長による次の言葉を見せます。



「モルモン書はキリストの敵を明らかにします。偽りの教義を打ち破り、争いを鎮めるのです。(2ニーファイ3：12参照) またモルモン書は謙遜にキリストに従う者たちに、今日の悪魔の企てや戦略、教義に対抗できる力を与えます。モルモン書に登場する背教者は、今日の背教者によく似ています。わたしたちが誤りを見抜き、今日の誤った教育や政治、宗教、哲学の概念とどう戦ったらよいかを知ることができるよう、神は実に無限の先見の明をもってモルモン書を備えられたのです。」(『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』124)

- この言葉は、モルモン書を研究することがどのようにわたしたちを偽りの教えから守るかについて、何を教えていますか。(生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。モルモン書を研究し、その教えを応用するときに、わたしたちは悪魔、および今日の偽りの教えと概念に対抗する力を得る。)
- 実際にサタンと対峙する前に、サタンの戦略について学んでおくことにはどのような利点がありますか。

数人の生徒に2ニーファイ28：3-9を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には今の時代に蔓延するであろうとニーファイが言った偽の見解を探してもらいます。生徒たちに、重要な言葉や句に印をつけてもらってもよいでしょう。見つけた事柄を生徒たちに発表してもらい、その後次の質問をします。

- これらの偽りの見解の現代における例を幾つか挙げてください。(例には、道徳的相対主義、神はわたしたちを非常に愛しておられるため、神がわたしたちの罪に罰をお与えになることはないという考え、偏屈者または狂信者として見られることの多いクリスチャンに対する偏見などがあります。)

この質問に答える助けとするため、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を読みます。生徒たちには、自ら体験した偽りの教えを聞き取ってもらいます。



「偽預言者と偽教師は、ジョセフ・スミスが相反したことを言うことによって人をだます人物であると言明し、最初の示現を立証できないことだと反論しています。また彼らは、モルモン書とその他の聖文が古代の聖文からの記録ではないと断言しています。さらに彼らは、神会の性質について改めて定義しようと試みたり、今日神に聖任され支持された預言者に、神が啓示を与え続けておられることを否定したりしています。……

そして恐らく最も忌まわしいことに、彼らはキリストの復活と贖いを否定し、『神はわたしたちをお救いになれない』と主張しているのです。彼らは救い主の必要性を拒絶しています。つまり、このようにそしる者は、自分たちの考えに同調するように教会の教義を解釈しようと試み、その過程で彼らはキリストとその救い主としての役割を否定しています。

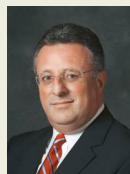
偽預言者と偽教師は、結婚の尊厳、家族の神聖さ、および道徳における基本的教義を守るといふ神から与えられ、聖文に基づく教義を変えようと試みてもいます。彼らは、道徳の定義を変えようと提唱し、姦淫、姦通、同性愛的関係を正当化

しようとしています。」（「偽預言者と偽教師を警戒しなさい」『リアホナ』2000年1月号，74-75）

生徒たちに2ニーファイ28：12-15を調べて，偽の教えを信じることによる結果を探してもらいます。

- 偽の教えや見解を信じることによる結果には何がありますか。

七十人定員会会長会のウリセス・ソアレス長老による次の声明を見せて，一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「世の多くの人々が容易に受け入れ，支持しているメッセージであっても，イエス・キリストの福音の教義や真の原則と相反することに心を乱されてはなりません。この世的なメッセージの多くは，罪を正当化しようとする世の中のはかりごとにはすぎません。」（「勝つことのできる，勝つはずの戦い」『リアホナ』2015年5月号，75）

- ソアレス長老は，イエス・キリストの福音に相反しており，世の人々に支持される多くのメッセージの目的が何であると言われましたか。（生徒たちが次の真理を見いだすように助けてください。**サタンは，偽の教えを使って罪を犯すようわたしたちを誘惑する。**この真理についてより詳しく知るため，アルマ30：53を参照してもよいでしょう。）

生徒たちを3つのグループに分けます。次の聖句をホワイトボードに書き，各グループごとに一つの節を割り当てて研究してもらいます。モルモン書ヤコブ7：1-7；アルマ1：2-6；またはアルマ30：12-18生徒たちにシーレム，ニーホル，およびコリホルによって教えられた偽の教えの幾つかを見つけてもらい，それらをホワイトボードの適切な節の下に書いてもらいます。

シーレム（モルモン書ヤコブ7：1-7）	ニーホル（アルマ1：2-6）	コリホル（アルマ30：12-18）
---------------------	----------------	-------------------

- ホワイトボードにリストされているような偽の教えや見解が，今日の教会員に影響を及ぼすのを見たことはありますか。

生徒たちに，モルモン書ヤコブ7：5，8-12およびアルマ30：39-44を比較してから，ヤコブとアルマにシーレムとコリホルの偽の教えに対抗する力を与えたのが何であったかを見つけてもらいます。（注—比較は聖文研究スキルです。「教えや人物，出来事の類似点または相違点に留意すると，福音の真理にさらによく集中することができる。」〔『福音を教え学ぶ：宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』22〕）

- 偽りの教えに対抗する力をヤコブとアルマに与えたのは何ですか。（答えには次が含まれているようにしてください。以前の霊的な経験、聖文の知識、聖霊から得た知識、キリストの証。）
- これらの偽の教えに対するヤコブとアルマの対応から、どのような原則を学ぶことができますか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。キリストの証に頼り、聖霊の導きを求めるならば、わたしたちの信仰に対する挑戦に打ち勝つことができる。）
- あなたの証は、偽の教えや、信仰に対する批判に対抗するために、あなたをどのように強めましたか。

イエス・キリストとキリストの回復された福音に対する信仰をむしろむ可能性のある偽の教えから自分自身を守るために何をしているかを分かち合うよう、生徒たちに勧めます。

2ニーファイ26：29；3ニーファイ18：24；27：27

偽善売教の危険を認識する

生徒たちに、教会に対する霊的な危険の中には、教会内の会員から生じるものがあることを伝えます。一人の生徒に2ニーファイ26：29を声に出して読んでもらい、他の生徒にはニーファイが説明した霊的な危険を見つけてもらいます。

- この節によると、偽善売教とは何ですか。（人が、神の子供たちの利益のためではなく、個人の誉れや富のために福音を教えるときのこと。）
- 偽善売教は、どのような方法で教会の会員に対する霊的な危険を生じ得ますか。

これらの質問に答える助けとするため、一人の生徒にM・ラッセル・バラード長老の次の言葉を読んでもらいます。



「偽預言者と偽教師である男女に注意しましょう。彼らは、自分勝手に教会の教義を説き、教会の基本原則を覆そうとする内容のシンポジウム、書物、および専門雑誌を提供することによって、誤った教義を広め、仲間を集めようとしています。神の真の預言者に反することを語り、それを公表する人々に注意してください。また、自分たちがそそのかそうとしている人の永遠の幸福については関心を示そうとしない熱心な伝道者たちにも気をつけてください。」（「偽預言者と偽教師を警戒しなさい」『リアホナ』2000年1月号、74）

- あなた自身および他の人を、偽善売教からどのように守ることができますか。
- 他の人たちが末日の神の預言者に反対する意見を述べる時、どのように教会の教義を擁護することができますか。

救い主が、主の代理となる者が他の人にどのように教え、影響を与えるべきであるかについて弟子たちにお教えになったことを生徒に伝えます。3ニーファイ18：24と3ニーファイ27：27を静かに調べ、真の福音の奉仕が偽善売教とどのように異なるかを見つけてもらいます。

- 義にかなった教師と指導者の動機と行動は、偽善売教の罪を犯している人たちの動機と行動とどのように異なるでしょうか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。イエス・キリストの弟子は、他の人たちにキリストに目を向けてもらうことによって、彼らに奉仕し、祝福することを求める。）

モロナイ7：12－17；エテル4：11－12

真理と誤りを見分ける

生徒たちに、自分の宗教的信仰について誰かから疑問視されたり、批判されたときのことを考えてもらいます。一人か二人の生徒に、彼らの経験を簡単に話してもらいます。

何人かの生徒に、モロナイ7：12－17とエテル4：11－12を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはある事柄が主から来たものか、それとも悪魔から来たものかを判断する方法を探してもらいます。

- どのように善と悪を判断することができるかについて、この節から何を学びますか。（生徒たちが次の原則を理解しているようにしてください。神から出たものは全て、わたしたちが善い行いをし、イエス・キリストを信じ、神を愛して仕えるように招く。）

一人の生徒に、エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を声に出して読んでももらいます。



「欺かれないようにするための3つの短い試金石を提案したいと思います。……

1. 標準聖典はそれについて何と言っているか。……
2. 末日の教会の大管長、特に生ける大管長は、そのテーマに関して何と言っているか。……
3. 第3の最後のテストは聖霊、すなわち御霊のテストです。……人と神とのコミュニケーションの経路が清く、徳高く、罪による汚れがない場合にのみ、この試金石は十分な効果を発揮します。」（Conference Report, 1963年10月, 16－17）

レッスンの締めくくりとして、偽の教えを認識し、欺かれないようにするために、聖文、預言者の言葉、および聖霊をどのようによりよく活用していけばよいかについて生徒たちに深く考えてもらいます。モルモン書ヤコブ7、アルマ1、およびアルマ30でより詳しい内容を研究し、これらの章が真理と誤りをよりよく見分けるためにどのように役立つかを深く考えるように生徒たちに勧めてもよいでしょう。

生徒用資料

- 2ニーファイ26：29；28：3－9，12－15；モルモン書ヤコブ7：1－12；アルマ1：2－6；30：12－18，39－44；3ニーファイ18：24；27：27；エテル4：11－12；モロナイ7：12－17；ジョセフ・スミス—マタイ1：22

- ニール・L・アンダーセン「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号, 18-21

第12課

霊的に再び生まれる必要性

はじめに

モルモン書から、わたしたちは「生まれながらの人は神の敵」であることを学びます（モーサヤ3：19）。このレッスンで生徒たちは、悔い改めとイエス・キリストへの信仰を実践することにより、生ま

れながらの人という状態を克服し、「再び生まれ」、心の中に大きな変化を経験できることを学びます。この変化は神の王国に入るために必要です。

背景となる読み物

- デビット・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 12-19
- D・トッド・クリストファーソン「再び生まれる」『リアホナ』2008年5月号, 76-79

教えるための提案

モーサヤ3：19；16：2-5；アルマ41：10-11

生まれながらの人を捨てる

ホワイトボードに、**New Era**1986年6月号5ページの“To ‘the Rising Generation,’”から引用されたエズラ・タフト・ベンソン大管長（1899-1994年）の次の言葉を書きます。

「悪いことを行いながら、正しいと感じることはできません。それはあり得ないことです。」（エズラ・タフト・ベンソン大管長）

- 間違った選択をしているときに幸せを感じる事が不可能であるのはなぜですか。

一人の生徒にアルマ41：10-11を声に出して読んでもらい、他の生徒には悪事が生じる結果を探してもらいます。（以下の真理を強調してください。**悪事は決して幸福を生じたことがない。**）

- 戒めを破ることが幸福につながるとわたしたちを説得するためにサタンが使う策略には何がありますか。
- 11節によると、「生まれながらの状態」にいるというのはどういう意味ですか。（「この世的な状態」「苦汁の中にあり、罪悪の縄目を受けている」および「この世で神なしに生きている」。）

- アルマ41：10－11は、罪深さが幸せにつながらない理由を説明するためにどのように役立ちますか。（これは神の性質に反するものであり、「神の性質」は「幸福の本質」である。）

生徒たちに、わたしたちが皆アダムの墮落の影響を受け継いでいることを思い出してもらいます。一人の生徒にモーサヤ16：2－5を声に出して読んでもらい、他の生徒には人類の墮落した状態を表す言葉と句を見つけてもらいます。

- アビナダイは、人類の墮落した状態を表現するためにどのような言葉と句を使用しましたか。
- 5節にある「とどま〔る〕」という言葉にはどのような重要性がありますか。（注—キーワードを認識することは、ここで強調することができる重要な聖文スキルです。）
- わたしたちが罪深い墮落した状態から贖われることを可能にするのは何ですか。

生徒たちにモーサヤ3：19を黙読し、わたしたちが墮落した状態を克服できる方法を見つけてもらいます。

- 「聖なる御霊の勧めに従〔う〕」とはどういう意味ですか。
- 「生まれながらの人を捨て〔る〕」には何をしなければなりませんか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。聖なる御霊の促しに従い、贖罪の力に頼るとき、わたしたちは生まれながらの人を捨てることができる。）

救い主には、わたしたちが自分自身で善い人間に変わろうとするだけでは到達し得ないほどに、わたしたちをよりいっそう善い人間に変えることが可能であるということについて、これまで目にしたことのある証拠を生徒たちに考えてもらいます。数人の生徒にそれぞれの洞察を分かち合ってもらいます。

以下の質問を心の中で答えてもらいます。

- より完全に「聖なる御霊の勧めに従〔う〕」ためには何ができますか。
- モーサヤ3：19にリストされた子供の特性のうち、あなたが最も高める必要がある特性はどれですか。

モーサヤ5：1－5, 7－8；27：24－26

再び生まれる

生徒たちに、イエス・キリストの贖罪のために性質に変化が起こるのを経験したモルモン書の人々の名前を挙げてもらいます。

アルマ（アルマの息子）とモーサヤの息子たちが、かつて教会員を迫害したゼラヘムラの不信仰な者たちであったことを生徒たちに思い出してもらいます（モーサヤ27：8参照）。天使の訪れの後、アルマは体の力が弱くなり、話すことができないままとなりました。3日後、アルマは力を取り戻し、彼の中で起こった奇跡的な変化について証しました（モーサヤ27：11－24参照）。

一人の生徒にモーサヤ27：24－26を声に出して読んでもらい、他の生徒にはアルマがこの奇跡的な変化をどのように説明したかを探してもらいます。

- これらの節の中で、再び生まれるという意味を定義する助けとなる言葉と句はどれですか。
- 26節は、どのようにわたしたちが再び生まれる必要がある理由を説明する助けとなりますか。（生徒たちが次の真理を理解するようにしてください。わたしたちは、キリストにおいて新たな者とならない限り、神の王国を受け継ぐことはできない。）

霊的に再び生まれると何が起るかを生徒たちが理解する助けとするため、一人の生徒にモーサヤ5：1-5, 8を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、ベニヤミン王の民が霊的に再び生まれることを経験したことを示す言葉または句を探してもらいます。

- ベニヤミン王の民が霊的な変化を経験したことについて、どのような証拠を見つけましたか。（答えには次のことが含まれるようにしてください。悪を行う性癖がなくなった、絶えず善を行う望みを持っていた、知識を与えられた、喜びに満たされ、進んで主と聖約を交わした。）
- 2および4節によると、「心の中に大きな変化」を生じさせるには何が必要ですか。（生徒たちがこの原則を見いだすようにしてください。わたしたちがイエス・キリストへの信仰を働かせ、聖なる御霊を受けるとき、心の中に大きな変化を経験することができる。）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を見せます。一人の生徒にこれを声に出して読んでもらい、他の生徒にはベドナー長老が心の中の大きな変化をどのように説明しているかを見つけてもらいます。



「心に留めてほしいのは、〔モーサヤ5〕が指す改心が小さなものではなく、大きなものであるという点です。すなわち、霊的に新しく生まれること、そして感情、願望、思考、行動、人格そのものが本質的に変化することを指すのです。実のところ、イエス・キリストの福音の真髄には、わたしたちの性質の根本的で永続的な変化が伴います。この変化は『聖なるメシヤの功德と憐れみと恵み』に頼ることによって可能となります（2ニーファイ2：8）。主に従うことを選ぶとき、わたしたちは自分が主によって変えられること、すなわち霊的に新しく生まれることを選んでいるのです。」（「あなたがたは再び生まれなければならない」『リアホナ』2007年5月号, 20）

- 心の中の大きな変化についてのベドナー長老の説明で、特に印象に残った箇所はどこですか。

生徒たちに、心の中の大きな変化を経験し続けるには何ができるかを話し合ってもらいます。

生徒たちにモーサヤ5：7を黙読し、わたしたちが再び生まれることによってイエス・キリストとわたしたちの関係がどのように変わるかを見つけてもらいます。

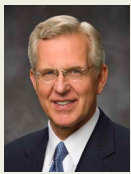
- わたしたちはどのようにイエス・キリストの子となりますか。

生徒たちに「キリストの子」となる重要性について考えてもらい、これがどのように再び生まれることを求めるときの動機となるべきかを発表してもらいます。

アルマ5：14, 26-27；エテル12：27

靈的に再び生まれるには時間と努力が必要である

一人の生徒に十二使徒のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を読んでもらい、他の生徒にはクリストファーソン長老が改心を得る過程をどのように説明しているかを聞き取ってもらいます。



「皆さんは、こう尋ねるかもしれません。『なぜその大きな変化はもっと早くわたしに起きないのでしょうか。』ベニヤミン王の民やアルマ、聖文に登場する他の人々の目覚ましい例もありますが、それは驚くべきことであり、全てがそうではありません。多くの人にとって、その変化は少しずつ時間をかけて起こります。再び生まれるとは、肉体的な誕生とは異なり、一つの出来事ではなく一連の過程です。その過程を踏むことが、現世における最も大切な目的なのです。

また同時に、いいかげんな努力を正当化しないようにしましょう。悪を行おうという性癖をいささかでも持つことのないようにしましょう。毎週、聖餐を頂くにふさわしい者となり、心の中に汚れた部分が少しでもあるなら根絶できるよう引き続き聖霊に頼りましょう。靈的に再び生まれるという道を歩み続けるときに、イエス・キリストの贖いの恵みが皆さんの罪と罪の汚れを取り去り、誘惑はその力を失うことを証します。そしてキリストにより、皆さんはキリストや御父が聖なる御方であられるように、聖くなることができると証します。」（「再び生まれる」『リアホナ』2008年5月号, 78）

- クリストファーソン長老によると、再び生まれるということが一つの出来事ではなく一連の過程であるのはなぜですか。
- 靈的に再び生まれる過程は、どのようにわたしたちが天の御父と御子イエス・キリストのように神聖になる助けとなりますか。（生徒たちが次の真理を見いだすように助けてください。イエス・キリストの恵みを通じて、わたしたちは赦され、靈的に生まれ変わる過程を進む助けを受ける。）

生徒たちが恵みの意味をよりよく理解することを助けるため、『聖書辞典』（Bible Dictionary）からの記述を分かち合うことを検討してください。

「主の恵みによって、またイエス・キリストの贖いに対する信仰と罪の悔い改めを通じて、一人一人が自分の力だけではできないような善い業を行う力と助けを受けます。誰であろうと最善の努力をするなら、この恵みによって永遠の命と昇栄を得ることができます。」（Bible Dictionary, “Grace”）

生徒たちにアルマ5：14, 26-27を黙読し、アルマが靈的に再び生まれる過程を既に始めており、心の変化を経験した人に教えた事柄を探してもらいます。アルマの質問にどのように答えるかを生徒たちに深く考えてもらいます。

- 27節によると、わたしたちが心の変化を受けた後でしなければならないことは何ですか。（罪のない状態で神の前を歩み、謙遜になり、罪の赦しを求める必要がある。）
- 謙遜さが心の変化を維持するために非常に重要な部分であるとアルマが教えたのはなぜだと思いますか。

わたしたちが心の変化を求めるときに謙遜の力が非常に重要である理由を主がエテルにお教えになったことを生徒たちに伝えます。聖文の原則には...ならば、...となるという言葉が頻繁に使用されることを生徒に思い出してもらい、エテル12：27を黙読して「...ならば、...となる」原則を探してもらいます。生徒たちが発表するとき、次の原則を話し合います。イエス・キリストのもとに来るならば、主は各々の弱さを示される。へりくだり、主を信じるならば、主は弱さを強さに変えてくださる。

- 自分の弱さを認めることが大切なのはなぜだと思いますか。
- 「へりくだる全ての者に対して、わたしの恵みは十分である」という句は何を意味すると思いますか。

七十人のブルース・C・ヘーフェン長老の次の言葉を見せて、生徒の一人に声に出して読んでもらいます。



「問題があっても、自分が悪いのだと決めつけしないでください。問題に遭うことは、根本的な人生の目的だからです。神に近づくにつれ、人は神から弱さを示され、それによってさらに賢く、強くなるのです。自分の弱さがたくさん目に入るのは、神から離れているからではなく、少しずつ近づいているからかもしれないのです。」（「贖い—すべてを受け取るためにすべてをささげる」『リアホナ』2004年5月号, 97）

- わたしたちが自分の弱さを認識するときには落胆しないようにするには何ができるでしょうか。

わたしたちが霊的に再び生まれようとするとき、イエス・キリストの恵みがわたしたちの弱さを克服するための助けとなることについての証を述べます。

生徒用資料

- モーサヤ3：19；5：1-5, 7-8；16：2-5；27：24-26；アルマ5：14, 26-27；41：10-11；エテル12：27
- デビット・A・ベドナー「贖罪と現世の旅」『リアホナ』2012年4月号, 12-19

第13課

バプテスマの聖約，安息日，および聖餐

はじめに

バプテスマの儀式を通じて、イエス・キリストに従う者は主の名前を受ける聖約を交わします。このレッスンで生徒たちは、キリストの教会の会員は安息日に集まり、聖餐を受けるという神聖な特権にあず

かるとモルモン書が教えていることを学びます。聖餐を受けるとき、わたしたちはバプテスマの聖約を新たにし、自分自身に聖霊を招きます。

背景となる読み物

- L・トム・ペリー「安息日と聖餐」『リアホナ』2011年5月号，6－9
- ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号，129－132
- ダリン・H・オクス「聖餐会と聖餐」『リアホナ』2008年11月号，17－20

教えるための提案

モーサヤ18：8－10；25：23－24

キリストの御名を受ける

数人の生徒に、それぞれのバプテスマについて意味深かった事柄を説明してもらいます。例えば、バプテスマ会、バプテスマの儀式そのもの、またはそのときの思いや感じた事柄などがあります。その後、生徒たちがバプテスマの聖約をどれほどよく守ってきたかを深く考える時間を取ります。

アルマがモルモンの泉でバプテスマの聖約について教えたことを生徒たちに思い出してもらい、一人の生徒にモーサヤ18：8－10を声に出して読んでもらいます。他の生徒には一緒に黙読して、わたしたちがバプテスマを受けたときにどのような聖約を交わしたかを探してもらいます。

ホワイトボードに次の文を書きます。

バプテスマを受けるとき、わたしたちは……という聖約を交わす

- バプテスマを受けるとき、わたしたちは何を行う聖約を交わしますか。（生徒に答えてもらいながら、ホワイトボードに答えを書いてこの教義的な文を完成させます。バプテスマを受けるとき、わたしたちはお互いの重荷を負い、神の証人となり、神に仕えて神の戒めを守るとい聖約を交わす。）

アルマと彼の民がゼラヘムラの信仰者に加わった後、アルマが信仰者の集会を数多く確立したことを説明して、次の聖句の内容を生徒が理解することを助け

ます。数人の生徒にモーサヤ25：23-24を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはバプテスマの聖約に関する追加の洞察を探してもらいます。生徒たちが見つけた事柄を話し合った後で、次の質問をします。

- 民はバプテスマを受けて神の教会に加わったことで、どのように祝福を受けましたか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。わたしたちがイエス・キリストの御名を受け、それに従った生活をするとき、主は御霊をわたしたちに注いでくださる。）
- バプテスマの聖約に沿った生活をするとき、主の御霊が注がれることはあなたの生活にどのように影響しましたか。

生徒たちそれぞれの判断および行動において、バプテスマの聖約がイエス・キリストに従う者であろうとする決心をどのように強めることができるかを深く考えてもらいます。

出エジプト31：13, 16-17；モーサヤ18：17, 23-25；モロナイ6：4-6

安息日における礼拝

モルモン書には、キリストの教会の会員がバプテスマの聖約を守る方法が幾つか説明されていることを伝えます。

クラスの半分にモーサヤ18：17, 23-25を研究するように割り当て、他の半分にはモロナイ6：4-6を研究してもらいます。生徒たちに、キリストに従う者が守った礼拝方法が説明されている言葉と句に印をつけるよう提案します。その後、見つけた箇所を発表してもらいます。

- 会員たちがしばしば集った理由には何がありますか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。キリストの教会の会員となるとき、わたしたちは安息日を守り、聖く保つという戒めを受ける。教会員として、わたしたちは神の善い言葉によって養われ、断食し、祈り、お互いを強め、聖餐を頂くためにしばしば集う。）

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を読みます。



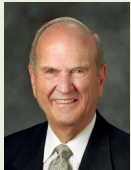
「福音の知識を新たに幾つか学び、友人に会うことは大切な要素ですが、単にそれだけを目的に教会に来る会員はほとんど存在しません。会員が教会に集うのは、霊的な経験を求め、平安を感じ、信仰を強め、新たに希望を得たいと望んでいるからです。つまり、神の善い言葉で養われ、天の力により強められるよう望んでいるのです。」『神からこられた教師』、『聖徒の道』1998年7月号, 29)

- 他の教会員ともに安息日に集うことは、どのように「天の力により強められる」ことを感じる助けとなりますか。
- 天の御父とイエス・キリストに近づき、正しく礼拝するために、教会で何をしますか。

安息日を守り、聖く保つように教会員が戒めを受けている理由を生徒たちがさらに理解する助けとするため、出エジプト31：13、16-17を読み、それらの節とモーサヤ18：23とを相互参照してもらいます。

- わたしたちと主の間の「しるし」とはどのような意味ですか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を読みます。



「どのような方法で安息日を聖別するのでしょうか。わたしがまだ若かったとき、安息日に行くことと行ってはならないことについて他の人々がリストにしたものを学習しました。程なくして、安息日に対する自分の行いと態度が自分と天の御父の間のしるしであると聖典から学びました。そのことを理解すると、もう行うことや行わないことのリストは不要でした。ある活動が安息日にふさわしいかどうか判断する必要がある場合、こう自問するだけでした。『自分は神にどんなしるしを差し出そうとしているだろうか。』この質問は安息日についての選びをきわめて明確にしました。」（「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号、130）

- 自分自身に「自分は神にどんなしるしを差し出そうとしているだろうか」と自問することは、安息日に何をするかについてより良い選択をするためのどのような助けとなりますか。
- 安息日を聖く保つ努力は、週の安息日以外の日にどのように影響すると思いますか。

生徒たちに、安息日を聖く保つための自分自身の努力を評価してもらいます。それぞれの思いと行動が、安息日における天の御父への心からの礼拝を表しているかどうかを考えてもらいます。安息日の礼拝を改善するための具体的な目標を生徒たちに立ててもらいます。

3ニーフアイ18：1-11；20：3-9；モロナイ4：3；5：2

聖餐にあずかる

ホワイトボードに、十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老（1922-2015年）の次の言葉を書きます（『リアホナ』2006年5月号、39ページの「聖餐にあずかるとき」より）。

「聖餐を取ることで、聖なる場所で神聖な時間を過ごすことができます。」（L・トム・ペリー長老）

- 「神聖な時間」および「聖なる場所」という考えは、わたしたちが聖餐を取るときの思いと行動にどのように影響しますか。

生徒たちに、復活されたイエス・キリストがバウンティフルのニーフアイ人を訪れたときに聖餐を設けられたことを思い出してもらいます。数人の生徒に3ニーフアイ18：1-11を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には聖餐の目的について救い主がお教えになった事柄を探してもらいます。

- 聖餐の目的について救い主がお教えになった事柄は何ですか。（生徒たちが答える間に、次の原則をホワイトボードに書きます。聖餐にあずかり、イエス・キリストを常に覚えるならば、キリストの御霊を受ける。）
- 聖餐を取るとき、およびそれからの一週間救い主を覚えておくために何をしますか。

生徒たちに、イエス・キリストに従う人たちが聖餐を祝福するときに使った言葉をモロナイが記録したことを思い出してもらいます。生徒たちにモロナイ4：3と5：2にある祈りをざっと読んでもらい、ホワイトボードに書かれている原則に関連する箇所を線で引いてもらってもよいでしょう。

- 「いつも〔イエス・キリスト〕を覚え〔る〕」ことができないとき、どのような結果が生じるでしょうか（モロナイ4：3；5：2）。

イエス・キリストが聖餐を設けられた次の日、イエスがニーファイ人を訪れて、彼らに聖餐の儀式を執行されたことを生徒に思い出してもらいます。数人の生徒に3ニーファイ20：3-9を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、聖餐を取ることによって得る追加の祝福を探してもらいます。

- わたしたちの魂が「決して飢えることも渴くこともなく、満たされる」とはどういう意味ですか。
- 聖餐を取るとは、あなたの霊的な飢えと渴きをどのように満たしますか。
- 謙遜と感謝の意をもって聖餐を取るとは、その後の1週間救い主をよりよく覚えておくためにどのように役立ちますか。

一人の生徒に次のダリン・H・オークス長老の言葉を声に出して読んでもらい、その間他の生徒たちにはそれぞれの聖餐会での態度を考えてもらいます。



「聖餐の間、特に聖餐の儀式の間は、礼拝に集中し、他のどんな行為も控えるべきです。特に、他の人の礼拝を妨げる恐れのある行為は控えます。……聖餐会は、本や雑誌を読む時間ではありません。若人の皆さん、聖餐会は携帯電話で別の場所にいる人と小声で会話したり、メールを送ったりする時間ではありません。聖餐を取るとき、わたしたちはいつも救い主を覚えるという神聖な聖約を交わします。まさにその聖約を交わしている集会で、それを明らかに破っている人を目にするのは、何と悲しいことでしょうか。」（「聖餐会と聖餐」『リアホナ』2008年11月号、18-19）

生徒たちのニーズを考慮し、御霊の促しに従って生徒たちとマルコ14：37を読み、この節の一つの応用方法は、わたしたちが聖餐会で礼拝するときに、毎週気を散らせる物事の全てを排除して、主に完全な注意を払うことであると指摘してもよいでしょう。

生徒たちに、聖餐を取るときにより神聖な経験をするには何ができるかを考えてもらいます。安息日と聖餐の重要さについての証を分かち合いたい人がいるかどうか尋ねます。主は、わたしたちがバプテスマの聖約を守り、常に主を覚

えておくよう努力するとき、主の御霊でわたしたちを祝福してくださることを証します。

生徒用資料

- 出エジプト31：13, 16-17；モーサヤ18：8-10, 23；25：23-24；3ニーファイ18：1-11；20：3-9；モロナイ4：3；5：2；6：4-6
- ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」『リアホナ』2015年5月号, 129-132

第14課

神の解放する力

はじめに

モルモン書には、何らかの形で捕らわれの身となった個人と民についての数多くの記述が含まれています。これらの記述の多くは、イエス・キリストが偉大な解放者であり、脱出や救出が不可能に思えるときの救いの源であることを説明しています。悔い改

め、謙遜、そして祈りを通してわたしたちが主に近づくとき、わたしたちは神の解放の力を求め、それを受けるための霊的な準備をよりよく整えることとなります。

背景となる読み物

- L・トム・ペリー「解放する力」『リアホナ』2012年5月号, 94-97
- ダリン・H・オークス「主は重荷を負っている人を癒される」『リアホナ』2006年11月号, 6-9
- デビッド・A・ベドナー「容易に重荷に耐えられるように」『リアホナ』2014年5月号, 87-90

教えるための提案

1ニーファイ1：20；アルマ36：1-3, 27-29

神は偉大な解放する力をお持ちである

生徒たちに、大きな難題や苦難に直面した人の勇気と力に感動したときのことを考えてもらいます。彼らが目にしたことを簡単に発表してもらいます。

生徒たちに1ニーファイ1：1を黙読し、人生の中で経験した困難についてニーファイが言った事柄を探してもらいます。

- ニーファイは、「多くの苦難」を経験した後の気持ちをどのように要約していますか。
- 難題や苦難を経験しているときでさえも、人が「主の厚い恵みを受け〔た〕」と感ずることができるのはなぜだと思いますか。

生徒たちに1ニーファイ1：1と1ニーファイ1：20とを相互参照して、ニーファイが「主の厚い恵みを受け〔た〕」と感ずたことを説明した理由を探してもらいます。

- この節にあるどのような原則が、難題や苦難を経験するときに人が望みを抱く助けとなりますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。イエス・キリストへの信仰を実践するとき、わたしたちは神の憐れみと解放を受けることができる。）

「わたしニーファイはあなたがたに示そう」という句が、神の解放する力の例を記録するというニーファイの意図を表していることを説明します。生徒たちに1ニーファイ1-8章と16-18章をざっと読んでもらい、ニーファイの人生から神の解放する力を表している例を見つけてもらいます。生徒たちに、見つけた例を簡単に発表してもらいます。例を見つけるのが難しい場合は、次の節の

幾つかを紹介してもよいでしょう。1ニーファイ3：23-31；4：1-18；7：16-19；8：7-12；16：10，18-31，36-39；17：48-55；および18：1-3，11-21

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老（1922-2015年）による次の言葉を声に出して読みます。



「モルモン書に記されている話の多くは、解放に関する話です。リーハイが家族とともに荒野へ立ち去ったのは、エルサレムの滅亡から救い出されるためでした。ヤレド人の話は解放についての話であり、ミュレク人の話もそうです。息子アルマは罪から解放されました。ヒラマンの若い兵士たちは戦いで救われました。ニーファイとリーハイは獄から救い出されました。解放というテーマは、モルモン書の至る所に見ることができます。」（「解放する力」『リアホナ』2012年5月号，94）

霊的な解放の例として、アルマが息子のヒラマンに罪からの解放について説明したことを伝えます。一人の生徒にアルマ36：1-3を声に出して読んでもらい、別の生徒にアルマ36：27-29を声に出して読んでもらいます（アルマ5：1-12にも同じような勧告が含まれていることに留意してください）。他の生徒には、一緒に黙読しながら苦痛や苦難に苦しむ人の助けとなる可能性がある洞察を探してもらいます。

- これらの節の中で、身体的、または霊的な苦難に直面している人の助けとなり得るどのような洞察を見つけましたか。
- 今日、人々はどのような身体的または霊的な束縛に直面しますか。（例には、健康上の問題、麻薬およびポルノグラフィへの依存、貧困、虐待、差別、罪、不信仰、および反抗などが含まれます。）

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を見せて、それを読みます。



「たばこや麻薬、ギャンブル、または人を滅ぼす現代の疫病であるポルノグラフィなど、中毒という魔物と闘っている人はいませんか。結婚生活がうまくいっていない人、子供が危険にさらされている人はいませんか。性同一性の問題で悩んでいる人はいませんか。自分に自信が持てなくて困っている人はいませんか。病気やうつ状態、死に直面している人はいませんか。……こうした悩みにどのような解決策を取る必要があるにせよ、まず最初に、キリストの福音に照らして考えてください。天との約束を信頼してください。この点に関してアルマの次の証はわたしの証でもあります。『神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中であって支えられ……ると言うことをわたしは知っている……。』〔アルマ36：3〕」（「壊れたものを元どおりに」『リアホナ』2006年5月号，70）

- ホランド長老は、何がわたしたちの悩みや難題を解決し始める助けとなると言いましたか。

1ニーフアイ6：4；モーサヤ21：2-5, 14-16；23：23-24；24：13-15, 21；アルマ34：9；ヒラマン5：9

イエス・キリストは解放の源である

生徒たちに、作家が本を書こうという動機を持つ異なる理由を考えてもらいます。（例えば、物語を語りたい、ある題材における専門的な意見を述べたい、または生計を立てたい、など。）何人かの生徒にアイデアを発表してもらった後、生徒たちに1ニーフアイ6：4を黙読し、ニーフアイが記録を書き記す動機を得た理由の一つを見つけてもらいます。

- 預言者ニーフアイは、記録を書き記す目的が何であったと言っていますか。（ニーフアイは、人々が神のもとに来て救われるように説き勧めたいと願った。）

神の救いの力は、解放する力であることを生徒に証します。

次をホワイトボードに書き写し、これらの節が解放されることを必要とする人々を説明していると生徒に伝えます。

リムハイの民	アルマの民	全ての人々
モーサヤ21：2-5, 14-16	モーサヤ23：23-24；24：21	アルマ34：9；ヒラマン5：9

ホワイトボードにある節を生徒たちに黙読してもらい、それぞれの節が難題や困難からの解放の源について何を教えているかを探してもらいます。

- これらの節から、解放の源について何を学びますか。（生徒が答えたら、次の教義を強調します。イエス・キリストは、迷い墮落した状態、および現世におけるその他の難題からわたしたちを解放する力をお持ちである。）

大管長会ヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「神の解放する力について証を述べたいと思います。わたしたちは皆、人生の中でいずれはその力を必要とするでしょう。生きている全ての人々が試しのさなかにいるのです。……わたしたちは皆、二つの共通点を持つこととなります。これらは、現世における人生のための設計の一部です。

まず一つ目は、時折直面する試練によって、わたしたちは自分自身の能力を超える助けの必要性を感じるに十分なほど力を出し尽くしてしまうという点です。二つ目は、慈愛と英知をお持ちである神が、わたしたちが解放の力を受けることを可能にしてくださったという点です。」（“The Power of Deliverance” [ブリガム・ヤング大学ディポーショナル, 2008年1月15日] 1, speeches.byu.edu [英語]）

- 苦難のさなかで「自分自身の能力を超える助け」を受けたことはありますか。

時間があれば、モーサヤ24：13–15にあるアルマの民の記述を参照して、神による解放は重荷が取り除かれることを必ずしも意味しておらず、その代わりに神は度々重荷を負うわたしたちの力を強めることによってわたしたちを解放してください、という見解を説明してもよいでしょう。生涯続く健康の問題など、これらの状況には辛抱強さと忍耐が必要となります。解放は、神御自身の方法で、かつ神の時間表に従って与えられます。

モーサヤ7：33；29：20；アルマ58：10–11；3ニーファイ4：33

解放する力を受ける

自分が脱出や救出が不可能に思えるような状況に置かれたときでも、わたしたちそれぞれのために望みがあることを証します。聖文には救い主の解放の力を受ける方法についての手順が記載されていることを生徒に思い出してもらいます。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。（括弧内の内容は書かないください。これらは教師が使用することを目的とする情報です。）生徒たちに、各節を読み、救い主の解放の力を受けるために役立つ行動を調べてもらいます。

モーサヤ7：33（十分に固い決意をもって主に立ち返り、主に頼り、力の限り主に仕える）

モーサヤ29：20（へりくだり、神に熱烈に叫び求める）

アルマ58：10–11（心を神に注ぎ出して祈る、解放されるという望みを抱く）

3ニーファイ4：33（悔い改める、謙遜になる）

十分に時間を取ってから、生徒たちに見つけた行動を発表して話し合ってもらい、生徒の答えをホワイトボードに書きます。以下の原則を強調します。わたしたちが固い決意をもって主に立ち返り、悔い改めと謙遜の気持ちを持って神の助けを祈り求めるならば、神の解放の力を受けることができる。

ヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を見せます。



「主は常に、わたしたちが義の状態を高めることを通じてわたしたちを解放に導きたいと願っておられます。これには悔い改めが必要です。謙遜になることが必要です。主がわたしたちの手を取って導いてくださることを可能にするため、解放には常に謙遜が必要とされるのです。主はわたしたちが悩みを切り抜け、清くなるよう手助けすることを望んでおられるのです。」（“The Power of

Deliverance” [ブリガム・ヤング大学ディボーションナル, 2008年1月15日], 4, speeches.byu.edu [英語])

- 悔い改め、謙遜、および祈りは、主の解放する力を受けるためにどのように役立ちますか。
- あなた、または知っている人が解放のために主に立ち返り、それを受けたことはありますか。その経験は、イエス・キリストへの信頼をどのように高めましたか。

生徒たちに、それぞれの生活の中で主の解放する力を経験したときのことを深く考えてもらいます。将来覚えておくために、それらの経験を記録しておくよう生徒に勧めます。神聖すぎたり、個人的すぎない経験を生徒に分かち合ってもらってもよいでしょう。

生徒用資料

- 1ニーファイ1：20；6：4；モーサヤ7：33；21：2-5，14-16；23：23-24；24：13-15，21；29：20；アルマ34：9；36：1-3，27-29；58：10-11；ヒラマン5：9；3ニーファイ4：33
- L・トム・ペリー「解放する力」『リアホナ』2012年5月号，94-97

第15課

神の手に使われる者となる

はじめに

イエス・キリストの福音は、問題を抱えたこの世に対する平和のメッセージです。神の手に使われる者となれば、福音を分かち合い、他の人が改宗するのを助けることができます。このレッスンで生徒たち

は、宣教師について述べたモルモン書の記録に含まれている原則を研究し、応用します。この宣教師たちは、神の手に使われる者となり、他の人々が永遠の命を受けるられるように助けました。

背景となる読み物

- M・ラッセル・バラード「主に信頼を寄せる」『リアホナ』2013年11月号, 43-45
- ドン・R・クラーク「主の御手に使われる者となる」『リアホナ』2006年11月号, 97-99

教えるための提案

1ニーファイ13：37；モーサヤ15：14-19, 26-28

福音を分かち合う者には祝福が約束される

ホワイトボードに、『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』330ページからの、預言者ジョセフ・スミス（1805-1844年）による次の言葉を書きます。

「結局のところ、最も偉大で最も重要な義務は福音を宣べ伝えることです。」（預言者ジョセフ・スミス）

生徒たちにその言葉を黙読してもらいます。その後、次の質問をします。

- わたしたちの最も重要な義務が福音を他の人と分かち合うことであるのはなぜですか。
- この義務を受け入れ果たすことによって、どのような祝福を受けましたか。

ニーファイが福音の回復と、モルモン書の出現を予見したことを説明します（1ニーファイ13：34-36参照）。ニーファイはまた、福音を宣べ伝え、キリストのもとに来るよう人々を助ける者に与えられる祝福について説明しました。

生徒に1ニーファイ13：37を黙読してもらい、末日に福音を分かち合おうと努める者に約束された祝福に印を付けるか線を引いてもらいます。

- シオンを起こし、平和を告げ広めようと努める者にはどのような祝福が与えられますか。（生徒たちが次の原則を理解するようにしてください。福音を分かち合うために努力するとき、わたしたちは聖霊によって祝福され、神の王国に救われることが可能になる。）

アビナダイがイザヤの言葉を引用し、平和を告げ広めるとはどういう意味か、そしてなぜ福音を分かち合う努力をすべきかについて説明したことを生徒たちに伝えます（イザヤ52：7参照）。一人の生徒にモーサヤ15：14－19、26－28を声に出して読んでもらい、他の生徒にはアビナダイが教えた事柄を探してもらいます。

- 平和と救いを告げ広めるとはどういう意味ですか。（14節参照）
- 救いがあらゆる国民、部族、国語の民、民族に告げ知らされる必要があるのはなぜですか。

生徒がアビナダイの言葉をよりよく理解できるよう助けるため、一人の生徒に十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「平和と喜びのおとずれ、喜びのおとずれとそれによってもたらされる平和。この二つは、荒れ狂う世の中、またそのような世の中で問題を抱えている人々にイエス・キリストの福音がもたらす究極の祝福であり、個人的な問題や人間の罪に対する解決策であり、疲れ切った期間、絶望の淵に押しやられた時期に、力の源となります。このような助け、このような希望〔を与えてくださるの〕は……神御自身の独り子、イエス・キリスト以外にはありません。……」

平和の探求は、人の魂が行き着く最終的な遍歴の一つです。……苦悩、恐れあるいは孤独を味わう時があり、神だけが与えてくださる平和を呼び求める時があります。刺し貫かれるほどの霊的な渇きを感じ、最愛の友ですら十分に助けられない時があります。」（『王国にかかわる平和をもたらす事柄』『聖徒の道』1997年1月号、94）

- イエス・キリストの福音はどのような点で平和のメッセージなのでしょう

この質問に答えられるよう、マリオン・G・ロムニー管長（1897－1988年）による次の言葉を話し合ってもよいでしょう。



「平和をもたらすには、サタンの影響力を取り除かなくてはなりません。サタンがいるところには、平和は決してありません。また、サタンとの平和共存は不可能です。……サタンは肉の働き以外の何ものも、助長しません。……」

平和を打ち建てるには、サタンの影響を一掃しなければなりません。……」

「肉の働き」が世界に広まると同様に、平和の福音も世界に宣べ伝えられています。もしも一人の人が福音に従って生活するなら、心の中に平安な気持ちを持つでしょう。またもしも、二人の人が福音に従って生活するなら、彼らはそれぞれ心

の中に平安を持ち、互いに平安な気持ちを抱くようになるでしょう。そしてもしも、国民全体がそのように生活するなら、国は平和になるでしょう。そして、十分な数の国が『御霊の実』を享受し、世界の紛争を鎮めることができれば、そのときには、もはや戦いの太鼓は鳴らず、戦いの旗が翻ることもないでしょう。」（「平和の代価」『聖徒の道』1984年2月号，4，6）

- 福音によって誰かの人生に平安がもたらされるのを見たことがありますか。それはどのようなときでしたか。
- わたしたちが福音を効果的に分かち合う方法にはどのようなものがありますか。

生徒たちに、福音によってもたらされる平安を味わってほしい人が誰かいるか考えてもらいます。その人に福音を分かち合う計画を立てるよう生徒たちに勧め、レッスン内で学ぶ原則をどのように応用できるかを考えるよう勧めます。

モーサヤ28：3；アルマ17：2-3，6，9-12，16，25；18：10；21：16；22：1，12-14；26：11-12，26-29；31：30-34

神の手に使われる者となる

上記の画像（バイオリン、工具、医療機器）の一つもしくは全て、またはそれらに似た画像を生徒たちに見せることを検討します。その後、次の質問をします。

- これらの物は、これらの扱いに慣れた人によって使われるときに何ができますか。
- 神の手に使われるとはどういう意味でしょうか。



一人の生徒にアルマ17：2-3，9-11を声に出して読んでもらいます。生徒たちに、モーサヤの息子たちが神の手に使われるために何を行ったかを見つけてもらいます。

- 神の手に使われるような者となる方法について、モーサヤの息子たちの模範から何を学ぶことができますか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の原則を書きます。祈り、断食し、聖文を調べて、他の人の良い模範となるとき、わたしたちは神の手に使われる者となることができる。）



モルモン書には、効果的に神の手に使われる者となるためにアルマとモーサヤの息子たちが行ったその他多くの模範が含まれていることを説明します。次の参照聖句をホワイトボードに書きます（括弧内の要約は書かないでくださ

い)。それぞれの生徒に、一つ、または複数の節を割り当てます。生徒たちに、主の僕たちが行った事柄の中で、福音を分かち合うために何が役に立ったかを見つけてもらいます。



モーサヤ28：3（誰も滅びることがないように救いを告げ知らせたいと望んだ。）

アルマ17：6（福音を宣べ伝えるために、この世的な誉れを進んで捨てる意志があった。）

アルマ17：11-12（忍耐強く、勇気があり、良い模範であった。）

アルマ17：16（他の人たちが悔い改め、贖いの計画について学ぶ助けをしないと望んだ。）

アルマ17：25；18：10（僕になることを望んだ。）

アルマ21：16；22：1（御霊に導かれた。）

アルマ22：12-14（キリストと贖いの計画について聖文から教えた。）

アルマ26：11-12（謙遜であり、自分たちの力の源が神であると認識していた。）

アルマ26：26-29（意気消沈したときも諦めなかった。キリストの大義のために忍耐強く苦難に耐えることをいとわなかった。さまざまな状況で福音を教えた。）

アルマ31：30-34（他の人たちをキリストのもとに導けるよう祈り求めた。）

十分な時間を取った後で、学んだ事柄を分かち合ってもらいます。節の要約をホワイトボードに書いて、生徒たちの答えをまとめてもよいでしょう。これらの参照聖句を書き留めておき、クラスの後で「福音を分かち合うために重要な要素」という名前の聖文チェーンを作成するよう生徒に勧めてもよいでしょう。

- 他の人と福音を分かち合ったことがあれば、これらの要素があなたの成功にどのように寄与したか、その経験または証を分かち合ってもらえますか。
- これらの節に記録された原則は、他の召し、または良い友達や隣人であることについてどのように当てはまりますか。
- 神の手に使われる者として、他の人を助けたのはいつですか。

アルマ18：33-35；23：5-6；26：2-5，15；29：9-10**他の人の改宗を助ける**

神の手に使われる者となることができると教えていることに加え、モルモン書はわたしたちが神の手に使われる者として他の人に影響をおよぼせるということも教えていることを生徒たちに思い出してもらいます。

一人の生徒にアルマ18：33-35を声に出して読んでもらい、他の生徒には神の手に使われる者としてアンモンが達成することとなっていた事柄を見つけてもらいます。原則の声明として見つけた事柄を要約してもらいます。（生徒たちが次の事柄を見いだすように助けてください。**神の手に使われる者となる**とき、**神は他の人が真理の知識に導かれるように助ける力をわたしたちに与えてくださる。**）

真理の知識が得られるように人を助けることによってもたらされる影響について理解できるように、生徒たちにアルマ23：5-6を黙読してもらいます。生徒たちに、レーマン人が真理の知識を得るようになってから彼らに何が起こったかを探してもらいます。

- 福音を宣べ伝えることがレーマン人に及ぼした影響を表す言葉または句はどれですか。
- 他の人たちを真理の知識に導くときに何が起こり得るかについて、わたしたちが学ぶことのできる原則は何ですか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。**わたしたちが他の人たちを真理の知識に導くとき、わたしたちは彼らが主に帰依するのを助けることができる。**）

アンモンとアルマの両方がこれらの真理について証を述べたことを説明します。数人の生徒にアルマ26：2-5，15およびアルマ29：9-10を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはわたしたちが神の手に使われる者として福音を分かち合うときに、他の人たちにどのような影響を与えることができるかについて見つけてもらいます。

- アンモンとアルマによって要約された気持ちについて、どのような印象を受けましたか。

他の人たちに福音を伝えたときに経験したことを生徒たちに分かち合ってもらいます。

他の人たちが福音を学び、改宗できるように助けるために自分にはどのような機会があるかについて、生徒たちに深く考えてもらいます。生徒たちに、このレッスンで学んだ原則を、福音を分かち合うための毎日の努力にどのように組み込んで実践していけばよいかを考えるように勧めます。

生徒用資料

- 1ニーフアイ13：37；モーサヤ15：14-19，26-28；28：3；アルマ17：2-3，6，9-12，16，25；18：10，33-35；21：16；22：1，12-14；23：5-6；26：2-5，11-12，15，26-29；29：9-10；31：30-34
- M・ラッセル・バラード「主に信頼を寄せる」『リアホナ』2013年11月号，43-45

第16課

悔い改めと赦し

はじめに

罪から清められるには、悔い改めを生じるイエス・キリストへの信仰を実践しなければなりません。わたしたちが心から悔い改めるときに罪の赦しを受けることができ、これがわたしたちの魂に喜びと平安

をもたらします。わたしたちは、神の戒めを忠実に守り、お互いを愛して奉仕し合うときに、罪の赦しを保つことができます。

背景となる読み物

- D・トッド・クリストファーソン「悔い改めという神の賜物」『リアホナ』2011年11月、38-41
- ニール・L・アンダーセン「わたしがあなたがたを癒すことができるように、.....悔い改めなさい」『リアホナ』2009年11月号、40-43
- クレーグ・A・カードン「救い主は赦したいと望んでおられます」『リアホナ』2013年5月号、15-18

教えるための提案

アルマ34：15-17；3ニーファイ9：13-14，19-22

悔い改めを生じるキリストへの信仰を实践する

生徒たちに、聖餐会で悔い改めについて話すように頼まれたと想像してもらいます。数人の生徒に、教会員がこの教義をよりよく理解できるように、自分は聖餐会で何を話すことができると思うか、考えを分かち合ってもらいます。生徒たちが答えた後で、大管長会のディーター・F・ワークトドルフ管長の次の言葉を見せて読みます。



「悔い改めを可能にするのは、キリストを信じる強い信仰です。」（「帰還可能点」『リアホナ』2007年5月号、100）

- この言葉が真理である理由は何でしょうか。

生徒の一人にアルマ34：15-17を声に出して読んでもらいます。これには、ゾーラム人に対する悔い改めについてのアミュレクの教えが記録されています。他の生徒には一緒に黙読してもらい、赦されるには何が必要かについてアミュレクが教えた事柄を探してもらいます。

- これらの節には、赦しを受けることについてどのような原則が教えられていますか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の原則を書きます。憐れみ深い赦しの祝福を受けるには、悔い改めを生じるイエス・キリス

トへの信仰を実践しなければならない。これらの聖句の中では、「悔い改めを生じる信仰」という句が4回繰り返されていることを生徒たちに指摘します。これは、言葉の繰り返しを認識する聖文研究スキルを強調する良い機会です。)

- 悔い改めて赦されるためにイエス・キリストへの信仰を実践しなければならない理由は何ですか。(キリストの贖いの犠牲の効果をわたしたちの生活の中で発揮させるには、その犠牲に対する信仰を持たなければならない。キリストの贖いを通じてのみ、わたしたちの心が改められ、罪から清められるために赦されることが可能になる〔モーサヤ5：2参照〕。)

生徒たちが救い主のみもとに来て悔い改める方法をよりよく理解する助けとするため、救い主が十字架にかけられたことを証するアメリカ大陸での広範囲にわたる破壊の後、悔い改めて主から赦しを受けるには何をしなければならないかについて救い主が人々にお教えになったことを説明します。生徒たちに、二人一組で3ニーファイ9：13-14, 19-22を研究し、わたしたちが救い主のもとに来て悔い改めるためにしなければならないと主が言われた事柄を説明する語句を見つけてもらいます。十分な時間を取った後で、分かったことを分かち合ってもらいます。

- これらの節の中で、主はわたしたちが悔い改めるためにしなければならない事柄についてどのような原則をお教えになりましたか。(使う言葉は異なるかも知れませんが、生徒が次の原則を見いだすようにしてください。**わたしたちが打ち砕かれた心と悔いる霊をもってキリストのみもとに来れば、キリストはわたしたちを受け入れ、罪から贖ってくださる。**)
- 「幼子のようにわたしのもとに〔来る〕」(22節)、および「わたしに立ち返〔る〕」(13節)のようにという救い主の招きは、打ち砕かれた心と悔いる霊を持つという意味をよりよく理解するためのどのような助けとなりますか。
- 人が打ち砕かれた心と悔いる霊を持つ原因となるような人生の経験にはどのようなものがあるでしょうか。

一人の生徒に、七十人のブルース・D・ポーター長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。各生徒にこの言葉が書かれているプリントを配ってもよいでしょう。悔い改めるときに、打ち砕かれた心と悔いる霊をどのようにささげるかについての深い洞察によく耳を傾けるよう、生徒たちに勧めます。



「打ち砕かれた心と悔いる霊とは何でしょうか。……救い主は完全に永遠の御父に従順でした。それこそが、打ち砕かれた心と悔いる霊の完全な模範です。キリストの模範は、わたしたちに、打ち砕かれた心が神の永遠の属性の一つであることを教えています。心が打ち砕かれているとき、人は神の御霊をことごとく受け入れ、自分があらゆる点で神に依存していることを認識します。そのために求められる犠牲は、いかなる形であれ高慢を捨て去ることです。熟練した陶器職人の手にあって、容易に形を変えられる粘土のように、打ち砕かれた心を持つ者は、主の手の中で形作られ、磨かれるのです。

打ち砕かれた心と悔いる霊は、悔い改めの必須条件でもあります〔2ニーファイ2：6-7参照〕。……罪を犯して赦しを願うとき、打ち砕かれた心と悔いる霊とは、『悔改めに導く』、『神のみこころに添うた悲しみ』を体験することを意味します（2コリント7：10）。それは、罪から清められたいという思いが非常に強いために、心が悲しみで痛み、天の御父による平安を感じたいと切望するときにもたらされます。打ち砕かれた心と悔いる霊を持った人は、神のおっしゃることであれば何であれ、抵抗せず、怒ることなく、喜んで行きます。自分の方法で行うのをやめ、神の方法で行うようになります。このように従順であるとき、贖いは効力を発揮し、真の悔い改めができます。」（「打ち砕かれた心と悔いる霊」『リアホナ』2007年11月号, 31, 32）

- ポーター長老によると、打ち砕かれた心と悔いる霊をもってキリストに来るといえるのはどういう意味ですか。

イエス・キリストに打ち砕かれた心と悔いる霊をささげることによってキリストへの信仰をより完全に働かせるには何ができるかを生徒たちに深く考えてもらいます。御霊によって受ける印象を生徒たちが書き留める時間を数分取ってもよいでしょう。

救い主の憐れみ深い悔い改めの賜物には、わたしたち誰もがあずかることができることを証します。数人の生徒に、救い主の贖いの犠牲、および悔い改めの賜物についての気持ちを分かち合ってもらいます。

エノス1：4-8；モーサヤ4：1-3；アルマ19：29-30, 33-36；36：19-21

罪の赦しは喜びと平安をもたらす

- 過去の罪が赦されたかどうかを知る方法を知りたいという人に、あなたならどのように答えますか。

生徒たちにエノス1：4-8；モーサヤ4：1-3およびアルマ36：19-21を調べてもらい、人が罪に対する赦しを受けていることを知ることをする方法を見つけてもらいます。

- これらの節によると、わたしたちはどのように罪の赦しを受けたことを知ることができますか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。わたしたちが心から悔い改め、罪の赦しを受けると、罪悪感が消え去り、主の御霊に満たされて、喜びと平安を感じる。御霊の促しに従って、十二使徒定員会のニール・L・アンダーソン長老の次の言葉を分かち合っても良いでしょう。「真に悔い改めたにもかかわらず安らぎを得られないように感じても、戒めを守り続けてください。主がよいと思われるときに安

らぎが与えられることをわたしは約束します。癒しには時間もかかるのです。」〔「わたしがあなたがたを癒すことができるように、……悔い改めなさい」『リアホナ』2009年11月号, 42〕)

この原則をさらに詳しく説明するため、ラモーナイ王と彼の民の改宗について書かれたアルマ19：29-30, 33-36を数人の生徒に順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、これらの人々が悔い改めと信仰のために受けた祝福を探してもらいます。

- 悔い改めと信仰のためにラモーナイ王、彼の妻、そしてその他大勢のレーマン人が受けた特定の祝福を挙げてください。（心が改まった、天使が彼らを助けた、バプテスマを受けた、教会が設立された、および主が彼らに御霊を注がれた。）
- 悔い改めて主に近づいたときに、これらと同じ祝福を経験した人を見たことはありますか。それはどのようなときでしたか。

上記の原則の真実性と重要性を生徒たちが感じ取れるよう、一人の生徒に十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924-2015年）の次の証を読んでもらいます。



「大きな過ちを犯した人から手紙が来ます。彼らは『わたしは赦されるのでしょうか』と尋ねます。

その答えは、『はい』です。

悔い改めれば苦しみや罪悪感から解放されると福音は教えています。完全な福音を知った後で滅びの道を選んだごく少数の人は別として、悪習、薬物の乱用、反抗、背き、違反などのために、完全な赦しという約束から除外される人は一人もいないのです。

『主は言われる、さあ、われわれは互に論じよう。たとえあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。』これは真実です。そしてイザヤはこう続けています。『もし、あなたがたが快く従うなら……』〔イザヤ1：18-19〕。（ボイド・K・パッカー「輝かしい赦しの朝」『聖徒の道』1996年1月号, 20）

生徒たちに、完全な悔い改めに伴う良心の喜びと平安を感じたときの経験について深く考えてもらいます。

モーサヤ4：11-12, 26

罪の赦しを保つ

一人の生徒にモーサヤ4：11-12, 26を声に出して読んでもらいます。生徒たちに、わたしたちが罪の赦しを保つことができる方法についてベニヤミン王が教えた事柄を見つけてもらいます。

- ベニヤミン王のこれらの言葉から、わたしたちはどのように生涯を通して罪の赦しを保つことができますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。わたしたちに対する神の愛と慈しみを覚え、信仰において確固として立ち、他の人を愛して奉仕することによって、わたしたちは罪の赦しを保つことができます。）

生徒たちのこの原則についての理解を深めるため、一人の生徒に十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「悔い改めとは変わる努力を意味します。何の努力もしないのに主が天使のような人に変えてくださると期待することは、救い主がゲツセマネの園と十字架上で負ってくださった苦しみを嘲ることになります。そうではなく、わたしたちの熱心な努力を補い、報いてくださるよう主の恵みを願い求めるべきです（2ニーファイ25：23参照）。あるいは憐れみを求めて祈るのと同じくらいに、取り組み、努力し、そして罪を克服するための時間と機会を求めて祈り求めるべきでしょう。ふさわしい状態で裁きを受けられることを願い、弱さが強さに変わるよう固い決意をもって日々努力する人を、主は必ず祝福してくださいます。真の悔い改めは真の変化にはたゆまぬ努力が求められますが、その努力には人を精錬し、聖める力があります。」（「悔い改めという神の賜物」『リアホナ』2011年11月号, 39）

- あなたが罪と現世における弱さを克服するために努力するとき主があなたに「ほほえんで」くださることを考えると、どのような思いと気持ちを感じますか。

イエス・キリストの贖いについてあなたの証を述べます。悔い改めるときに、良心の喜びと平安を感じられることを生徒たちに約束します。それぞれの生活を見直し、悔い改めを生じるイエス・キリストへの信仰を働かせるよう、生徒たちに勧めます。

生徒用資料

- エノス1：4-8；モーサヤ4：1-3, 11-12, 26；アルマ19：29-30, 33-36；34：15-17；36：19-21；3ニーファイ9：13-14, 19-22
- ニール・L・アンダーセン「わたしがあなたがたを癒すことができるように、……悔い改めなさい」『リアホナ』2009年11月号, 40-43

第17課

御言葉の力

はじめに

モルモン書の預言者は、わたしたちの時代にわたしたちを祝福する聖文の作成と保存に大きな努力を費やしました。このレッスンで生徒たちは、預言者の言葉を研究してそれらに従うことによって、サタン

に打ち勝ち、現世を乗り切り、最終的に永遠の命を獲得する力を得ることができることを思い出しましょう。

背景となる読み物

- リチャード・G・スコット「聖文の力」『リアホナ』2011年11月号, 6–8
- D・トッド・クリストファーソン「聖文の祝福」『リアホナ』2010年5月号, 32–35
- 第8章「御言葉の力」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』107–116

教えるための提案

1ニーフアイ3：19–20；5：21–22；オムナイ1：14–17；モーサヤ1：3–5；アルマ37：3–4, 8

聖文の重要性

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を見せ、クリストファーソン長老の質問にどう答えるか生徒たちに尋ねます。



「御言葉を忠実に記録し、長年にわたって保存したモーセ、イザヤ、アブラハム、ヨハネ、パウロ、ニーフアイ、モルモン、ジョセフ・スミスをはじめとする多くの人には、さらに大きな恩義があるでしょう。彼らの働きはしばしば忍耐と犠牲を伴うものでした。彼らは聖文の大切さについて何を知っていたのでしょうか。」（「聖文の祝福」『リアホナ』2010年5月号, 32）

- これらの著者は、わたしたちも同様に知る必要がある聖文の大切さについて何を知っていたと思いますか。

ニーフアイと彼の兄弟がエルサレムに戻って真鍮の版を取り戻すよう主に命じられたことを生徒たちに思い出してもらいます。数人の生徒に1ニーフアイ3：19–20および5：21–22を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には真鍮の版がリーハイと彼の家族にとってそれほど重要であった理由を見つけてもらいます。

- これらの節によると、聖文がそれほど重要であるのはなぜですか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。聖文は、神の預言者を通じて伝えられた神の御言葉と戒めを残すことができる。）

この真理を強調するため、リーハイの家族が約束の地に到着してから何百年もの後、彼らの子孫がゼラヘムラの民（ミュレク人）を発見したことを生徒に思い出してもらいます。彼らはリーハイの家族のすぐ後にエルサレムから旅してきました。

生徒たちに、オムナイ1：14–17およびモーサヤ1：3–5を黙読し、聖文を持っていた人々（ニーファイ人）と持っていなかった人々（ミュレク人）の違いに注目してもらいます。（注—聖文研究スキルである「比較対照」について学ぶには、『福音を教え学ぶ：宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』22ページを参照してください。）

- 聖文がなかったことからミュレク人が経験した結果とは何ですか。（1ニーファイ4：13も参照）
- 聖文を持っていたことからニーファイ人にもたらされた祝福とは何ですか。

一人の生徒にアルマ37：3–4、8を声に出して読んでもらい、他の生徒にはニーファイ人が真鍮の版から得た祝福を見つけてもらいます。

- 8節によると、ニーファイ人が真鍮の版から得た祝福には何がありますか。
- 聖文が「この民に多くのことを思い出させ〔る〕」とアルマが言ったとき、アルマは何を意味していたと思いますか。

この言葉の意味を明確にするため、一人の生徒にD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。その間に、他の生徒には聖文がどのように多くのことを思い出させるかについて、長老の深い洞察が述べられている言葉を探してもらいます。



「聖文は多くのことを思い出させてくれます。いつも主について、主や御父との関係について思い起こさせ、前世で知っていたことを思い出させてくれます。わたしたち自身が経験したことのない時代、会ったことのない人々、見たことのない出来事について教えてくれるのです。……

また、聖文が多くのことを思い出させてくれるおかげで、わたしたちは、自分や昔の世代の人々が学んだことを忘れずにいられます。記録された神の言葉を持っていない人、あるいは無視する人は、最終的に神を信じなくなり、自分が存在する目的を忘れてしまいます。」（「聖文の祝福」33）

- 聖文はどのような方法でわたしたちに多くのことを思い出させてくれますか。
- 聖文にある教義、原則、または物語で、主について、および主とあなたの関係について思い出させてくれたものはどれですか。

1ニーファイ8：21-24, 29-30；15：23-24；2ニーファイ3：12；
32：3；33：4-5；モルモン書ヤコブ2：8；7：10-11；アルマ5：
10-13；31：5；37：2, 8-10；ヒラマン3：29-30；15：7-8

神の言葉は祝福をもたらす

一人の生徒にリーハイの命の木の示現を簡単に要約してもらいます（1ニーファイ8章参照）。次に、鉄の棒が象徴しているものが何か、そして、それがこの示現の非常に重要な部分であるのはなぜかを生徒たちに尋ねます。必要に応じて、生徒たちに1ニーファイ8：21-24, 29-30を読んでももらいます。

生徒たちに1ニーファイ15：23-24を調べてもらい、神の言葉にしっかりつかまる者にもたらされる祝福を探してもらいます。見つけた箇所に印を付けるように生徒たちに勧めてもよいでしょう。

- 神の言葉に「しっかりつかまる」とはどのような意味だと思いますか。
- これらの節によると、わたしたちは神の言葉にしっかりつかまることによってどのような祝福を受けますか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。神の言葉にしっかりとつかまるならば、わたしたちは決して霊的に滅びることはなく、敵はわたしたちを打ち負かすことができない。）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでももらいます。



「鉄の棒にしっかりつかまるというのは、おもに、聖文をよく祈って、常に、熱心に用いることを指すと思います。聖文は、啓示された真理の確実な源であり、また命の木へ、すなわちイエス・キリストのもとへ続く細くて狭い道を旅するための信頼できる案内書です。」（「リーハイの夢—鉄の棒にしっかりつかまる」『リアホナ』2011年11月号, 36）

モルモン書の数人の預言者たちが、神の言葉にしっかりつかまる人たちにさらなる祝福がもたらされると教えていることを説明します。ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。それぞれの生徒に一つ、または二つの聖句を調べて、神の言葉を研究することによってもたらされる祝福を見つけ出してもらいます。その後、見つけた祝福をホワイトボードの対応する参照聖句の横に書いてもらいます。

2ニーファイ3：12

2ニーファイ32：3

2ニーファイ33：4-5

モルモン書ヤコブ2：8

モルモン書ヤコブ7：10-11

アルマ5：10-13

アルマ31：5

アルマ37：2, 8-10

ヒラマン3：29-30

ヒラマン15：7-8

- これらの祝福を経験したのはどのようなときですか。

生徒たちに、ヤングシングルアダルトが鉄の棒にしっかりつかまるために毎日の生活で行うことができる事柄を説明してもらいます。

生徒たちに、それぞれの聖文の活用が鉄の棒にしっかりつかまることを表していると言えるかどうかを考えてもらいます。

生徒たちに、鉄の棒によりしっかりとつかまり、これらの祝福をより完全に受けるには何ができるかを考え、書き出してもらいます。

アルマ37：38-46

神の言葉は永遠の命につながる

生徒たちに、預言者リーハイが主からリアホナと呼ばれる道具を受け取ったことを思い出してもらいます。一人の生徒にアルマ37：38-42を声に出して読んでもらい、他の生徒にはリアホナがリーハイの家族をどのように祝福したかを探してもらいます。

- リアホナはリーハイの家族にどのような祝福をもたらしましたか。
- リアホナを正しく機能させるためにリーハイの家族に必要とされたことは何ですか。（この羅針盤は、リーハイの家族がその指示に従い、信仰と熱意を示したときにのみ機能した。1ニーファイ16：28も参照してください。）

アルマは、リアホナを使うことはわたしたちが神の言葉をどのように使うべきかについての「予型」または「影」—つまり象徴—であると教えたことを説明します。一人の生徒にアルマ37：43-46を声に出して読んでもらい、他の生徒にはアルマが比較したリアホナとキリストの言葉の間の類似点を見つけてもらいます。

- これらの節で、アルマはキリストの言葉についてどのような原則を教えましたか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。**キリストの言葉に聞き従えば、永遠の命に至るまっすぐな道へと導かれる。**45-46節で使われている**仮定を表す言葉**（ならば、いたら、すれば）に印を付けるよう生徒たちに勧めてもよいでしょう。生徒たちに、「原因と結果」の関係を見つけ出すことを学ぶのは、それぞれの聖文の研究を充実させることができる重要なスキルであることを伝えます。
- 永遠の命に至る「まっすぐな道」に導かれるとはどういう意味だと思いますか。

- キリストの言葉をただ読むだけではなく、「心に留める」ためにできる事柄を挙げてください。

デビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を見せ、生徒たちにそれを読んで、ベドナー長老の質問について深く考えるよう勧めてレッスンを終わります。



「絶えず生ける水を飲むことは、時々飲むよりはるかに良いのです。

皆さんもわたしも、日々鉄の棒にしっかりとつかまることができる方法で聖文を読み、研究し、求めているでしょうか……。皆さんもわたしも、命の水の泉に向かって前進し、神の御言葉に頼っているでしょうか。これらはわたしたち個々が祈りの気持ちで熟考するために大切な質問です。」（「生ける水の源」〔ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド, 2007年2月4日〕7, lds.org/broadcasts)

神の言葉を研究することによってどのように祝福されたかを証したい人がいなか生徒たちに尋ねます。ベドナー長老の質問を深く考え続けるよう生徒たちに勧め、神の御言葉の研究をもっと効果的で意味深いものとするために、このレッスンの間に浮かんだ考えや受けた印象に従うように勧めます。

生徒用資料

- 1ニーファイ3：19–20；5：21–22；8：21–24, 29–30；15：23–24；2ニーファイ3：12；32：3；33：4–5；モルモン書ヤコブ2：8；7：10–11；オムナイ1：14–17；モーサヤ1：3–5；アルマ5：10–13；31：5；37：2–4, 8–10, 38–46；ヒラマン3：29–30；15：7–8
- リチャード・G・スコット「聖文の力」『リアホナ』2011年11月号, 6–8

第18課

最後の裁きの日に備える

はじめに

現世は、わたしたちが神にお会いするための準備をする時です。モルモン書は、死と復活の間でわたしたちの霊に何が起こるかを説明しています。わたしたちの霊が不死不滅の体に回復されてから、わたし

たちは神の裁きの座の前に立ちます。ここでは、わたしたちの行為と心の中の望みによってわたしたちの永遠の報いが決定されます。

背景となる読み物

- ダリン・H・オークス「復活」『リアホナ』2000年7月号, 16–19
- D・トッド・クリストファーソン「イエス・キリストの復活」『リアホナ』2014年5月号, 111–114
- 「死と復活を理解する」『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』第37章, 299–304

教えるための提案

アルマ34：32–34；40：6–7, 11–14

死後、義にかなう人々はパラダイスに行き、邪悪な人々は霊の獄に行くクラスが始まる前に、ホワイトボードに次の質問を書いておきます。

現世での人生の目的を理解せず、死後の人生を信じない人は、それらを理解する人とどのように違った生活をするでしょうか。

生徒たちにこの質問に答えてもらいます。その後、モルモン書が地上の人生の目的を理解する助けとなり、人生が死後も継続することを教えていることを生徒たちに思い出してもらいます。

一人の生徒にアルマ34：32–34を声に出して読んでもらい、他の生徒にはアミュレクがアモナイハの民に人生の目的について何を教えたかを見つけてもらいます。

- アミュレクがこの世での人生の目的について教えた重要な教義は何ですか。（生徒たちがこの節から、次を含む数個の原則を見いだすようにしてください。この人生は、わたしたちが神にお会いするために準備をする時である。）
- この教義は、現世において毎日の生活をどのように生きるべきかについて理解するためのどのような助けとなりますか。

生徒たちがこの教義をより良く理解できるように、トーマス・S・モンソン大管長の次の言葉を分ち合ってもよいでしょう。



「この世に来たのは、完成へ向かう永遠の旅路の中で、いろいろなことを学び、生活をし、進歩するためです。若くして亡くなる人もいれば、老年まで生き長らえる人もいます。しかし大切なのは、どれだけ長い間生きるかではなく、いかに生きるかということです。」（「主はよみがえりぬ」『聖徒の道』1982年4月号，29）

- アミュレクが悔い改めの日を引き伸ばさないように警告したのはなぜですか。

大管長会ヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、引き伸ばしが危険である理由を探してもらいます。



「『今日ではなく』という意味の『いつか』という言葉には、危険が伴います。『いつか悔い改めよう』『いつか彼を赦そう』『いつか友達に教会について話そう』『いつか什分の一を納め始めよう』『いつか神殿に行こう』『いつか……』聖文には、引き延ばすことの危険性がはっきりと書かれています〔アルマ34：33-34参照〕。……今日という日は神からの大切な贈り物なのです。『いつかやろう』という思いは、時という機会と永遠の祝福を奪い去ってしまいます。」（「今日という日」『リアホナ』2007年5月号，89）

数人の生徒にアルマ40：6-7，11-14を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には一緒に黙読してもらい、わたしたちが死んだ後で霊に何が起こるかについてアルマが息子のコリアントンに教えた事柄を探してもらいます。（アルマが「外の暗闇」という句を使ったとき、アルマがサタンと罰の定めを受けた人々の最後の状態を指していたのではないことを指摘するとよいかもしれません。その代わりに、アルマは邪悪な人々の死と復活の間の状態を指していました。通常、わたしたちはこの状態を霊の獄と呼びます。）

- 死後における義にかなう人々の状態と、邪悪な人々の状態との違いは何ですか。（使う言葉は異なるかも知れませんが、生徒が次の原則を見いだすようにしてください。死と復活の間、義にかなう人々の霊はパラダイスに住み、邪悪な人々の霊は霊の獄に住む。）
- 現世での行為が、わたしたちの死後に影響することを理解することが大切であるのはなぜですか。

2ニーファイ9：12-13；モーサヤ15：21-26；16：6-11；アルマ11：40-45；40：4-5，19-24

霊は復活の時に肉体に回復される

アビナダイがノア王と彼の祭司たちに教えたとき、死後わたしたちに何が起こるかをアビナダイが説明したことを生徒たちに思い出してもらいます。アビナ

ダイが教えた教義は、霊界で時間を過ごした後わたしたちに何が起こるか、つまりパラダイスと霊の獄のどちらになるかを説明します。一人の生徒にモーサヤ16：6－11を声に出して読んでもらい、他の生徒にはアビナダイが教えた事柄を探してもらいます。

- アビナダイは、わたしたちが霊界で時間を過ごした後、何が起こると教えましたか。（以下の真理を強調してください。イエス・キリストは死の縄目を断ち切られたため、わたしたちはそれぞれ復活し、不死不滅の体を得る。義にかなう人は永遠の幸福を受け継ぎ、邪悪な人は永遠の罪に定められる。）

生徒たちに、モルモン書の多くの預言者が復活について証し、それがどのような状態になるかを説明したことを伝えます。ホワイトボードに次の聖句を書き（要約は書きません）、それぞれの生徒が一つの節を読むように割り当てます。全ての節が割り当てられるようにしてください。生徒たちに、これらの節を黙読し、復活についてさらに詳しい事実を見つけてもらいます。

2ニーファイ9：12－13（義にかなう霊たちはパラダイスに解き放たれ、邪悪な霊は霊の獄に解き放たれる。霊は体に回復され、不死不滅の人となる。）

モーサヤ15：21－26（義にかなう人たち、および無知のまま死んだ人々と子供たちは第一の復活にあずかる。邪悪な人々は第一の復活にあずかることができない。）

アルマ11：40－45（邪悪な人と義にかなう人を含む全ての人々は、霊と体が完全な形で再び結合され、それぞれの行いに応じて裁かれるために神の前に立つ。）

アルマ40：4－5, 19－24（死と復活の間には、霊が霊界に行く時期がある。その後、全ての人々の霊がそれぞれの完全な体に回復され、裁かれるために神の前に立つように定められた時が来る。）

生徒たちが、それぞれ割り当てられた節から復活について学んだ事柄を説明する時間を取ります。ホワイトボードの対応する節の横に、生徒たちの考えを幾つか書いてもよいでしょう。必要に応じて、これらの節に対する生徒の理解を深めるため、次のような質問を一つ、または幾つか尋ねます。

- これらの真理は、復活が真実であり、天の御父の計画の重要な一部であるという信仰をどのように強めますか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老による次の言葉を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには、復活についての証が現世でどのようにわたしたちを祝福するかについて聞き取ってもらいます。



「父なる神が『その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生まれさせて生ける望みをいだかせ』られた事実について、使徒ペテロが触れたのはなぜかが分かります（1ペテロ1：3参照。1テサロニケ4：13－18も参照）。

復活によって得る『生ける望み』とは、死がわたしたちの存在の終わりではなく、単に死すべき状態から不死不滅へと移行するうえで必須の段階であるという確信です。この移行は神が定められたものです。この望みは、この世に対する見方を全面的に変えるものです。……

復活への確信はわたしたちに力と広い視野を与え、わたしたち自身や家族が先天的、後天的を問わず抱える肉体的、精神的、情緒的障害などのこの世での試練に耐える力を与えてくれます。そうした障害は復活までのほんの一時的なものであることが分かるからです。

復活への確信は、この世での生涯において神の戒めを守るための力強い動機づけになります。……

不死不滅の状態に復活するという確かな知識は自分自身の死と向き合う勇気をも与えてくれます。予期しない死でもそうです。……

不死不滅への確信は愛する者との別離に耐える力をも与えてくれます。わたしたちは復活を確実にしてくださった神をほめたたえるべきです。この世での別離をつかの間のものとし、悲しみを乗り越えていく希望と力を与えてくれるからです。」（「復活」『リアホナ』2000年7月号、18－19）

- 復活への確信が、より義にかなった生活をするための力、または動機となったのはどのようなときでしたか。

復活の真実性についてあなたの証を分かち合います。

アルマ5：15－21；7：21－25；41：2－6

最後の裁きに備える

アルマがゼラヘムラの教会員に対して、神の前で自分自身が裁かれることを想像するよう人々に求めることによって、最後の裁きのための備えをするよう勧めたことを説明します。数人の生徒にアルマ5：15－21を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、アルマが聴衆に考えるよう勧めた事柄を見つけてもらいます。

- あなたにとって最も意味深いアルマの質問はどれですか。
- 21節にあるアルマの証からは、救われるためにしなければならないことについて、どのような原則を学びますか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。わたしたちは、イエス・キリストの贖いの血によって洗い清められなければならないことができない。）

生徒たちがこの原則をより良く理解できるようにするため、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の次の言葉を見せ、一人の生徒にそれを声に出して読んでもらいます。



「現時点で、末日聖徒の間においてさえも、悔い改めを叫ぶこと以上に大切な、あるいは必要なことをわたしは知りません。贖い主の言葉に耳を傾けるよう、わたしは教会員でない人々だけではなく、聖徒たちにも呼びかけます。さて、清くない者は決して主のもとに行くことができないと、主ははっきりと言っておられます。主のもとに行けるのは、忠実であることを証明し、信仰と悔い改めによって主の血により衣を洗われた者だけであって、他には誰も神の王国をみいだすことはありません。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・フィールディング・スミス』 82）

生徒たちにアルマ7：21－25を黙読してもらい、わたしたちの衣を染みのない状態にするために、養うべき特質を見つけて印を付けてもらいます。

- これらの節から、わたしたちが主によって裁かれる準備をするときに養うことが必要不可欠などのような属性または特質を見つけましたか。

それぞれの行為と心の中の望みが、最後の裁きにおいて神にまみえるための準備となっているかどうかを考えるよう生徒たちに勧めます。最後の裁きの日を喜びの日とするため、どのようなことであれ必要な変化を遂げるように生徒たちを励まします。

生徒用資料

- 2ニーファイ9：12－13；モーサヤ15：21－26；16：6－11；アルマ5：15－21；7：21－25；11：40－45；16：6－11；34：32－34；40：4－7，11－14，19－24；41：2－6
- ダリン・H・オークス「復活」『リアホナ』2000年7月号，16－19

第19課

信教の自由を守る

はじめに

信教の自由とは、他の人たちの権利を尊重しながらも、自分たちの選択に応じて信じ行動する、つまり自分の本質を見極めて、自分の良心に従った方法で生活するための神聖な特権です（教義と聖約134：4参照）。このレッスンで生徒たちは、個人およびグ

ループが神の教会を覆し、信教の権利と自由を攻撃しようとしたモルモン書の記述について学びます。生徒たちには、今日も信教の自由が守られ、保たれることが必要であることを思い起こしてもらいます。

背景となる読み物

- ロバート・D・ヘイルズ「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」『リアホナ』2015年5月号、111–113
- ダリン・H・オークス「真理と寛容のバランスを取る」『リアホナ』2013年2月号、29–35
- “Why We Need Religious Freedom,” mormonnewsroom.org/article/why-religious-freedom
- “An Introduction to Religious Freedom,” mormonnewsroom.org/article/introduction-religious-freedom

教えるための提案

モーサヤ29：10–11、16–18、25–26、32；アルマ30：7–9

自由意志と信教の自由の重要さ

この世に来る前、わたしたちが天上の会議に参加したことを生徒たちに思い出してもらいます。生徒たちに、この会議の主な目的と結果を幾つか挙げてもらいます。エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）の次の言葉を見せ、声に出して読みます。



「前世の会議における論点の中心は、『神の子供たちは、善であろうと悪であろうと自分が歩む道を選ぶ、拘束されることのない選択の自由を持つべきか、それとも、従順であるように強制され強要されるべきか』というものでした。キリストとキリストに従う全ての者は、最初の案、すなわち選択の自由を支持しました。サタンは後者、すなわち強制と強要を支持したのです。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』55）

「聖文は、天で大きな戦い、すなわち自由の原則、選択の権利に関する争いがあったことを明らかにしています。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』56）

「このことに関して天で始まった戦いはまだ終わっていません。その対立は死すべき世の戦場で続いているのです。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』56）

- 自由と選択に関する前世の争いが現世でも続いていることについて、どのような証拠を見たことがありますか。
- サタンはなぜ自由を損なおうとするのでしょうか。

生徒たちが答えるときに、デビッド・O・マッケイ大管長（1873—1970年）による次の言葉を分ち合ってもよいでしょう。



「神が人に与えられた最も偉大な賜物は命ですが、それに次ぐ賜物はその命を管理する権利です。」（『歴代大管長の教え—デビッド・O・マッケイ』207）

リーハイが約束の地に到着した後、ニーファイ人が何世紀もの間、王たちに統治されていたことを生徒たちに思い出してもらいます。しかし、モーサヤ王は、新しい政治体制を提案しました。生徒たちにモーサヤ29：10—11, 16—18, 25—26を研究し、モーサヤが新しい政治体制を提案した理由を探してもらいます。

- モーサヤ王は、新しい政治体制を導入することを望む理由が何であると言いましたか。

さばきつかさの体制は、ニーファイ人の地域社会に自由を保つために適切かつ必要であったことを生徒たちに説明します。他の地域社会も、それらの政府のシステムは異なる方法で組織されてはいましたが、同様に自由の確立と保持を求めました。一人の生徒にモーサヤ29：32を声に出して読んでもらい、他の生徒にはモーサヤが民の自由を保ちたかった理由を探してもらいます。

- ニーファイ人の自由を保つことが必要であったのはなぜですか。
- わたしたちの権利と特権を保てるようにする責任を持つのは誰ですか。そのような保護はどのように達成できるのでしょうか。

個人の自由を行使することは、地域の法律に従うという原則よりも優先されるべきではないことを説明します。

生徒たちに、アルマ30：7—9を読んで、新しいニーファイ人の政府によって保証された権利の一つを見つけてもらいます。

この節が、神への信仰または無信仰に基づいて他人を差別することを主が禁じておられることを示していると説明してもよいでしょう（教義と聖約134：4も参照）。

- 信教の自由を守ることは、どのように社会の利益となりますか。

生徒たちがこの質問に答えられるよう、一人の生徒に次の記事を読んでもらいます。

「信教の自由、または良心の自由は、多様社会の健全性に必要不可欠です。これにより、異なる信仰と信念の発展が可能になります。信教の自由は、宗教的であるかどうかにかかわらず、最も弱い立場の人たちを含む、全てのグループと個人の権利を保護するのです。」（“Religious Freedom,” mormonnewsroom.org/official-statement/religious-freedom）

生徒たちが信教の自由の基本的要素を理解することができるように、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老による次の言葉を見せて、それを一人の生徒に読んでもらいます。



「わたしたちには末日聖徒として頼り、守るべき信教の自由の四つの隅石があります。

第1の隅石は、信じる自由です。……

信教の自由の第2の隅石は、自分の信仰や信条を人に伝える自由です。……

信教の自由の第3の隅石は、宗教団体や教会を結成する自由と、他の人々と争うことなく礼拝する自由です。……

信教の自由の第4の隅石は、信仰に生きる自由、つまり家庭や礼拝所だけでなく公の場でも信仰を行使する自由です。」（「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」『リアホナ』2015年5月号, 112）

次の文をホワイトボードに書いて、これら4つの隅石を要約します。

信じる、共有する、組織する、そして生きる自由。

- これら4つの隅石のいずれかを制限することは、霊的な成長においてどのような妨げとなりますか。
- あなたの人生は、これらの信教の自由の要素によって、どのような影響を受けましたか。

アルマ2：1－10, 12, 27－28；44：1－5；46：4－5, 10－16, 19－22

信教の自由を保つ

ホワイトボードに次の参照聖句を書き、これらの節には信教の自由に対する脅威の例が記載されていることを説明します。

アルマ2：1-4

アルマ46：4-5, 10

クラスの半分に最初の節を、残りの半分に2番目の節を研究するよう割り当てます。生徒たちに、信教の自由を脅かす人々の目的を見つけてもらいます。

- これらの節によると、アムリサイとアマリキヤの目的は何でしたか。
- 信教の自由を失うことは、これらの記述にある地域社会にどのように影響しましたか。

ホワイトボードの参照聖句に次の太字の部分を書き加えます。

アルマ2：1-4, 5-10, 12, 27-28

アルマ46：4-5, 10, 11-16, 19-22

読んだ節に書き加えられたこれらの節を生徒たちに読んでもらい、義にかなった人たちが信教の自由を守るために何をしたか見つけてもらいます。

- これらの節からは、信教の自由を保つことの重要性についてどのような真理を学ぶことができますか。（生徒が次の真理を見いだすようにしてください。**家族、信教、および自由を守るのはわたしたちの義務である。わたしたちが神を呼び求め、神の戒めを守る聖約を交わすとき、神はわたしたちを権利と信教を守るために強めてくださる。**）

時間があれば、クラスでアルマ44：1-5を読んで、ニーファイ人の信仰がゼラヘムナとレーマン人に対してニーファイ人をどのように強めたかについて話し合ってもよいでしょう。

- モルモン書では、迫害および戦争によって信教の自由がしばしば脅かされました。今日、個人やグループが信教の自由を脅かしている例にはどのようなものがありますか。

この質問に答えるのに助けが必要な場合は、米国において信教の自由がますます脅威にさらされていることに関する次の声明を読みます。この声明は特に米国内における問題を扱っていますが、他の多くの国々が信教の自由に対する同様の問題に直面していることを指摘します。（注—この記事は、一部の信教の自由がどのように批判されているかについての例を提供するためにのみ使用してください。これが同性愛者の権利やその他の政治的問題の話し合いにならないようにしてください。）

「信教の自由に対する批判が多くのところから持ち上がっています。同性愛者の権利の擁護の高まりは、さまざまな形で信教の自由を制限する脅威となっています。ヘルスケアにおける変化も、人命に関する道徳的信条を持つ人々の権利を脅かします。これらやその他の変化は、対立を生み、宗教団体と良心ある人々に難題を課

し始めています。それらは、宗教団体がそれぞれの雇用と資産をどのように管理できるかを制限しようと……脅かしています。また、宗教団体の附属大学、学校、社会福祉組織を抑圧しつつあります。……このような、また、その他多くの状況下において、信教の自由と良心の自由が少しずつ、しかし着実に蝕まれている様子が分かります。」（“An Introduction to Religious Freedom,” mormonnewsroom.org/article/introduction-religious-freedom）

教会では、全ての人々が公平であることを提唱していると指摘します。信仰箇条第11条に従って、わたしたちは信教の自由における権利を、他の人々の権利と関心も尊重する公平かつバランスの取れた方法で主張しなければなりません

（“Mormon Leaders Call for Laws That Protect Religious Freedom,”

mormonnewsroom.org/article/

church-news-conference-on-religious-freedom-and-nondiscrimination参照）。

一人の生徒に、預言者ジョセフ・F・スミス（1805–1844年）の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「もしこれまで『モルモン』のために進んで命を差し出すことが証明されてきたとするなら、わたしは自分が長老派、バプテスト、あるいは他の宗教の善良な人の権利を守るためにも同じように命を差し出す用意ができていることを、天の前にあえて宣言します。末日聖徒の権利を踏みにじる考え方は、ローマカトリックや、あるいは信者が少なく、自分たちを守る力を持たない宗教の権利をも踏みにじるものです。

わたしの心を鼓舞するのは、自由を愛する思いです。すなわち全人類が民事上と宗教上の自由を得ることです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』345）

- 末日聖徒だけではなく、全ての人々の信教の自由を保護することが大切なのはなぜですか。（そのような保護は、他の人々が神の計画に従って自由意志を使い、平和で公正な社会を促進することを可能にする。自分の宗教的信条が守られ、尊重されることを望むならば、他の人たちの信条をも守り、尊重しなくてはならない。）
- 信教の自由を保ち、強めるために実行することができる適切な行動には何がありますか。

この質問に答える助けとなるよう、一人の生徒にロバート・D・ヘイルズ長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「兄弟姉妹、わたしたちにはこれらの神聖な自由と権利をわたしたち自身と子孫のために守る責任があります。では、わたしたちに何ができるでしょうか。

まず、情報を得ることができます。信教の自由に影響を与える可能性のある地域社会の問題に注意を払いましょう。

第2に、個々の立場で、同じように信教の自由に関心を寄せる人々と手を取り合っ
て、信教の自由を守るために一緒に働きましょう。

第3に、言葉と行いにおいて、自分の信条の模範となる生活を送ってください。宗
教について語るよりも、その教えに沿って生活する方がはるかに重要で
す。」（「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」113）

- あなたの地域では信教の自由に影響する問題をどのように認識することができますか。
- あなたの地域で信教の自由に対する決意を共有するグループは他にありますか。
- 信教の自由を促進するために何をしましたことがありますか、または他の人がそのために何をしているのを見たことがありますか。

mormonnewsroom.orgで信教の自由についてのリソースを利用できることを生徒に伝えます。信教の自由を促進し、守るには何ができるかを考えるよう生徒たちに勧め、その取り組みにおいて天の御父が彼らを導いてくださることを証します。

生徒用資料

- モーサヤ29：10–11, 16–18, 25–26, 32；アルマ2：1–10, 12, 27–28；30：7–9；44：1–5；46：4–5, 10–16, 20–22
- ロバート・D・ヘイルズ「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」『リアホナ』2015年5月号, 111–113

第20課

信仰と証を強める

はじめに

イエス・キリストとキリストの福音に対する信仰は、神の子供たちに力と霊的な保護をもたらします。モルモン書は、人が不信仰に陥ることに陥りやすい態度や行動を描写しています。モルモン書の預

言者たちは、これらの行動や態度について警告し、わたしたちの信仰と証を養い強める福音の原則を教えました。

背景となる読み物

- ニール・L・アンダーセン「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号, 18–21
- L・ホイットニー・クレートン「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号, 36–39
- ラリー・S・ケーチャー「神聖なものを軽んじないようにしなさい」『リアホナ』2014年11月号, 104–106

教えるための提案

2ニーファイ1：10–11；9：28；モーサヤ2：36–37；26：1–4；アルマ12：9–11；31：8–11；46：7–8；ヒラマン4：11–13；13：24–26；モルモン9：7–8

信仰と証を弱らせる態度と行動

次の質問を見せて、生徒たちに簡単に答えてもらいます。

- 福音の祝福を経験した人達が、彼らの信仰と証を失ってしまうことがあるのはなぜですか。

預言者リーハイは、彼の子孫がいつかイエス・キリストとキリストの福音に対する信仰を失うと警告したことを生徒たちに思い出してもらいます。一人の生徒に2ニーファイ1：10–11を声に出して読んでもらい、他の生徒には不信仰が最終的にリーハイの子孫に及ぼした影響を見つけてもらいます。（「不信仰に陥る」という句が、不信仰のために霊的に墮落することを意味すると説明するとよいかもしれません。）

- 不信仰は、リーハイの子孫に対して最終的にどのように影響しましたか。

ニーファイの文明の破滅につながった要因は多くありますが、ニーファイ人の衰退の根本的な原因は、彼らがイエス・キリストとキリストの福音に対する信仰を失ったことにありました。このため、モルモン書の著者は、主への信仰を弱める行動や態度について繰り返し警告し、どのように証を育て、強めるかを継続的に教えました。

一人の生徒にモーサヤ26：1–4を声に出して読んでもらい、他の生徒たちにはモーサヤ王の統治下で一部の人々の信仰をむしばんだ態度と行動を見つけるよう勧めます。

生徒たちに、真理を信じ、それに基づいて行動することを選択しなかった人々に何が起るかについて、これらの節で教えられている原則を見つけてもらいます。生徒は次のような原則を見つけるでしょう。人が、教えられた真理を信じず、それに基づいて行動しないことを選択すると、彼らの心はかたくなになり、信仰と証の祝福を受けられなくなる。

- 人が、教えられた真理を信じず、それに基づいて行動しないことを選択するときに、彼らの心が御霊に対してかたくなになるのはなぜだと思いますか。

生徒たちがこれ以外にも信仰と証を失うことにつながる態度と行動を見つけられるように、次の聖句をホワイトボードに書きます。それぞれの生徒に一つ、または二つの節を読むように割り当てます。全ての節が割り当てられるようにしてください。生徒たちに、人が信仰と証を失うことにつながる態度または行動について割り当てられた節を調べてもらいます。

2ニーファイ9：28

モーサヤ2：36-37

アルマ12：9-11

アルマ31：8-11

アルマ46：7-8

ヒラマン4：11-13

ヒラマン13：24-26

モルモン9：7-8

十分に時間を取ってから、生徒たちに見つけた態度または行動を発表してもらい、それらがどのように信仰と証を弱めるかを説明してもらいます。ホワイトボードの対応する節の横に、生徒たちの答えを要約します。

- これらの態度または行動の中で、今日の教会のヤングアダルト会員にとって最も危険なものはどれだと思いますか。それはなぜですか。

生徒たちにホワイトボードに挙げられた答えの中から一つの態度または行動を選んでもらい、それらから自分自身を守るためにできる事柄を説明してもらいます。

しばらく時間を取って、どの態度または行動が自分自身の信仰と証を脅かしたことがあるか、そして自分自身を強めるには何ができるかを生徒たちに深く考えてもらいます。

2ニーファイ28：21-23；モルモン5：16-18

信仰と証を失うことによる結果

預言者モルモンがニーファイ人の軍隊を率いたとき、モルモンが彼の民の邪悪かつ望みのない状態に気づいたことがあったのを生徒に思い出してもらいま

す。生徒たちにモルモン5：16－18を調べて、民の靈的な状態に関するモルモンの説明を探してもらいます。

- 「世の中でキリストも神もなく」生きるとはどういう意味だと思いますか。
- モルモンの言葉から、主への信仰を失い、悔い改めを拒む人について、どのような原則を学ぶことができますか。（使う言葉は異なるかも知れませんが、生徒が次の原則を見いだすようにしてください。**信仰を失い、悔い改めを拒む状態に自分を置いてしまうと、御霊はわたしたちから去り、主の導きを失ってしまう。**）
- 18節によると、モルモンは主の導きを失うことによる影響はどのようなものだと警告していますか。

ニーファイは、聖霊を失い、悪魔に捕らわれてしまうプロセスは、通常ゆっくりと段階的であると教えています。数人の生徒に2ニーファイ28：21－23を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には靈的にだんだん弱くなっていく様子を説明している言葉を見つけてもらいます。

- ニーファイは、人の靈的な退歩につながるものとしてどのような態度を挙げましたか。
- これらの態度がわたしたちの信仰に対して特に危険であるのはなぜだと思いますか。

一人の生徒に、大管長会のヘンリー・B・アイリング管長の次の話を声に出して読んでもらいます。



「わたしたちが従順になるときに、真理が少しずつ与えられ、光がゆっくりと輝きを増していくのと同じように、わたしたちが背くときも、真理への証はほとんど気がつかないほど少しずつ弱くなり、非常にゆっくりと暗闇に覆われていくため、高慢な人なら何も変わっていないと簡単に否定できてしまうでしょう。

教会から少しずつ離れていった人が豪語するのを聞いたことがあります。最初は担当していた日曜学校のクラスを教えるのをやめてしまいました。次に教会に来なくなり、什分の一の支払いを時々忘れるようになりました。……彼は自分の変化に気がつきませんでした。わたしには分かりました。彼の目、そして彼の表情さえも輝きを失いつつありました。彼にはそれが分かりませんでした。神に背くことによる影響の一つは、神とのつながりが絶たれつつあるという感覚を全て遮断してしまうだけに十分な靈的な麻醉が作り出されることだからです。真理に対する証が少しずつむしばまれていっただけでなく、光の中にいることがどのようなものであったかという記憶さえも、彼にとっては妄想であったかのように思え始めたのです。」（“A Life Founded in Light and Truth”〔ブリガム・ヤング大学ディボーションナル、2000年8月15日〕 speeches.byu.edu）

- 人が信仰と証を失い始めるときにはどのような兆候があると思いますか。

1ニーファイ15：7-11；2ニーファイ25：28-29；モーサヤ4：11-12；15：11；ヒラマン15：7-8

信仰と証を強める

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の次の言葉を見せて、一人の生徒にそれを声に出して読んでもらいます。



「自然界では、風の強い環境で育つ樹木は、より強くなります。若木が風に当たると、木の内にある力が二つのことを行います。第1に、根を刺激して、より早く、より遠くに伸びるようにします。第2に、幹や枝をさらに太くして、風の力に負けないしなやかさを増すような細胞構造を作り始めます。こうして一層強くなった根と枝が、必ず度々吹いてくる風から木を守るのです。

皆さんは神にとって樹木よりはるかに貴重な存在です。神の息子娘なのです。神は皆さんの霊を、人生の嵐にめげない強い霊として創造されたのです。若木が風に当たるように、若い時に嵐に遭うことにより、皆さんの霊的な強さが増し、将来に備えることができるのです。」（「霊を滅ぼす嵐」『リアホナ』2014年5月号，18）

- 霊的な力を得て、わたしたちの信仰や証への試しに耐えるには、何ができるでしょうか。

モルモン書には、より強い信仰とより強い証を求める人々を導くことができる福音の原則が含まれていることを生徒たちに思い出してもらいます。

一人の生徒に2ニーファイ25：28-29を声に出して読んでもらい、これらの節が、ニーファイが彼の民に救われる方法について説いた力強い説教を要約していることを説明します。クラスの生徒たちに、ニーファイが人生の中で行う決断で最も重要であると教えたのは何であったかを探してもらいます。

- 人生の中で最も重要な決断であるとニーファイが教えた決断は何ですか。（生徒たちが次の原則を見いだすように助けてください。イエス・キリストを信じ、勢力と思いと力を尽くしてイエス・キリストを拝するならば、霊的な強さを維持し、追い出されることがない。）

七十人のL・ホイットニー・クレートン長老の次の言葉を見せて、一人の生徒に読んでもらいます。



「各時代の預言者たちは、わたしたちにキリストを信じるように励まし、さらに懇願してきました。……信じることを決断することは、わたしたちが行う決断で最も重要な決断です。その決断はわたしたちのその他の決断を形作ります。……

「信じること、証、および信仰は受動的な原則ではありません。これらは何の努力もなしにわたしたちに生じることはありません。信じることはわたしたちが選ぶものなのです。つまり、それを望み、そのために努力し、犠牲を払うのです。わたしたちが偶然祈ったり什分の一を支払ったりしないのと同様、わたしたちは偶然救い主や主の福音を信じるようになることはありません。

せん。ちょうど戒めを守ることを選ぶように、わたしたちは積極的に信じることを選ぶのです。」（「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号, 38）

- 「信じること、証、および信仰は受動的な原則ではありません」とはどういう意味だと思いますか。
- 福音の原則に従って生活しようと努力することが、信仰と証を強めるための最もよい方法であるのはなぜだと思いますか。

生徒たちが、信仰と証を強める努力をするための方法の幾つかを見つけることができるように、次の節をホワイトボードに書いて、生徒それぞれに少なくとも一つの節を黙読してもらいます。生徒たちに、イエス・キリストとキリストの福音に対するわたしたちの信仰を強める助けとなる原則を見つけてもらいます。

1ニーファイ15：7-11

モーサヤ4：11-12

モーサヤ15：11

ヒラマン15：7-8

これらの節から生徒たちが見つけた深い洞察を分かち合ってもらいます。どのようにこれらの原則、または他の原則を生活の中で生かし、イエス・キリストとキリストの福音に対するより強い証で祝福されたかについて生徒たちに証してもらってもよいでしょう。主への信仰を強めるために必要な努力を払うよう生徒たちを励まします。

生徒用資料

- 1ニーファイ15：7-11；2ニーファイ1：10-11；9：28；25：28-29；28：21-23；モーサヤ2：36-37；4：11-12；15：11；26：1-4；アルマ12：9-11；アルマ31：8-11；46：7-8；ヒラマン4：11-13；13：24-26；15：7-8；モルモン5：16-18；9：7-8
- L・ホイットニー・クレートン「信じることを選ぶ」『リアホナ』2015年5月号, 36-39

第21課

イエス・キリストの再臨

はじめに

イエス・キリストのアメリカ大陸への訪問に関連する状況と出来事は、キリストの再臨のひな型としての役割を果たします。このレッスンは、生徒たちがキリストが再臨される「大いなる恐るべき日」（3

ニーファイ25：5）によりよく備えるために、モルモン書からの原則を応用するための助けとなります。

背景となる読み物

- ダリン・H・オークス「再臨への備え」『リアホナ』2004年5月号、7–10
- ジェフリー・R・ホランド，“Preparing for the Second Coming,” *New Era*, 2013年12月号、2–5

教えるための提案

ヒラマン14：20–30；16：1–5；3ニーファイ9：1–5，12–14；10：12

わたしたちが主の再臨を信じて備えるために与えられたしるし

人生の中で、準備をする必要があった出来事や活動の例を生徒たちに挙げてもらいます（例：伝道）。その後、次の質問をします。

- 準備しておくことにより、全体的な経験にどのような違いが生じましたか。
- 準備しておかなかったとしたら、あなたの経験はどのように変わったと思いますか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、モルモン書が何の準備の助けとなるとベンソン大管長が教えたかを聞き取ってもらいます。



「例えばモルモン書を読めば、主の再臨に備える方法が分かります。この書物はキリストがアメリカに来られる前の数十年間の記述に多くの部分を割いています。その時代のことを注意深く研究すると、主の来臨に先立つ恐ろしい裁きの場で、ある人々は滅ぼされ、別の人々はバウンティフルの地の神殿で主の手足の傷に触れることができたのはなぜかが分かります。」（『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』131）

- ベンソン大管長によると、イエス・キリストがアメリカ大陸の民を訪問したことにするモルモン書の記述を注意深く研究する必要があるのはなぜ

ですか。（生徒たちが、イエス・キリストのアメリカ大陸への訪問に関連する出来事についてのモルモン書の記述を研究することにより、再臨のために準備するためのひな型を学ぶことができることを理解するようにしてください。）

救い主のアメリカ大陸への訪問についての記述を研究するとき、生徒には再臨のための準備に役立つ原則と教義を探してもらいます。

救い主の降誕に先立って、レーマン人のサムエルが救い主の誕生と死に伴うしるしについて預言していたことを生徒に思い出してもらいます。生徒たちにヒラマン14：20–27をざっと読んでもらい、キリストの死のしるしを見つけてもらいます。

- サムエルがニーファイ人にイエス・キリストの死に伴うと言ったしるしを挙げてください。

クラスの半分にヒラマン14：28–30を、他の半分にはヒラマン16：4–5を読んでももらいます。これらのしるしがニーファイ人に与えられる理由を探してもらいます。生徒たちに「またこれは……ためである」という句がある箇所特に注意するよう言ってもよいでしょう。

- これらの節によると、主はなぜしるしをお与えになったのですか。（生徒たちが次の原則を見いだせるように助けてください。主は、わたしたちが主を信じ、救われるように、しるしと不思議をお与えになる。この教義をホワイトボードに書くとよいでしょう。）
- ヒラマン14：29には、しるしと不思議を信じない者に何が起こると書かれていますか。（義の裁きが下る。）

第三ニーファイにある記述では、救い主の死を予告する破滅を含む、約束されたしるしと不思議が成就され始めたことを説明します。数人の生徒に3ニーファイ9：1–5、12–14；10：12を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒にはサムエルとニーファイのメッセージを信じた人たち、およびそれらを信じなかった人たちに何が起こったかを見つけてもらいます。

- これらの節によると、一部の人たちが滅ぼされたのはなぜですか。一部の人が助かったのはなぜですか。

今日イエス・キリストに従う者は、キリストの再臨に先立つしるしに注意するよう教えられていることを指摘します。預言者たちが預言した再臨のしるしを理解して認識することは、今日の教会員が主の来臨によりよく備えるためにどのような助けとなるかを生徒たちに話し合ってもらいます。

3ニーファイ11：1–17

救い主にまみえるために備える

ニーファイ人に御姿を現されるイエス・キリストの絵を見せます。生徒たちが救い主のニーファイ人への訪問についての記述を研究するとき、主の死についてのしるしを信じ、主の来臨のために備えた人たちが受けた祝福を見つけるように勧めます。

数人の生徒に3ニーファイ11：1–12を順番に声に出して読んでもらいます。

- 主の来臨に約束されたしるしに対する信仰は、この経験に対して人々をどのように備えましたか。
- これらの節は、わたしたち自身が備える必要があることをどのように思い起こさせますか。

数人の生徒に3ニーファイ11：13-17を順番に声に出して読んでもらい、このときにその場にいたとしたら、どのような気持ちでしたかを想像してもらいます。

- この経験は、主イエス・キリストがわたしたちそれぞれに望まれていることをどのように表していますか。（答えには次の真理が反映されているようにしてください。イエス・キリストは、キリストのもとに来て、キリストが地球全体の神であることを証するよう全ての人を招かれる。）
- これらの出来事は、イエスの再臨に起こる事柄とどのような類似点がありますか。
- いつの日か救い主の前に立つための準備を整えておくために救い主の招きに従うには何ができますか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老による次の言葉を見せて、レッスンを終わります。



「主の再臨が明日だったらどうですか。早すぎる死や、予期せぬ主の再臨によって、明日主にお会いすると分かったら、わたしたちは今日何をしますでしょうか。何を告白するでしょうか。どんな習慣を断つでしょうか。どのような問題を解決するでしょうか。どのような赦しの手を差し伸べるでしょうか。どのような証をするでしょうか。」

主の再臨のときにそうするのであれば、なぜ今しないのでしょうか。得られるときに、平安を求めないのはなぜでしょうか。」（「再臨への備え」『リアホナ』2004年5月号、9-10参照）

- 主の来臨が明日であるかのように自分自身を備えることが大切なのはなぜですか。

主にまみえるために備えるときに、御霊の促しを求め、それに応えるように生徒たちに言います。

生徒用資料

- ヒラマン14：20-30；16：1-5；3ニーファイ9：1-5，12-14；10：12；11：1-17
- ダリン・H・オークス「再臨への備え」『リアホナ』2004年5月号、7-10

第22課

「わたしのようであらなければならない」

はじめに

復活されたイエス・キリストは、キリストの模範に従うよう弟子たちを招かれました。わたしたちは、バウンティフルの神殿でキリストがニーファイ人にお教えになった原則を研究することによって、キリストのようになる方法を学ぶことができます。救い

主は、主を信じる全ての人々が主と天の御父と一つになることを経験できるよう祈られました。このレッスンは、さらにイエス・キリストのようになるためにできる事柄を生徒たちが理解するように構成されています。

背景となる読み物

- ヘンリー・B・アイリング「わたしたちの完全な模範」『リアホナ』2009年11月号, 70-73
- リン・G・ロビンズ「あなたがたはどのような人物であるべきか」『リアホナ』2011年5月号, 103-105

教えるための提案

3ニーファイ27：21-22, 27

イエス・キリストのようになる

クラスを始めるに当たり、七十人定員会会長会のリン・G・ロビンズ長老による次の言葉をクラスに見せて、一人の生徒にそれを声に出して読んでもらいます。



「なすべきことのリストを作って達成したいことを忘れないようにする人は多いのですが、身に付けるべき性質のリストを持っている人はめったにいません。どうしてでしょうか。なすべきことはその活動や行事が終わればチェックを入れることができます。しかし性質のリストはこれで終わりということがありません。終わったというチェックマークが入らないのです。わたしは今週金曜日の夜に妻を外に連れ出して楽しませることができました。これは善い行いですが、一度何かをすれば良い夫になれるというわけではありません。性質、人格、ひととなりを変える必要があります。」（「あなたがたはどのような人物であるべきか」『リアホナ』2011年5月号, 104）

- 主は、わたしたちが主の教会の会員としてどのようになることを望まれていると思いますか。

生徒たちに3ニーファイ27：21-22, 27を黙読し、イエス・キリストがニーファイ人の弟子たちにお与えになった指示を探してもらいます。

- 救い主は、弟子たちに何を言い、どのようになるよう命じられましたか。
（ホワイトボードに次の真理を書いてください。主は、弟子たちに主の業を行い、主のようになるよう命じられる。）
- どうすればさらに救い主のようになることができますか。
- 主の業で、あなたが実行できたことには何がありますか。

モルモン書の教えが、どのようにイエス・キリストのようになるための助けとなるかを生徒たちに話し合ってもらいます。ホワイトボードに生徒の答えを書いてもよいでしょう。モルモン書を研究し、その教えを応用することが救い主のようになるための助けとなることを証します。

3ニーファイ12：1－16, 43－45；13：1, 5－7, 16－18, 22－24, 33；14：1－5, 21－27

キリストのようになる方法を教えるバウンティフルの神殿でのキリストの説教

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「キリストの模範に忠実に従って生きる人こそ、偉大な人であり、最高の祝福と喜びを受ける人です。それはこの世的な富、権力、名声などとは無縁のものです。人間の偉大さや喜びを測る唯一の正しい尺度は、どれだけ主イエス・キリストに近づくことができるかということです。イエス・キリストは正しい道を示し、また完全な真理、豊かな命を持っておられる御方です。」（「イエス・キリスト—賜物とわたしたちへの期待」『聖徒の道』1987年12月号, 3）

- ベンソン大管長によると、わたしたちがイエス・キリストを人生のひな型とすることによって何が起こりますか。

復活された救い主がバウンティフルの神殿で主の民に御姿を現されたとき、主が聖書にある山上の垂訓と似た説教をされたことを生徒たちに思い出してもらいます。山上の垂訓、およびバウンティフルの神殿で救い主がお教えになった神聖な原則は、わたしたちが主のようになることを助けるためのものです。

ハロルド・B・リー大管長（1899－1973年）の次の言葉を見せます。必要に応じて、青写真という言葉が建物の建築に使用される計画を指すことを説明します。



「主は山上の垂訓において、御自身の完全な属性について幾らかの啓示をわたしたちと与え、……そうすることによってわたしたち自身の生活の青写真を与えてくださったのです。」（『歴代大管長の教え—ハロルド・B・リー』206）

ホワイトボードに次の聖句の参照箇所を書いてください。

3ニーファイ12：1-12

3ニーファイ12：13-16, 43-45

3ニーファイ13：1, 5-7, 16-18

3ニーファイ13：22-24, 33

3ニーファイ14：1-5

3ニーファイ14：21-27

生徒たちにこれらのうち一つの節を読んでもらい、さらにイエス・キリストのようになる助けとなる原則を見つけてもらいます。それぞれの聖典でこれらの原則に印を付けたり、線を引くよう生徒に言ってもよいでしょう。見つけた原則の模範となる人を知っているかどうか考えてもらいます。

十分な時間を取ってから、生徒たちに見つけたことを分かち合ってもらいます。必要に応じて、また御霊の促しを受けた場合は、さらに次のような質問をしてもよいでしょう。

- 絶えずこの原則に従って生活することは、キリストのようになるためのどのような助けとなりますか。
- 見つけた原則の重要性を表す経験をしたことはありますか。それはどのような経験でしたか。

これらの原則の幾つかを生活に組み込むことによって、さらに救い主のようになるための目標を立てるよう生徒たちに言います。

ヨハネ17：9-11, 20-23；3ニーファイ19：19-23, 28-29

御父および御子と一つとなる

イエス・キリストがニーファイ人を訪れたとき、イエスはお選びになった十二使徒、および彼らの言葉を信じる全ての人々のために祈られたことを説明します。一人の生徒に、3ニーファイ19：19-23, 28-29を声に出して読んでもらいます。生徒たちに、イエスを信じる者に授けられるようイエスが祈られた祝福を探してもらいます。

- わたしたちが御父および御子と一つになるための救い主の祈りから学ぶ原則は何ですか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。信仰を通して、わたしたちは清くされ、イエス・キリストが御父と一つであるように、わたしたちもまたイエス・キリストと一つになることができる。）

生徒たちがこの原則をさらに良く理解する助けとするため、バウンティフルの神殿でキリストがささげられた祈りと似た祈りが新訳聖書に記録されていることを説明します。生徒たちにこれらの節とヨハネ17：9-11, 20-23とを相互参照してもらいます。これらの節を黙読し、それらがどのようにわたしたちに当てはまるかを考えてもらいます。

- イエス・キリストがあなたのために天の御父に祈られたことを知るのは、あなたにどのような影響を与えますか。
- 御父と御子の間に存在している一致を、わたしたちはどのような方法で経験することができますか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を読んでもらいます。生徒たちに、イエス・キリストと天の御父と一つになるには何をしなければならないかを探してもらいます。



「イエスは、肉においても霊においても御自分を御父の御心に従わせることによって、御父と完全に一致しておられました。イエスは、弱められたり悩まされたりする心の乱れとはまったく無縁でいらしたので、その生涯は、常に一つのことに焦点が定まっていました。イエスは天の御父に関して触れ、このように語られました。

『わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしている……。』(ヨハネ8：29) ……

確かに、わたしたちは神とキリストの御心と関心事を自分たちの最大の望みとしないかぎり、御二方と一つになることはできません。そのような従順は一日で達成できるものではありません。しかも、もしわたしたちが望むのであれば、御父が主の内におられるように、主がわたしたちの内にもおられると、間違いなく言えるようになるまで、主は聖なる御霊を通してわたしたちを導いてくださいます。」(「彼らをもわたしたちのうちにおらせるため」『リアホナ』2002年11月号, 71-73参照)

- クリストファーソン長老によると、わたしたちは御父と御子と一つになるために何をしなくてはなりませんか。

次の質問をホワイトボードに書き、生徒たちに数分で答えを書いてもらいます。

イエスは、どのような方法でイエスが天の御父の御心に完全に従順であることを示されましたか。

あなたが天の御父の御心により従順になることができる方法には何がありますか。

天の御父の御心に従順になることにより、救い主イエス・キリストのようになることが可能になるという証を述べてレッスンを終わります。

生徒用資料

- ヨハネ17：9-11, 20-23；3ニーファイ12：1-16, 43-45；13：1, 5-7, 16-18, 22-24, 33；14：1-5, 21-27；19：19-23, 28-29；27：21-22, 27
- ヘンリー・B・アイリング「わたしたちの完全な模範」『リアホナ』2009年11月号, 70-73

第23課

イスラエルの散乱と集合

はじめに

主は、イスラエルの人々が主に対して心をかたくなにしたためにイスラエルの家を散らされましたが、彼らが末日に集められることを約束されました。モルモン書にある預言は、長らく約束された集合が始

まったことを明確にしています。教会の会員には、イエス・キリストの福音を分かち合うことによってこの世の家族を祝福する責任があります。

背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号, 79–82
- C・スコット・グロー「モルモン書—散らされたイスラエルを集める道具」『リアホナ』2005年11月号, 33–35

教えるための提案

1ニーファイ22：3–5；2ニーファイ25：15–17；3ニーファイ5：24–26；20：13, 29–31；30：2

イスラエルの家の散乱と集合

教会に改宗した生徒、または教会に加わった人を助けたことがある生徒に、それぞれの経験を分かち合ってもらいます。知っている人の中で、福音のメッセージを聞く意志があるかもしれない人がいないか考えるように勧めます。生徒たちに、今日のレッスンの全体を通じて他の人と福音を分かち合うための努力に対する励ましと助けとなる福音の真理を探るように伝えます。

生徒たちに1ニーファイ22：3–5を読み、ニーファイがイスラエルの家について何を預言したかを見つけてもらいます。

- イスラエルの家が「散らされ〔た〕」とはどういう意味ですか。

イスラエルの家の散乱は、ニーファイの家族がその一部であったために、彼にとって重要なテーマであったことを説明します。彼らは、ユダの地の人々の邪悪のために、エルサレムからアメリカ大陸に散らされました。

モルモン書の預言の多くには、イスラエルの家が末日に再び集められるという、慰めに満ちた約束が述べられていることを生徒たちに伝えます。ホワイトボードに次の参照聖句を書き、各生徒にこれらの節の一つを読んでもらいます。全ての節が読まれるようにしてください。生徒たちに、イスラエルの家とともに集められるには、個人それぞれが何を学び、行わなければならないかを探してもらいます。

2ニーファイ25：15－17

3ニーファイ5：24－26

3ニーファイ20：13, 29－31

3ニーファイ30：2

- イスラエルの家とともに集められるために、個人それぞれが学び、行わなければならないことには何がありますか。（次を含む幾つかの真理が挙げられるでしょう。主は、イスラエルの家の人々が主を信じ、悔い改め、神のもとに来る時に彼らを集められる。）

生徒がこの真理をより良く理解する助けとするため、十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老（1915－1985年）の次の言葉を読んでもよいでしょう。



「イスラエルはなぜ散らされたのでしょうか。答えははっきりしており、明らかです。疑わしいところは全くありません。わたしたちの先祖であるイスラエル人は福音を拒み、神権を汚し、教会を捨て、王国から出て行ったために散らされました。……

では、イスラエルの集合には何が必要なのでしょうか。イスラエルが集合するには主が古代の選民にかつてお与えになった全てのことを信じ、受け入れ、それに従って生活することが必要です。……福音を信じ、教会に加わり、王国に入ることが必要です。……さらに、指定された場所すなわち礼拝の地に集まることも含まれるでしょう。」（A New Witness for the Articles of Faith [1985年] 515）

- マッコンキー長老によると、人はイスラエルの家とともに集められるために何をしなければなりませんか。

生徒たちに、彼ら自身が救い主を信じ、悔い改め、主のものにきたときに、どのようにイスラエルの家を集められたのかを深く考えてもらいます。

1ニーファイ15：12－16；22：8－12

教会の会員は末日にこの世の家族に福音をもたらす

リーハイが、家族にイスラエルの散乱と集合について教えるためにオリーブの木の例えを使ったことを、生徒たちに思い出してもらいます（1ニーファイ10：12－14参照）。レーマンとレミュエルは、父の教えたことの意味が理解できなかったとニーファイに言いました（1ニーファイ15：7参照）。

数人の生徒に1ニーファイ15：12－16を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、ニーファイのイスラエルの家についての説明から何を学ぶことができるかを探してもらいます。

- オリーブの木の例えは、イスラエルの散乱と集合を理解するためにどのように役立ちますか。

- 13節によると、リーハイの子孫の残りの者に完全な福音を伝えるのは誰ですか。（完全な福音を受けた異邦人。）

モルモン書では、異邦人という言葉が、通常ユダの部族、またはユダの地の出身ではない人を指すと生徒たちに説明します。モルモン書には、末日にこれらの異邦人の一部が完全な福音を受けてキリストの教会の会員となるという預言が含まれています（1ニーファイ15：13）。モルモン書の預言者たちは、これらの異邦人が地上全地に福音をもたらす責任を負うと教えています。

生徒たちが異邦人という言葉の定義を理解できるように、ブルース・R・マッコンキー長老の次の説明を見せて、それを読みます。



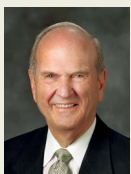
「従来、わたしたちはユダヤ人をユダの王国〔に住んでいた者〕、および、彼らの直系の子孫であると認識してきました。……そして、わたしたちはこの用語の使用において、失われ、散らされたイスラエルの王国の残りの者を含めた、これ以外の全ての人を異邦人であると述べてきました。エフライムの部族に属するジョセフ・スミスは……モルモン書を世に現した異邦人であり、末日聖徒イエス

・キリスト教会の会員は……レーマン人とユダヤ人に救いを携えていく異邦人です。」（The Millennial Messiah [1982] 233）

数人の生徒に1ニーファイ22：8-12を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には、末日に異邦人（教会の会員）によって祝福され、養われる人々を特定してもらいます。生徒がこれらを読むときに、10-11節にある「全ての国民の目の前にその御腕を現される」という句が、主が全世界に御力をお見せになることを意味すると説明するとよいかもしれません。

- 末日に異邦人によって祝福され、養われるのは誰ですか。（リーハイの子孫、イスラエルの家の全て、および「地の全ての部族」。）
- 9-11節によると、主は末日にこの世の「部族」（家族）をどのように祝福されますか。（生徒たちが次の真理を見いせるように助けてください。末日には、主が主の教会の会員を通じて、この世の家族を主の福音と聖約で祝福するための業を行われる。）

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン会長による次の声明を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「わたしたちには、アブラハムの聖約が成就するのを助ける責任があります。わたしたちの子孫は、世界中の全ての人を祝福するように予任され、備えられています。……4,000年にわたる期待と備えの時を経て、福音が地上の国民に届けられるように定められた日が来たのです。今は約束されたイスラエルの集合の時です。そしてわたしたちはそれに参加できるのです。胸が高鳴るではありませんか。主はこの偉大なイスラエルの集合の時代に、ふさわしい状態で宣教師として奉仕するわたしたちや息子たちを頼りにしておられ、娘たちに深く感謝しておられます。」（『聖約』『リアホナ』2011年11月号、88）

- 集められた人々（改宗者）は、集めてくれた人々（福音を伝えてくれた人々）についてどう感じると思いますか。
- この世の家族と福音を分かち合うことによって、神の業に参加できる方法には何がありますか。

3 ニーフアイ16：4-5；21：1-7

イスラエルの集合におけるモルモン書の役割

生徒たちに3ニーフアイ21：1-7を黙読して、末日のイスラエルの集合の始まりを知らせるしるしを探してもらいます。

- 救い主は「わたしが.....あなたがたに告げるこれらのこと」（2節）について話されました。ニーフアイ人に対する主の言葉はどこに記録されましたか。（モルモン書。）
- 末日におけるイスラエルの集合の始まりを示すしるしは何ですか。（生徒が次の真理を見いだせるようにしてください。モルモン書の出現は、神が末日にイスラエルを集めるという聖約を成就されているしるしである。）

一人の生徒に3ニーフアイ16：4-5を声に出して読んでもらい、他の生徒には末日におけるモルモン書と福音のメッセージの影響を見つけてもらいます。

- モルモン書は、末日に神の民を集めるためにどのように役立ちますか。（次は、生徒たちが見つける真理の一つです。モルモン書は、人々が贖い主のもとに集められることを可能にするため、主についての知識を人々にもたらすことに役立つ。）

一人の生徒に、ラッセル・M・ネルソン会長の次の言葉を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには、イスラエルの集合におけるモルモン書の役割を聞き取ってもらいます。



「モルモン書の出現は、主がイスラエルを集め、アブラハム、イサク、ヤコブと交わされた聖約を成就し始められたことを全世界に示すしるしです。わたしたちはこの教義を教えるだけでなく、それに携わっています。幕の両側で主の選民を集めるのを手伝うことで、この業に携わっているのです。」

モルモン書はこの業の中心を成しています。集合の教義を宣言し、また、イエス・キリストについて学び、主の福音を信じ、教会に加わるよう人々を促します。実際のところ、もしモルモン書が出現しなければ、約束されているイスラエルの集合は起きないのです。」（「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号、80）

生徒たちに、モルモン書が、他の人たちがイエス・キリストについて学び、キリストの教会に集められる助けとなったのを見たという経験を分かち合ってもらいます。

末日聖徒ではない誰かにモルモン書を分かち合って、イスラエルの集合のプロセスを助けるよう生徒たちにチャレンジしてください。

生徒用資料

- 1ニーファイ15：12-16；22：3-5， 8-12；2ニーファイ25：15-17；3ニーファイ5：24-26；16：4-5；20：13， 29-31；21：1-7；30：2
- ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号， 79-82

第24課

全ての人が神にとって 等しい存在である

はじめに

リーハイの死後、ニーファイと、義になかったリーハイの他の家族は、自らを守るためにレーマンとレミュエル、および彼らに従う者たちから離れるように指示されました。その後、ニーファイ人とレーマン人の関係は、しばしば争いと戦争でかたどられ

ることになりました。このレッスンでは、イエス・キリストの福音がどのように宗教、民族、文化、およびその他の違いを超えて神の子供たちを結びつけるかを学びます。

背景となる読み物

- ダリン・H・オークス「どこにいる人でもすべての人に」『リアホナ』2006年5月号, 77-80
- ハワード・W・ハンター「福音—全世界の人々への教え」『聖徒の道』1992年1月号, 20-21

教えるための提案

2ニーファイ26：23-28, 33；モルモン書ヤコブ7：24；エノス1：11, 20

神の子供たち全てが神のみもとに来るように招かれている

世界各国に存在する宗教、民族、および文化的なグループの幾つかを考え、そのようなグループの一部の人が持つ、他のグループのメンバーに対する姿勢について考えてもらいます。

リーハイの死後、彼の子孫がニーファイ人とレーマン人という二つの個別のグループに分かれてしまったことを生徒たちに思い出してもらいます（2ニーファイ5：1-7参照）。この離別の後すぐ、二つのグループはお互いに争い、戦争をするようになりました（2ニーファイ5：34参照）。これらの二つのグループの経験は、人々が神の戒めを知らず、それらを守らないときに、お互いの違いがしばしば強調され、相手から離れて、憎悪を感じる結果となってしまうことを表しています。これとは対照的に、天の御父とイエス・キリストは全ての人々がお互いを愛し、一つになることを望んでおられると指摘します。

数人の生徒に2ニーファイ26：23-28, 33を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、ニーファイがだれにも、だれか、およびすべての人という言葉がどのように使っているかに注意してもらいます。それぞれの聖典でこれらの言葉に印を付けるよう生徒に勧めてもよいでしょう。

- これらの節から学ぶ重要な教義は何ですか。（使う言葉は異なるかもしれませんが、生徒が次の原則を見いだせるようにしてください。イエス・キリストは全ての人々を愛しておられ、キリストのもとに来て、救いにあずかるよう全ての人を招かれる。この教義をホワイトボードに書くとよいで

しょう。また、2ニーファイ26：33を、アルマ5：33-34およびアルマ19：36と相互参照するよう勧めてもよいでしょう。)

生徒たちがモルモン書ヤコブ7：24およびエノス1：11、20を黙読する時間を数分取り、預言者ヤコブとエノスの時代の、ニーファイ人のレーマン人に対する望みを探してもらいます。

- レーマン人がキリストのもとに来るようにという招きを受け入れない原因となっていた誤った言い伝えとは何でしたか。
- レーマン人がニーファイ人に対してしばしば憎悪を感じていたことを知っていた多くのニーファイ人は、レーマン人と福音を分かち合うためにどのような姿勢、および誤った言い伝えを乗り越える必要があったと思いますか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老による次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「モルモン書には、『悔い改めて……御子信じる』という主の招きを受け入れて実践する全ての人は、『主の聖約の民』となると約束されています（2ニーファイ30：2）。これは富も、血統も、その他の生特権も、わたしたちが『自分のほかの者よりも優れている』（アルマ5：54参照。モルモン書ヤコブ3：9も参照）と思いつつも理由になつてはならないことを改めて強調しています。実に、モルモン書ではこう戒められています。『あなたがたは、ある人をほかの人よりも優れていると思つてはならない。すなわち、人は自分自身をほかの人よりも優れていると考えてはならない。』（モーサヤ23：7）」（「どこにいる人でもすべての人に」『リアホナ』2006年5月、79）

少し時間を取って、生徒たちに自分とは違う境遇から来た人たちに対するそれぞれの態度を生徒たちに深く考えてもらいます。民族、文化、または宗教の異なる人々を含む、神の子供たち全てを愛する努力をすることによって、救い主の模範に従うよう生徒たちに勧めます。

モーサヤ28：1-3；ヒラマン6：1-8

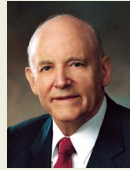
全ての神の子供たちと福音を分かち合う望みを得る

モルモン書には、レーマン人に福音を宣べ伝えていたときのニーファイ人のすばらしい経験が記録されていることを生徒に思い出してもらいます。モーサヤの息子たちの驚くべき改宗（モーサヤ27章参照）を思い起こしてもらい、その後一人の生徒にモーサヤ28：1-3を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、モーサヤの息子たちがレーマン人に福音を宣べ伝えたいと望んだ理由を探してもらいます。

- 見つけた理由の中で、他の人と福音を分かち合うことを考えるときにあなたにとって特に意味深いものはどれですか。
- 1節で、モーサヤの息子たちがレーマン人をどのように見ていたかを表す言葉はどれですか。

- わたしたちが他の宗教、人種、または民族のグループを自分の兄弟姉妹として見るとき、福音を分かち合うという望みはどのように影響されますか。（生徒の答えを聞きながら、次の原則を見いだすように助けてください。他の人を自分の兄弟姉妹として見るとき、彼らと福音を分かち合う望みが増す。）

一人の生徒に、ハワード・W・ハンター大管長（1907–1995年）が述べた次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「人は皆、肉体の系譜をたどれば地上の最初の先祖であるアダムとエバに行きつきます。さらにまた、霊の受け継ぎにおいては永遠の父なる神に至るのです。ですから、地上にいる人は皆、文字どおり神の家族の兄弟姉妹なのです。

神が全人類の御父であられることを理解し、認めるなら、人は皆、神が自分を心に掛けてくださっており、人類は皆兄弟であることがよく分かるようになるでしょう。これは、人種や言語、経済的または政治的な立場、教育の程度、文化的背景に基づくあらゆる重苦しい因習とは正反対の、命と愛のメッセージです。なぜなら、わたしたちの霊は皆、同じ家系に属しているからです。」（『歴代大管長の教え—ハワード・W・ハンター』112–113）

- これらの言葉をハワード大管長から聞いて、どのような考えが浮かびましたか。

数分間時間を取って、生徒にヒラマン6：1–8を読んでもらいます。これらの節で説明されている状況は、モーサヤの息子たちがレーマン人に伝道してから約50年後であることを指摘します。生徒たちに、この伝道の時期におけるニーファイ人とレーマン人の関係について考え、50年の間にその関係がどのように変化したかを見つけてもらいます。

- ニーファイ人とレーマン人との間の関係では何が変わりましたか。その関係はなぜ変わったのでしょうか。
- モーサヤの息子たちの姿勢、および彼らの伝道の結果から、福音を分かち合うことについて何を学ぶことができますか。

アルマ27：1–2, 20–24；53：10–11, 13–17；4ニーファイ1：1–3, 11–13, 15–18

イエス・キリストの福音は人々の違いを超える

生徒たちに次の質問について深く考えてもらってから、それぞれの考えを発表してもらいます。

- これほど多くのさまざまな経歴を持つ人々が、平安と愛の気持ちを持って教会に集うことができるのはなぜだと思いますか。何が教会の会員を団結させるのでしょうか。

クラスを二つのグループに分けます。クラスの半分にアルマ27：1–2, 20–24を研究し、アンタイ・ニーファイ・リーハイの民を助けるためにニーファイ人が何をしたかを探してもらいます。もう半分の生徒には、アルマ53：10–11, 13–17を研究して、アンタイ・ニーファイ・リーハイの民（アンモンの民）が

ニーファイ人のために何をしたかを探してもらいます。十分な時間を取った後で、見つけた事柄を分かち合ってもらいます。

- これらの二つのグループがお互いにこれほどの愛と思いやりを感じる要因となったのは何であったと思いますか。（話し合いの一環として、生徒が次の原則を見いだせるように助けてください。人は、イエス・キリストの教えを受け入れることにより、お互いの心を一致させる。）

この原則のすばらしい描写が第4ニーファイに記録されていることを説明します。一人の生徒に4ニーファイ1：1-2を声に出して読んでもらいます。救い主がアメリカ大陸を訪れた後、全てのニーファイ人とレーマン人が悔い改め、バプテスマを受け、聖霊を受けて、主に改宗したことを強調します。生徒たちに4ニーファイ1：3, 11-13, 15-18を研究するように割り当てて、全ての人が福音に改宗したときに人々が経験した祝福を探してもらいます。

- どの言葉または句がこの時代の人々を表していますか。
- イエス・キリストの福音に沿って生活することがこれらの祝福につながるのなぜですか。

一人の生徒に4ニーファイ1：17を声に出して読んでもらいます。

- 「何々人とか言われる者」がいなかったとはどういう意味だと思いますか。（人々は、ニーファイ人やレーマン人といった肩書きで互いにそれぞれを区別することがなくなった。彼らの中に存在した違いの全てを乗り越え、調和と平安の中で生活した。）
- 福音がどのように異なった背景にある人々の間にある距離を縮めるのを見たことがありますか。

福音に沿った生活をするのがどのように異なる経歴の人々の心を一致させるかについての生徒たちの理解を深めるため、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老の次の言葉を分かち合います。



「皆さんの天の御父は、皆さんをある特別な血統のもとに生まれるように選ばれました。その血統を通して、皆さんは人種的なものや文化的なもの、習慣的なものを受け継いでいます。その血統は豊かな受け継ぎを約束するとともに、大いなる喜びの基となります。しかしながら、皆さんには、そうした受け継ぎの中に、主の幸福の計画に反するがゆえに捨てなければならないものがないかどうかを決める責任が委ねられているのです。……

わたしは証します。皆さんが優先順位の筆頭にイエス・キリストの教会の会員であるという事実を置き、その教えを人生の基盤とするならば、幸福にいたる障壁を取り除き、大いなる平安を見いだすことができるのです。家族や国家の伝統や習慣が神の教えに反するときは、どうぞ、そのような伝統や習慣を捨ててください。伝統や習慣が神の教えと一致しているなら、どうぞ、それを大切にし、その文化や伝統を守り続けてください。」（「幸福にいたる障壁を取り除く」『聖徒の道』1998年7月号, 92-95）

- 異なる経歴を持つ人々がイエス・キリストの福音を優先順位の筆頭に置くときに、これらの人たちの間にある隔たりが狭まるのはなぜだと思いますか。
- 教会の会員であることは、あなたとは違った背景の教会員と心が一致していると感じるのに、どのような助けになりましたか。

レッスンの締めくくりとして、モルモン書には、異なる経歴の人々がどのようにイエス・キリストの福音に沿って生活し、それぞれの違いを乗り越えたかについての実際の例が書かれていることを証します。イエス・キリストの贖いと福音は、人種、民族、文化、年齢、そして性別を超えて神の子供たちの心を一致させます。

家族や友人を通して身に付けた誤った習慣や考えを乗り越えるため、または誰か知っている人との違いを解決するために、イエス・キリストの福音がどのように役立つかを生徒たちに考えるように言います。また、地域の教会員とより心を一致させる方法を探すように勧めてください。

生徒用資料

- 2ニーファイ26：23–28, 33；モルモン書ヤコブ7：24；エノス1：11, 20；モーサヤ28：1–3；アルマ27：1–2, 20–24；53：10–11, 13–17；ヒラマン6：1–8；4ニーファイ1：1–3, 11–13, 15–18
- ダリン・H・オークス「どこにいる人でもすべての人に」『リアホナ』2006年5月号, 77–80

第25課

悪事の時代に義にかなった生活をする

はじめに

モルモン書には、悪事を受け入れ、秘密結社の存在を容認する個人と地域社会の破滅が記録されています。同時に、モルモン書は邪悪な環境に住んでいても義にかなった生活をする事ができることも教え

ています。このレッスンで、生徒たちは今日の世の中で義にかなった状態を保つためにできる事柄について学びます。

背景となる読み物

- クエンティン・L・クック「義の報いを刈り取る」『リアホナ』2015年7月号, 27-33
- デニス・B・ノイエンシュワンダー「群衆の中の一人」『リアホナ』2008年5月号, 101-103

教えるための提案

アルマ37：21-22, 25-27；ヒラマン6：20-26, 37-40；エテル8：18-26

秘密結社は自由と地域社会を破壊する

敵の領域という言葉を書き、生徒たちにその意味を尋ねます。

十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924-2015年）が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「若人の皆さんは今、敵の領域で成長しています。わたしたちは、天で戦いがあり、反逆者ルシフェルと彼に従う者たちが『地に投げ落とされ〔た〕』〔黙示12：9〕ことを聖文から知っています。ルシフェルは天の御父の計画を破壊しようと決意して、全ての人の思いと行いを支配することを求めています。」（「若人への助言」『リアホナ』2011年11月号, 16）

- この時代に生きることは、どのような点で敵の領域にいることと似ていますか。

このレッスンでは、義にかなった数人が生活していた邪悪な環境の破滅についてのモルモン書の記述を調べていきます。生徒たちには、邪悪な環境の中でも忠実でいた人々の模範を研究しながら、自分に応用できる原則や教義を見つけてもらいます。

モロナイがニーファイ人の全文明の破滅を目撃したことを生徒たちに思い出してもらいます。モロナイは、ニーファイ人とヤレド人両方の破滅を招いた邪悪を説明しています。一人の生徒にエテル8：18および21を声に出して読んでもらい、他の生徒にはこの破滅の原因を探してもらいます。見つけた事柄を発表してもらいます。

ホワイトボードに次の参照聖句と質問を書きます。

アルマ37：21－22, 25－27

ヒラマン6：20－26

エテル8：18－26

秘密結社とは何ですか。

秘密結社の目標と目的は何ですか。

秘密結社はその継続的な存在をどのように確保しますか。

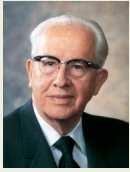
生徒たちにホワイトボードにある節を一つ読み、挙げられた質問の答えを見つけてもらいます。生徒には、選んだ節には3つの全ての質問に対する答えがないかもしれないが、見つけられることを見つけるように伝えます。十分に時間を取ってから、ホワイトボードの質問をクラスで話し合います。その後、次のことについて話し合ってもらいます。

- 読んだ内容から、秘密結社の存在と繁栄を容認したことにより、どのような結果となりましたか。（生徒たちが次の原則を見いだせるようにしてください。秘密結社は、自由、政府、および地域社会を破壊することができます。）
- 現代における秘密結社の例には何があると思いますか。

この質問に答えられるように、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老とエズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994年）による次の言葉を見せます。一人の生徒にそれらを声に出して読んでもらいます。



「今日の秘密結社には、暴力団や麻薬組織、マフィアなどがあります。現代の組織には、モルモン書の時代のガデアントン強盗団たちと似通った機能があります。……彼らの目的は、『人を殺し、略奪し、盗み、みだらな行いをし、あらゆる悪事を行うこと』なのです〔ヒラマン6：23〕。」（M・ラッセル・バラード「真理と正義を守る」『聖徒の道』1998年1月号, 43）



「邪悪な行いが、社会のあらゆる面で急速に広がっています（教義と聖約1：14－16；84：49－53参照）。悪の力はこれまで以上に強力に組織され、より狡猾に装い、かつてない猛威を振るっています。権力、富、名誉への欲に取り付かれた秘密結社が隆盛を極めていきます。……（エテル8：18－25参照）。」（エズラ・タフト・ベンソン「証」『聖徒の道』1989年2月号，91）

- モルモン書の預言者が秘密結社についての情報を彼らの記録に含めたのはなぜだと思いますか。

一人の生徒にヒラマン6：20，37－40を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、一緒に黙読しながらレーマン人とニーファイ人の違いを見つけてもらいます。（注—比較対照は、このレッスンで強調できる聖文研究スキルです〔『福音を教える—宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』22ページ参照〕）。

- 邪悪と秘密結社を廃絶する方法について、これらの節から何を学ぶことができますか。

アルマ62：41；4ニーファイ1：42；モルモン1：13－17，19；2：8，14－15，18－19；3：2－3，12，22；モロナイ9：6，22，25－26

邪悪に囲まれても義の状態を保つ

預言者モルモンが、秘密結社によってもたらされた邪悪が増大する環境に生まれたことを生徒に伝えます。生徒たちに次の節を研究し、モルモンがいた環境の記述を見つけて印を付けてもらいます。モルモン1：13－14，16－17，19；2：8，14－15，18。見つけた事柄を発表してもらってから、次の質問をします。

- そのような環境に住むことについて、どのような懸念を抱くと思いますか。

一人の生徒にモルモン1：15および2：19を声に出して読んでもらいます。

- この邪悪な時代におけるモルモンの模範から何を学ぶことができますか。（生徒が答えている間に、ホワイトボードに次の真理を書きます。わたしたちは、邪悪に囲まれるときでも義にかなった生活をする事ができる。）

生徒がモルモン3：2－3，12，22を読む時間を取り、モルモンが邪悪な時代にどのように義にかなった生活をする事ができたかについて学ぶ事ができる事柄をさらに見つけてもらいます。生徒に学んだ事柄を発表してもらった後、次の質問をします。

- モルモン書では、邪悪に囲まれながらも義にかなった生活をする模範は他に誰がいますか。（答えには、エテル、モロナイ、エービシ、および3ニーファイ1に記録されたキリストの降誕を信じた人々などがあります。）
- 邪悪な世界で義にかなった生活をしようと努力するとき、わたしたちはどのような困難に直面しますか。

生徒たちに、モルモンの息子であるモロナイが、邪悪が蔓延する同じ時代に生きていたことを思い出してもらいます。死を目前にしたモルモンは、モロナイ9章に記録されている手紙をモロナイに書きました。一人の生徒にモロナイ9：6，22，25－26を声に出して読んでもらいます。これらの節にあるモルモンの勧告が、邪悪な世界で義にかなった生活をするためにどのように役立つかを生徒たちに考えてもらいます。

- これらの節から、今日の世界で義にかなった生活をするために役立つどのような事柄を学びますか。（生徒たちが次の原則を理解するように助けてください。**キリストとキリストの贖いに対する信仰を持つならば、邪悪に囲まれているにもかかわらず、義にかなった生活をする力を得る。**）
- 今日の邪悪さの中で義にかなった生活をしている人のどのような模範を見たことがありますか。
- イエス・キリストとキリストの贖いに焦点を当てることは、あなたが邪悪または困難な状況に打ち勝つうえで、どのような助けとなりましたか。

中央扶助協会会長会の前顧問であるバージニア・U・ジェンセン姉妹による次の言葉を分かち合っ、信仰と義のうちに確固として立つには他に何ができるかを生徒が考えられるよう助けてください。



「わたしたち自身が確固とした態度を維持するために、また、他の人が確固として立つのを助けるために、回復された福音のメッセージを心の中にしっかりと植え、家庭の中で教えなければなりません。……断食と祈りを通して天の力に頼る方法を愛する人たちに教えてください。安息日を守ることによって俗世から離れられることを教えてください。従順になることを教えてください。人ではなく、神から認めていただくことを目標とするよう教えてください。天の家に帰るには救い主を愛して救い主に従い、神聖な聖約を交わして、聖約と戒めを守る以外に方法がないことを教えてください。あなたの家族がサタンの邪悪な力に対して勝利を得るための武器は福音の真理であり、救いの計画の知識なのです。」（「確固として立つ」『リアホナ』2002年1月号，111）

- あなたは、ますます邪悪になる世界で主に従順であるための決意と力を何から受けましたか。

アルマ書に記録されているニーファイ人とレーマン人の長い戦争の間、人々はそれぞれの命を守るために悪の勢力に立ち向かわなければならなかったことを説明します。生徒たちにアルマ62：41を研究し、人々の逆境や邪悪に対する対照的な対応方法を探してもらいます。邪悪な世界で義にかなった生活するために役立つ事柄について生徒が見つけた内容を発表してもらいます。

一人の生徒に、大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長（1920－2007年）によるこの節に関する次の言葉を読んでもらいます。



「世にはますます不法がはびこり、生きること、まして幸せや喜びを見いだすことはさらに難しくなっています。しかし、何が起ころうとも確固として主の側に立っていなければなりません。いついかなるときでも忠実であるよう努める必要があります。主への信頼という基を決して揺るがせてはならないからです。……

何が起ころるかよりも、起こったことにどう対処するかが大切です。アルマ書の一説を思い出します。戦争が長期に及んだため、『多くの者がかたくなにな〔りました〕』が、『苦難を受けたために柔和になった者も多く』いました〔アルマ62：41〕。同じ状況に対して、まったく反対の反応があったのです。……この試しの世の一部である苦難を克服できるよう、わたしたちは皆、信仰を蓄える必要があります。」（「主の側に立つ」『リアホナ』2004年11月号，18，20

数分時間を取って、生徒たちに次の質問に対する答えを書いてもらいます。

- 「確固として主の側に立つ」ためにどのような決意をしましたか。

その後、次の質問について深く考えるよう生徒に勧めます。

- どうすればより熱心に主に心を傾けることができるかについて、御霊からどのような促しを受けたことがありますか。
- あなたの家族がより熱心に主に心を傾けることを助けるために何ができますか。

信仰において努力し続けるならば、邪悪のさなかで義にかなった生活をするために主がわたしたちを祝福し、助けてくださることを証します。

生徒用資料

- アルマ37：21-22，25-27；62：41；ヒラマン6：20-26，37-40；4ニーファイ1：42；モルモン1：13-17，19；2：8，14-15，18-19；3：2-3，12，22；エテル8：18-26；モロナイ9：6，22，25-26
- クエンティン・L・クック「義の報いを刈り取る」『リアホナ』2015年7月号，27-33

第26課

信仰の試しの後

はじめに

このレッスンで生徒たちは、イエス・キリストに信仰を持つことによって、神がわたしたちのために奇跡を起こされることが可能になるということをモル

モン書から学びます。信仰の行使は、霊的な真理の確信を受けるためにわたしたちを準備することもできます。

背景となる読み物

- ロバート・D・ヘイルズ「天の父なる神と御子イエス・キリストを知るように努める」『リアホナ』2009年11月号，29–32
- デビッド・A・ベドナー「信仰をもって願い求めなさい」『リアホナ』2008年5月号，94–97
- ニール・L・アンダーセン「あなたは十分に知っています」『リアホナ』2008年11月号，13–14

教えるための提案

2ニーファイ27：23；3ニーファイ17：5–9，20–24；モルモン9：9，18–20

奇跡に先駆ける信仰

生徒たちに、神が神の子供たちの信仰に応じて奇跡を行われたときの例を聖文から挙げてもらいます。（この例には、イエスが病人を癒やして死人をよみがえらされたこと、モーセが紅海を分けたこと、およびキリストがヤレドの船を照らすために石に触られたことなどがあります。）

- 神が今も奇跡を起こし続けておられることを信じない人に対して、あなたなら何と言いますか。

一人の生徒に2ニーファイ27：23を、別の生徒にモルモン9：9，18–20を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには、現在も引き続き奇跡が行われている理由を見つけてもらいます。

- これらの節によると、今日の世界でも奇跡が起こるといふ確信を持てるのはなぜですか。（生徒たちが次の原則を見いだせるようにしてください。**神は、昔、今、そして永遠に同じであられ、神の子供たちの信仰に応じて引き続き奇跡を起こされている。**）
- 主はなぜ奇跡を行われる前に、わたしたちが信仰を持つことを求められるのだと思いますか。

信仰と奇跡の関連を聖文から説明するため、数人の生徒たちに3ニーファイ17：5–9を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒には、復活されたキリストが、民のために奇跡を行うには十分であるとおっしゃったものが何かを探してもらいます。

- 8節によると、救い主が病人と苦しんでいる人々を癒やされることを可能にしたものは何でしたか。

一人の生徒に3ニーファイ17：20-24を声に出して読んでもらいます。

- 人々は、信仰のために他にどのような神聖な出来事を経験しましたか。
- キリストがこれらの奇跡を喜んで与えようとなさることは、わたしたちに必要な助けを与えるために力を行使されるというわたしたちの信仰をどのように高めてくれますか。

一人の生徒に、中央初等教会会長会の前顧問であるシドニー・S・レイノルズ姉妹の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「『偉大な奇跡』と同じように大切なのが、小さな『個人的な奇跡』であり、それらはわたしたち一人一人に主への信仰を持つように教えてくれます。小さな奇跡は、わたしたちが生活の中で御霊の促しに気づき、聞き従うときにもたらされます。……

わたしたちは皆これらの小さな奇跡について証できると、わたしは信じています。わたしたちは、なくしたものを見つけようと助けを求めて祈り、それを見つけた子供たちを知っています。また、神の証人になろうとして勇気を振り絞り、主の助けの御手を感じた若人を知っています。なけなしのお金を什分の一に納めた後で、奇跡によって学費や家賃を払ったり、家族のための食物を手に入れたりすることができた友人についても知っています。わたしたちは祈りがこたえられた経験、神権の祝福によって勇気や慰めを与えられ、あるいは健康が回復した経験を分かち合うことができます。これら日々の奇跡は、わたしたちの生活の中に主の御手があることを教えてくれます。」（「奇跡の神」『リアホナ』2001年7月号、12-13）

自分自身、または知っている誰かが生活の中で神の奇跡を経験したときのことを生徒たちに考えてもらいます。その経験が個人的、または神聖すぎない場合は、神が今も奇跡の神でおられることを確信させた経験を生徒たちに分かち合ってもらいます。

エテル3：6-13, 17-20；4：13-15；12：6-7, 12, 19, 31

信仰は霊的な確信を得る備えとなる

生徒たちに、霊的な確信、またはより強い証を得たいと思っている福音の真理について考えてもらいます。真実であるという証拠を見るまでは、福音の原則を信じたり、それらに従って生活することを選択しない人たちもいることを説明します。

生徒たちにエテル12：6を黙読して、霊的な確信を受けるための過程についてこの節が教えている事柄を探してもらいます。

- 霊的な確信を受けることについて、エテル12：6からどのような原則を学ぶことができますか。（生徒たちが次の原則を見いだせるようにしてください。霊的な確信を受けるには、まず最初にイエス・キリストへの信仰を行使しなければならない。）
- 「信仰の試し」という句には、どのような意味があると思いますか。

信仰が試されるということは、必ずしも苦難を経験することではないことを説明します。十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老、および中央若い女性会長のボニー・L・オスカーソン姉妹によるエテル12：6のモロナイの勧告についての言葉を見せて、一人の生徒にそれらを声に出して読んでもらいます。



「モロナイが教えた次の原則を応用することによって、もっと効果的に信仰を使えるようになります。『信仰が試されてからでなければ、証は得られないからである。』〔エテル12：6，強調付加〕ですから、信仰を試す度に、つまり何らかの印象に従ってふさわしい行動をするたびに、御霊による確認の証を受けるのです。」（リチャード・G・スコット「不確かで困難な時代に支えとなる信仰」『リアホナ』2003年5月号，76）



「すぐに満足感が得られることが当たり前の今の世の中では、努力もせずに報いを期待することがよくあります。モロナイはわたしたちに、まず努力し、福音に従うことで信仰を行使する必要があり、その後それが真実であるという証を受けると教えていると思います。真の改心は、来る日も来る日も、毎月毎月、皆さんが真実だと知っている教義に従って行動し続け、戒めを守るときに起こるのです。」（ボニー・L・オスカーソン「あなたがたは改心しなさい」『リアホナ』2013年11月号，77参照）

- スコット長老とオスカーソン姉妹によって説明された真理の確信を得るためのアプローチは、信じる、または行動に移す前に証拠を求める人たちのアプローチとどのように異なりますか。
- この原則が真実であることをいつ、どのようにして知りましたか。

数人の生徒にエテル12：7，12，19，および31を順番に声に出して読んでもらいます。これらの節にある「信じてから」および「信仰を持った後に」という句に注意するよう生徒に勧めます（それぞれの聖典でこれらの句に印を付けることを提案してもよいでしょう）。

- これらの節によると、これらの人々が信仰を行使した後、主は彼らにどのような祝福をお与えになりましたか。信仰の結果として、真理についてどのような種類の霊的な確信を受けましたか。

奇跡と同様に、霊的な確信は信仰を行使するまで与えられないことを証します。この点を強調するため、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長（1924–2015年）による次の言葉を読みます。



「霊にかかわる知識を求めていく過程でいつか、哲学者の言う『信仰の急激な上昇』を経験します。さまざま人は、光と闇の境目にやって来て、闇の中に足を踏み入れてみると、一、二歩先までしか見えないう状況の中にいるのです。」（“The Quest for Spiritual Knowledge,” New Era, 2007年1月号, 6）

一人の生徒に、家族を約束の地へ運ぶための船を造ったときにヤレドの兄弟が直面した難題を説明してもらい、その難題を解決するために彼が行った事柄を要約してもらいます（エテル2：16–25；3：1–5参照）。

- ヤレドの兄弟は、イエス・キリストへの信仰をどのように行使しましたか。

数人の生徒にエテル3：6–13, 17–20を順番に声に出して読んでもらいます。

- 主は、ヤレドの兄弟の信仰に対して彼をどのように祝福されましたか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、ヤレドの兄弟の信仰の特徴を探してもらいます。



「厳格な信仰、山を動かす信仰、ヤレドの兄弟のような信仰が、奇跡と知識に先立ちます。彼は、神が話される前に信じなければなりません。彼は、行っていた事柄を成し遂げる能力が明らかにされる前に、その事柄を実行する必要がありました。ヤレドの兄弟は、最初の段階を実現する前でさえ、全体について決意しなければならなかったのです。信仰とは、近い将来、そして遠い未来の両方で神が要求されるかもしれない条件が何であれ、無条件、かつ事前に同意することです。」（Christ and the New Covenant: The Messianic Message of the Book of Mormon [1997] 18–19）

- ホランド長老によるヤレドの兄弟の信仰の説明をどのように要約しますか。
- 主への信仰を示すために行うことができる事柄にはどのような例がありますか。

生徒たちがエテル4：13–15を研究する時間を少し取って、御霊から知識と現れを受けるためにわたしたちが行うべきだとモロナイが言ったことを見つけてもらいます。

- 「不信仰の幕を……裂く」とはどういう意味だと思いますか。これは、信仰を行使する過程にどのように関連しますか。
- モロナイは、「不信仰の幕を……裂く」ために何をしよう勧めしましたか。

預言者ジョセフ・スミス（1805–1844年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「神はジョセフに明らかにしてこられた全てのことを、十二使徒にもお知らせになるでしょう。聖徒のうちの最も小さい者でさえも、堪えることのできる程度に応じて全てのことを知るでしょう。誰も隣人に、主を知ってくださいと言う必要のない日が来るに違いないからであり、最も小さいものから最も大いなる者に至るまで、……全ての人が主を知るようになるからです〔エレミヤ31：34参照〕。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』268）

- 預言者ジョセフ・スミスによるこの言葉は、啓示を受ける潜在能力があなたにあることを理解するうえでどのように助けとなりますか。

生徒たちに今現在直面している信仰の試練について深く考えてもらい、それぞれの信仰を強め、行使するためにできる事柄について考えるように勧めます。神に忠実に従う者たちは信仰を行使するときに、常に神から真理に対する証をいただけるということに対して、あなたの証を分かち合ってください。

生徒用資料

- 2ニーファイ27：23；3ニーファイ17：5-9，20-24；モルモン9：9，18-20；エテル3：6-13，17-20；4：13-15；12：6-7，12，19，31
- デビッド・A・ベドナー「信仰をもって願い求めなさい」『リアホナ』2008年5月号，94-97

第27課

信仰，希望，慈愛

はじめに

信仰，希望，慈愛の特性は，天の御父とともに住む からの賜物であり，イエス・キリストの模範に従う
ことを願う全ての人に必要です。これらの特性は神 ことによってそれらを求める人に与えられます。

背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「希望という無限の力」『リアホナ』2008年11月号，21-24
- リチャード・G・スコット「本質を変える信仰の力と人格」『リアホナ』2010年11月号，43-46

教えるための提案

エテル12：28；モロナイ10：18-21

信仰，希望，慈愛は救いに欠かせないものである

生徒たちに，特性の中で現世で得ることが大切だと思うものを素早く挙げてもらいます。その後，それらの特性の中で神の王国を受け継ぐために最も重要な特性だと思うものを判断してもらいます。

モロナイが金版での彼の仕事を終えようとしていたとき，いつの日かその記録を読む人に対してモロナイが最後の勧告を書き残していることを生徒たちに思い出してもらいます。モロナイの勧告の一環として，モロナイは救いに欠かせない3つの特性を強調しています。一人の生徒にモロナイ10：18-21を声に出して読んでもらい，他の生徒にはこれら3つの特性を見つけてもらいます。

- 信仰，希望，慈愛という特性が救いのために非常に重要であるのはなぜだと思いますか。

生徒たちがこの質問に答えるのに助けとなるように，一人の生徒にエテル12：28を読んでもらい，他の生徒にはこの節で教えられている教義を見つけてもらいます。

- この節にはどんな原則が記録されていますか。（生徒たちが次の事柄を見いだすようにしてください。信仰，希望，慈愛という特性を養うことは，わたしたちをイエス・キリストに近づける。）

生徒たちに，このレッスンの全体を通して，これらの大切な特性をより完全に理解し，養うために役立つ原則と教義を探るように勧めます。

アルマ32：26-29，37-41；モロナイ7：21，25-28，33

信仰は「善いものをことごとく手にする」ことを可能にする

ホワイトボードにイエス・キリストへの信仰を増すと書きます。

ゾーラム人にイエス・キリストへの信仰を養う方法を教えるため，預言者アルマが生長する種の例えを使ったことを思い出してもらいます。数人の生徒にア

ルマ32：26－29を順番に声に出して読んでもらいます。生徒たちに、わたしたちの信仰を増すためにできる事柄を表す句を探してもらいます。

数人の生徒たちに、見つけた句を発表して、それが信仰を増すことについて何を教えているかを説明してもらいます。生徒たちが句を発表するときに、ホワイトボードのタイトルの下にそれらを書き出してもよいでしょう。これらには次の句が含まれます。目を覚まして能力を尽くす、わたしの言葉を試す、信じようと望む、心の中に種〔御言葉〕を植える場所を設ける。必要に応じて、能力が考えて行動する能力を指すことを生徒たちが理解するように助けます。

- 29節で、これらを試した後でも、まだ信仰が完全になることはないと言ったアルマが教えたのはなぜだと思いますか。
- 信仰を完全にするには、これ以上に何が必要だと思いますか。

何人かの生徒にアルマ32：37－41を順番に読んでもらい、他の生徒には永遠の命を得るために必要な信仰を養うには何をしなければならぬかを探してもらいます。

- これらの節でアルマは、わたしたちが継続的に信仰を強めていく方法についてどのような原則を教えましたか。（生徒たちが次の原則を見いだすようにしてください。心の中で神の言葉を十分に注意して養い育てれば、わたしたちのイエス・キリストに対する信仰が育つ。ホワイトボードにこの真理を書きます。）
- 御言葉を十分に注意して養い育てるとはどういう意味だと思いますか。心の中で神の言葉を養い、信仰を深く根付かせることができるようにわたしたちが継続的に実行できる事柄には何がありますか。

神の言葉をどのように養えばよいかを生徒たちが理解する助けとするため、大管長会のヘンリー・B・アイリング管長による次の言葉を見せて一人の生徒に声に出して読んでもらい、他の生徒には信仰を養うための鍵を探してもらいます。



「たとえ現在大いなる信仰をもって神に従っているとしても、その信仰がさらに強くなるよう絶えず努力し、常に新たな信仰が増し加えられるよう心がける必要があります。そのためには、速やかに従い、さらに確固とした決意で堪え忍ぶよう、今決心することです。早い時期からはじめ、絶えず積み重ねていくことが霊的な備えを行う鍵です。……

……わたしたちは時間をかけて、また日々の選りを通して、常に従順であるかどうかの試しを乗り越える信仰を築いているのです。神から求められることはどんなことでも直ちに行おうと、今決心してください。そして従順になれるかどうかを測る小さな試しにあって動かされないと決心しましょう。そうすれば、必ずやって来る大きな試しも乗り越えられる信仰が築けます。」（「霊的な備え—早くから始め、絶えず積み重ねる」『リアホナ』2005年11月号、37－40）

- アイリング管長は、わたしたちが信仰を強める、または養うのために何をしなければならぬと言っていますか。

- 積み重ねと神の言葉に日々従順であることが、神への信仰と信頼を育てるために不可欠であるのはなぜだと思いますか。

何人かの生徒に、アルマが教えた原則に従うことがイエス・キリストに対するそれぞれの信仰にどのように影響したかを話してもらいます。

預言者モルモンがイエス・キリストへの信仰の永遠の重要性について証したことを生徒に伝えます。何人かの生徒にモロナイ7：21，25－28，33のモルモンの証を順番に声に出して読んでもらい、他の生徒には、主への信仰を増して、モルモンが説明する祝福を「手にする」には何ができるかを深く考えてもらいます。

エテル12：4，8－9；モロナイ7：40－42

霊の錨である希望

一人の生徒にエテル12：8－9を読んでもらい、別の生徒にモロナイ7：40－42を読んでもらいます。生徒たちに、信仰を養うときに得ることができる特性を見つけてもらいます。

- これらの節によると、信仰によって得る特性とは何ですか。

次の二つの文を読み、それらの違いを生徒に見つけてもらいます。(1) 今日雨降らないことを望んでいる。(2) 悔い改めたときにイエス・キリストの贖いによって赦されるという望みを持っている。

- これらの希望の表現は何が違いますか。(最初の文では、わたしたちがコントロールできない不確かな何かを願っており、二つ目の文では行動の動機となる確信が表されている。)

生徒たちが希望という言葉の聖文的な意味を理解できるように助けるため、一人の生徒にディーター・F・ワークトドルフ管長の次の言葉を読んでもらいます。



「希望は、主がわたしたちへの約束を果たしてくださるという、変わる事のない信頼です。神の律法と預言者の言葉に従って今行動すれば、望んでいる祝福を将来受けられるという確信です。祈りはこたえられると信じて待ち望むことです。希望は、自信、樂觀、熱意、粘り強く忍耐するといった特質に表れます。」「希望という無限の力」『リアホナ』2008年11月号，22)

生徒たちにモロナイ7：41を黙読し、わたしたちがキリストへの信仰を養うときに何を待ち望むかを探してもらいます。

- この節で、モルモンは希望についてどのような原則を教えましたか。(生徒たちが次の事柄を見いだすようにしてください。イエス・キリストへの信仰を養うとき、わたしたちはキリストの贖いを通じて永遠の命にあげられるという希望を得る。)
- イエス・キリストと希望が密接に関係しているのはなぜだと思いますか。

一人の生徒にエテル12：4を声に出して読んでもらい、他の生徒にはモロナイが希望をどのように説明したかを探してもらいます。

- モルモンが錨を使用する方法は、希望についてわたしたちに何を教えますか。どのように、信仰がない人を錨のない船に例えることができますか。

何人かの生徒に、イエス・キリストへの信仰を持つことを通して生活にもたらされた希望について証してもらいます。

エテル12：33－34；モロナイ7：43－48

キリストの純粋な愛である慈愛

一人の生徒にモロナイ7：43－44を声に出して読んでもらい、他の生徒には信仰と希望を持った後でわたしたちが養わなければならないとモルモンが言った特性を見つけてもらいます。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「わたしたちが心から主である救い主のようになろうとするならば、主が愛されたような愛を身に付けることをわたしたちの最高の目標としなければなりません。モルモンは、愛は「全てにまさる」（モロナイ7：46）と言っています。」（「神の特性」『聖徒の道』1987年1月号，54）

求めるべき特性の中でも慈愛が非常に大切である理由を明確にするため、数人の生徒にモロナイ7：45－47を順番に声に出して読んでもらいます。これらの節には慈愛であるものかないものが挙げられているため、慈愛を理解するために役立つことを指摘します。

- これらの節の中で、慈愛の大切さを表す言葉および句はどれですか。
- 45節に挙げられている慈愛の特性について、分かち合える思いや洞察はありますか。

一人の生徒にモロナイ7：48を声に出して読んでもらいます。

- モルモンは、わたしたちが慈愛の賜物を求めるときに何をしよう勧めしましたか。（生徒たちが次の原則を見いだせるように助けてください。熱意を込めて祈り求め、イエス・キリストに従えば、慈愛に満たされることができる。）
- 慈愛の賜物を求めることは、よりよいイエス・キリストに従う者になるためにどのように役立ちますか。

一人の生徒にエテル12：33－34を声に出して読んでもらい、他の生徒には慈愛とイエス・キリストの贖いの関係を探してもらいます。

- 慈愛と贖いにはどのような関係があるのでしょうか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老の次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「『イエス・キリストの純粋な愛』の、よりすばらしい定義は……わたしたちがクリスチャンとして他人に示そうと試みても大概の場合失敗してしまう愛ではなく、キリストが完璧な形でわたしたちに示してくださった愛です。真の慈愛が明らかにされたのはたった一度きりです。それは、キリストによって完全かつ純粋に示された、わたしたちのための尽きることのない、究極の、贖いの愛です。……キリストのわたしたちに対する「すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える」愛です。キリストによって示された「いつまでも絶えることのない愛」です。慈愛、つまりキリストのわたしたちへの純粋な愛がなければ、わたしたちは、ひどく惨めな人たちの中でも、取るに足りず、希望のない者となることでしょう。実に、終りの日にキリストの愛（贖い、復活、永遠の命、永遠の約束）を持っているとされた者が憂うことはないのです。」（Christ and the New Covenant [1997] 336）

- ホランド長老の言葉は、なぜ「愛はいつまでも絶えることがない」のか、およびなぜ霊的な賜物の中で「最もすばらしい」ものなのかを理解するためにどのような助けとなりますか。
- イエス・キリストがあなたに惜しみなく与えてくださった純粋な愛を他の人と分かち合うには何ができますか。

生徒たちにモロナイ7：45を見直してもらい、慈愛の特性の一つをより完全に養っていくために祈り、努力するための目標を立ててもらいます。自分が慈愛を養おうと努力したときに受けた神聖な助けについて証します。

生徒用資料

- アルマ32：26－29, 37－41；エテル12：4, 8－9, 28, 33－34；モロナイ7：21, 25－28, 33, 40－48；10：18－21
- ディーター・F・ウークトドルフ「希望という無限の力」『リアホナ』2008年11月号, 21－24

第28課

キリストのもとに来なさい

はじめに

モルモン書の中核的な目的の一つは、「キリストのもとに来て、キリストによって完全に」なるように全ての人々を招くことです（モロナイ10：32）。わたしたちは、信仰を实践して「善いものをことごとく手にする」ときにキリストの子となることができます

ます（モロナイ7：19参照）。このレッスンの最後に、生徒たちにはモルモン書がキリストのもとに来るためにどのような助けとなったかを証する機会があります。

背景となる読み物

- ジェフリー・R・ホランド「霊の安寧」『リアホナ』2009年11月号，88－90
- 「キリストを中心とする生活」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第24章，277－286

教えるための提案

1ニーファイ6：4；モルモン書ヤコブ1：7；オムナイ1：26；3ニーファイ9：13－14；モロナイ10：30，32－33

モルモン書はイエス・キリストに来るようわたしたちを招く

生徒たちに、モルモン書を読むよう誰かに勧めたときのことを考えてもらいます。

- その人にモルモン書を読むように勧めたのはなぜですか。

生徒たちに、なぜモルモン書を研究するのかについて考えてもらいます。モルモン書を読み、研究することには多くの良い理由がありますが、モルモン書自体にその重要な目的の一つに関するメッセージが繰り返し書かれています。

ホワイトボードに次の聖句の参照箇所を書いてください。

1ニーファイ6：4

モルモン書ヤコブ1：7

オムナイ1：26

3ニーファイ9：13－14

モロナイ10：30

生徒たちにこれらの節を黙読して、モルモン書で繰り返されるテーマを探してもらいます。（聖典でこれらの聖句を相互参照するよう生徒たちに勧めてもよいでしょう。）

- これらの節に繰り返されているモルモン書のテーマは何ですか。
- 「キリストのもとに来る」とはどういう意味ですか。
- これらの節は、イエス・キリストのもとに来るために何をしよう教えていますか。（答えには次の内容が含まれるようにしてください。「自分自身をキリストへのささげ物としてささげ〔る〕」、断食する、祈る、最後まで堪え忍ぶ、悔い改める、改宗する、「善いものをことごとく手にする。」）
- 「自分自身をキリストへのささげ物としてささげ〔る〕」という句は、あなたにとってどのような意味がありますか。

キリストのもとに来ることの意味を生徒たちがさらに理解することができるように、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老と七十人のデニス・B・ノイエンシュワンダー長老の次の言葉を見せて話し合います。



「たゆまず朝晩祈り、日々聖文を研究し、毎週家庭の夕べを開き、定期的に神殿に参入するとき、わたしたちは「わたしのもとに来なさい」という主の招きに積極的に応じていることになりま

す。」（リチャード・G・スコット「信仰を行使することを最優先とする」『リアホナ』2014年11月号、94）



「わたしは証します。わたしたちは、神によって定められ、創世の前から設けられている神聖な儀式にふさわしい状態であずかることによって、キリストのもとに来て、キリストによって完全になることができます。」（デニス・B・ノイエンシュワンダー、「Ordinances and Covenants」Ensign、2001年8月号、26）

モルモン書の最後の章には、どのようにキリストのもとに来るか、その方法について預言者モロナイの勧告が記録されていることを生徒に説明します。一人の生徒にモロナイ10：32-33を声に出して読んでもらい、他の生徒には「ならば」および「となる」という言葉がどのように使われているかを見つけてもらいます。生徒たちに、キリストの恵みによってわたしたちがどのように祝福されているかについて、これらの「ならば—となる」文が何を教えているかを深く考えてもらいます。（注—「ならば—となる」文を探することは、聖文で教えられている原則を生徒が認識する助けとなります。）

- これらの節から、キリストのもとに来るときに、キリストの恵みによってどのように祝福されるのかについて、わたしたちはどのような原則を学びますか。（生徒たちはさまざまな言葉を使うと思われるですが、生徒が次の原則を見いだすようにしてください。イエス・キリストのもとに来て、全ての不信心を断ち切るならば、わたしたちはキリストの恵みによって完全とされ、清められ、聖くなることができます。アルマ5：33-35も参照してください。）

この原則に対する生徒たちの理解を深めるため、七十人のブルース・C・ヘーフェン長老の次の言葉を分かち合います。生徒には、主の恵みがどのようにわたしたちを祝福することができるかを聞き取ってもらいます。



「贖罪によって解放された主の恵みは、わたしたちの足りない部分を完全にすることができます。『あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる。』（モロナイ10：32）完全になるための過程の多くは罪の汚れと苦汁から清められることが含まれますが、これには、わたしたちがキリストのような特性を獲得して、御父と御子が完全であられるように完全になるという、もう一つの肯定的な側面もあります。……

救い主の勝利のおかげで、わたしたちの罪の代価が支払われるだけでなく、わたしたちの不十分さも補っていただけるのです。これには、意図的な過ちに加え、無知のために犯した罪、誤った判断、そして避けることのできない不完全さも含まれます。わたしたちの究極の志は、罪を赦されるだけでなく、聖くなり、キリストのような特性を授けられ、キリストと一つになり、キリストのようになることなのです。わたしたちは最大限の努力をする必要がありますが、最終的にその志を遂げることを可能にするのは、神聖な主の恵みのみです。」（The Broken Heart [1989年] 16, 20）

- ヘーフェン長老によると、主の恵みはどのようにわたしたちを祝福することができますか。

生徒たちに、イエス・キリストのもとに来る努力をしていると感じたときのことを考えてもらいます。生徒たちの経験が個人的すぎない場合は、次の質問に答えてもらいます。

- そのとき、キリストのもとに来るために何をしていましたか。
- キリストのもとに来ることを求めたとき、あなたの人生にどのような祝福がもたらされましたか。

キリストの恵みによって完全となり、清くなることができるよう、より完全にキリストのもとに来るには何ができるかを生徒たちに深く考えてもらいます。受けた霊的な促しの全てに従うように生徒たちに勧めます。

モロナイ7：18–26

キリストの子となるために善いものをことごとく手にする

モロナイ7章では、預言者モロナイが、彼の父であるモルモンが数年前に行った説教を記録していることを生徒に思い出してもらいます。この説教でモルモンは、もし何かが人々に善い行いをし、イエス・キリストを信じ、神を愛して神に仕えることを促すならば、それが神による靈感を受けたものだということができると教えました。

一人の生徒にモロナイ7：18–19を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、一緒に黙読しながらモルモンがわたしたちに行うように言った事柄を見つけてもらいます。

- 19節によると、善悪を区別するためにキリストの光を使って「善いものごとごとく手にする」と、わたしたちには何が起こりますか。（キリストの子となる。）
- イエス・キリストの子になるとはどのような意味でしょうか。（わたしたちが天の御父の子供であると同様に、現世の両親の子供でもあることを指摘します。しかし、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長〔1876–1972年〕が教えているように、イエス・キリストも「わたしたちのために行われた贖罪によってわたしたちに命を、すなわち永遠の命を与えられるので、聖典の中で使われている意味で、父となられるのである。〔モーサヤ5：7参照〕……わたしたちはキリストに従うという聖約を交わすことによって、イエス・キリストの子、すなわち息子および娘となるのである。」〔**Doctrines of Salvation**, ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻〔1954–1956年〕第1巻, 29〕）

生徒たちにモロナイ7：20を黙読して、モルモンが質問した事柄を見つけてもらいます。次に生徒たちに二人一組になってもらい、モロナイ7：21–26を研究して、わたしたちが「善いものごとごとく手にする」ために主がどのような助けをわたしたちに与えてくださったかを見つけてもらいます。十分に時間を取ってから、生徒たちに考えを発表してもらい、それらをホワイトボードに書きます。答えには、天使の働き（22節）、預言者（23節）、聖文（25節）、信仰の行使（25節）、および祈り（26節）が含まれます。

- これらの節は、「善いものごとごとく手にする」という句の意味について何を教えていますか。（わたしたちは、全ての善いもの、特にキリストへの信仰とキリストの名による救いに導くものを求めるべきである。）
- ホワイトボードに書かれている事柄によってあなたの人生にもたらされた善いものには何がありますか。

生徒たちに、キリストのもとに来るために始めることができる、またはより良く実行することができるようになる、一つの善いことを選んでもらいます。人生の中で善いものごとごとく手にするための目標を立てるように生徒たちに勧めます。

モロナイ10：3–5

モロナイの約束

モルモン書を手にとって生徒に見せ、モルモン書がキリストのもとに来るためにどのような助けとなったかを生徒たちに深く考えてもらいます。モロナイが、モルモン書を読み、研究する全ての人々を招き、約束したことを説明します。

一人の生徒に、モロナイ10：3–5を声に出して読んでもらいます。

- 3節の記録によると、モロナイはわたしたちに何をするように勧めていますか。

生徒たちに、モルモン書から、また各自の人生経験から、「主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたか」を示す例について深く考えてもらいます。何人かの生徒に考えを発表してもらいます。

- これらの節にあるモロナイの招きと約束から、どのような原則を学ぶことができますか。（モルモン書が真実であるかどうかをキリストを信じながら誠心誠意問うならば、わたしたちは聖霊を通じてそれが真実であることの証を受ける。）
- 「キリストを信じながら、〔神に〕誠心誠意問う」とはどういう意味ですか。（神がわたしたちの祈りにこたえてくださるという信仰があるということ、また、わたしたちには神が与えてくださった答えに基づいて行動する意志があるということを意味します。）
- このような方法でモルモン書を研究し、それについて祈ることは、キリストのもとに来るためにどのように役立ちますか。

生徒たちに、モルモン書を読み、それが真実であるかどうか知るために祈ることによって得た経験について深く考えてもらいます。モルモン書についての証、特にモルモン書がキリストのもとに来るためのどのような助けとなったかを分かち合いたい人がいないか尋ねます。モルモン書に対する証を得るため、またはすでにある証を強めるために、今後もモロナイの言葉を生かしていくよう生徒たちに勧めます。

生徒用資料

- 1ニーファイ6：4；モルモン書ヤコブ1：7；オムナイ1：26；3ニーファイ9：13–14；モロナイ7：18–26；10：3–5, 30, 32–33
- 「キリストを中心とする生活」『歴代大管長の教え—エズラ・タフト・ベンソン』第24章, 277–286



宗教教育
セミナー・インスティテュート

末日聖徒
イエス・キリスト
教会

